

TOSHIBA

取扱説明書

REGZA

液晶テレビ

形名 19S24/24S24/32S24

機能操作編



「付属品を確認する」、
「テレビを設置する」、
などの準備は製品に
同梱の取扱説明書を
ご覧ください。

必ず本製品をご利用いただく前に製品同梱の取扱説明書の
「本製品のご利用に関する重要なお知らせ」をご覧ください。
必ず最初に製品同梱の取扱説明書の「安全上のご注意」をご覧ください。

映像や音声が出なくなった、操作ができなくなったなどの場合は、
[「症状に合わせて解決法を調べる」](#)をご覧ください。

このたびは東芝テレビをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

お求めのテレビを安全に正しく使っていただくため、お使いになる前に
この取扱説明書をよくお読みください。

もくじ

》リモコンのボタンと主な機能	9
----------------	---

テレビを見る

》テレビ番組を操作する	11
》リモコンで番組を選ぶ	11
》音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる	14
》本体ボタンによる「機能切換」について	15
》操作ガイドについて	16
》サブメニューについて	17
》番組情報や番組説明を見る	19
》番組情報を見る	19
》番組説明を見る	20
》番組表で番組を探す	21
》番組表を使う	21
》番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)	24
》番組表を便利に使う	24
》条件を絞りこんで番組を探す	32
》データ放送やラジオ放送を楽しむ	37
》連動データ放送を楽しむ	38
》独立データ放送やラジオ放送を楽しむ	38
》便利な機能を使う	40
》画面サイズを切り換える	40
》降雨対応放送について	41
》他の映像・音声を切り換える	41
》映像を静止させる	43
》省エネ設定をする	44
》ヘッドホンで聴く	46
》外部スピーカーで聴く	47
》時計を表示する	47

》アラームを使う	48
》アラームの動作について	50
》アラームを一時的に解除する	51
》オフタイマーを使う	51

録画機器を使う

録画機器の接続をする

》録画・予約機能について	52
》録画できる機器と番組	52
》接続・設定と録画前の準備	52
》USBハードディスクの設定をする	54
》USBハードディスクの設定をする	54
》録画の基本的な設定をする	59
》録画に使用する機器を設定する	59
》チャプター分割のしかたを設定する	60

録画・予約をする

》番組を録画する	61
》番組表で予約をする	64
》メッセージが表示された場合	66
》マルチ表示の番組表で予約するとき	67
》連続ドラマを予約する	68
》日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする	70
》日時を指定して予約をする	70
》番組を検索して録画・予約をする	72
》録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき	73
》予約の確認・変更・取り消しをする	76
》予約・録画の優先順位と予約の動作について	78
》予約・録画の優先順位について	78

再生する

》録画した番組を再生する	81
》再生の基本操作とさまざまな再生のしかた	81
》録画番組の再生中にできるリモコン操作	84
》録画番組の情報や番組説明を見る	86
》録画番組を修復する	87
》見たい録画番組を探して再生する	88
》録画リストのさまざまな機能を使う	91
》繰り返し再生の設定を変える	91
》番組を並べ替える	92
》ほかの機器を選択する	92
》連ドラ予約をする	93
》機器の情報を確認する	94
》ハードディスクの残量を確認する	94

不要な録画番組を消す／誤って消さないように保護する

》不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する	95
》一つの録画番組を消す	95
》複数の録画番組を消す	96
》グループ内の録画番組をすべて消す	97
》自動的に消す(自動削除設定)	97
》誤って消さないように保護する	98

編集・ムーブする

》チャプター編集をする	99
》録画済番組の再生中に編集する	99
》グループ名を変更する	100
》ほかのグループに移動する	102
》録画番組をムーブ(移動)する	104

接続機器を使う

》外部入力 of 画面に切り換える	107
》外部入力 of 機能を設定する	109
》入力切替時に画面に表示される機器名を設定する . . .	109
》使用しない外部入力をスキップする	110
》HDMI入力 of RGBレンジを設定する	110
》ビデオ入力 of 音声入力を設定する	111
》本機 of リモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする	112
》本機 of リモコンで対応機器を操作する	115
》機器を操作する	115
》本機 of リモコンでできるおもな操作	116
》オーディオ機器 (サウンドシステム) で聴く	117
》オーディオ機器 of スピーカーで聴く	117

インターネットを楽しむ

インターネットに接続する

》インターネットに接続するための設定をする . . .	119
》IPアドレス設定	120
》DNS設定	121
》プロキシ設定	122
》接続テスト	123
》ネットワーク情報	124

調整・設定をする

映像を調整する

》お好みの映像モードを選ぶ	127
》お好みの映像に調整する	128
》バックライト	129
》コントラスト	129

》黒レベル	130
》色の濃さ	130
》色あい	130
》精細感・ノイズ調整	131
》コントラスト感調整	134
》色温度	135
》映像調整の初期化	135

音声を調整する

》お好みの音声に調整する	136
》高音	136
》低音	136
》左右バランス	137
》デジタル音声出力	137
》デジタル音声出力タイミング	138
》ヘッドホン／音声出力設定	139

その他の設定をする

》アンテナを調整する	141
》電波の強さ(信号強度)を確認する	141
》アンテナを調整する	142
》BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する	143
》アンテナ線がショートしたとき	144
》チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき	145
》地上デジタルチャンネルを自動で設定する	145
》チャンネルをお好みに手動で設定する	149
》視聴しないチャンネルをスキップする	152
》チャンネル設定を最初の状態に戻すには	153
》データ放送の設定をする	154
》郵便番号と地域を設定する	154
》災害発生時に文字情報を表示させる	155
》データ放送用メモリーの割当画面が表示されたら	156

》視聴できる番組を制限する	159
》制限するために暗証番号を設定する	159
》番組の視聴を制限する	161
》お買い上げ時の設定に戻すには （設定内容を初期化するには）	162

設定メニュー一覧

》設定メニュー 一覧	163
----------------------	-----

さまざまな情報

》ソフトウェアを更新する	167
》ソフトウェアの更新機能について	167
》ソフトウェアの自動ダウンロードについて	168
》ソフトウェアのバージョンを確認するには	169
》文字を入力する	170
》アイコン一覧	174
》番組についてのアイコン	174
》お知らせ、予約、その他についてのアイコン	176
》画面サイズについて	177
》対応フォーマット	181
》本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット	181

困ったときには

》症状に合わせて解決法を調べる	183
》操作	183
》映像	185
》音声	187
》地上デジタル放送	188
》BS・110度CSデジタル放送	189
》番組表	190
》お知らせアイコン  が何度も表示される	191

》録画・再生	192
》HDMI連動機能	195
》ネットワークが利用できない	197
》エラーメッセージが表示されたとき	200
》全般	200
》USBハードディスクに関するエラー表示	203
》LAN端子を使った通信に関するエラー表示	205

リモコンのボタンと主な機能

- 本書に記載している操作で使用するリモコンのボタンと、そのおもな機能は以下のとおりです(ボタンによっては、通常の操作時と機能の異なるものがあります)。



電源

電源を入れる/待機にする

入力切替

外部入力機器の画面に切り換える

字幕

字幕の表示/非表示を切り換える

番組説明

番組説明を表示する

画面表示

番組名や放送局名、放送時間などを見る

地デジ / BS / CS

放送の種類を切り換える

1 ~ 12 (数字ボタン)

チャンネルを選ぶ

チャンネル

チャンネルを順番に選ぶ

dデータ

データ放送を見る

消音

音を消す

サブメニュー

サブメニューを表示する



音量 + / -

音量を調節する

録画リスト

録画リストを表示させる

番組表

番組表で番組を選ぶ

▲・▼・◀・▶ (矢印ボタン)、決定

メニューから選ぶ、決定する

戻る

メニュー操作で一つ前の画面に戻る

終了

操作を終了する

青／赤／緑／黄(カラーボタン)

多様な用途があります

◀◀、▶▶ / 早送り、早戻し、■、||、▶▶▶

⏮、⏭

再生、早見早聞再生をする

早送り、早戻しをする

チャプタースキップをする

録画や再生を停止させる

再生を一時停止させる

映像を静止させる

番組表などでページを切り換える

ワンタッチリプレイ(10秒戻す)

ワンタッチスキップ(30秒飛ばす)

設定

設定メニューを表示する

音声切換

音声を切り換える

テレビ番組を操作する

- 本体の操作ボタンについては、[「本体ボタンによる「機能切換」について」](#)をご覧ください。

リモコンで番組を選ぶ

1 、、で放送の種類を選ぶ

- 今見ている放送と同じ種類の放送を見る場合は、この操作は不要です。

2 チャンネルを選ぶ(選局する)

- 以下の3とおりの選局方法があります。

ワンタッチ選局ボタンで選局する(ワンタッチ選局)

- ワンタッチ選局ボタン ～で選局します(以降の「お知らせ」もご覧ください)。
- BSデジタル放送のワンタッチ選局には、2種類あります。
 - ・ 通常はグループAのワンタッチ選局になります。
 - ・ グループBの放送局をワンタッチ選局する場合は、手順1 でBSデジタル放送を選んだあと  を押し、選局ガイドを表示している状態で、～ ボタンを押します。(選局ガイド表示中は  を押すたびに、選局ガイド表示が切り換わります)

チャンネル ・ ボタンで選局する(順次選局)

-  でチャンネルが順次に切り換わります。

チャンネル番号を入力して選局する(ダイレクト選局)

- チャンネル番号は番組表で確認できます。

① **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「チャンネル番号入力」の順に進む

- 視聴中の放送の種類に応じて、画面の右上に 地デジ---、BS---、CS--- のどれかが表示されます。

② **1**～**10**でチャンネル番号を入力する

例 103チャンネルを選ぶ場合⇒**1**、**10**(0)、**3**の順に押します(「0」は**10**で入力)。

- 入力した番号を消すには、◀を押します。
- **11**(*)を使った入力ができます。

例 **3** **11**→300番以降の最小チャンネル

■ 枝番のついた放送一覧が表示されたとき



- ▲・▼で選んで**決定**を押すか、**10**(0)～**9**で枝番を指定して選びます。

お知らせ

- 視聴できるデジタル放送のチャンネルやワンタッチ選局ボタンの番号は、[番組表](#)で確認することができます。
- 数字ボタンでワンタッチ選局ができるのは以下のとおりです([「チャンネルをお好みに手動で設定する」](#)▶で変更できます)。
 - ・ **地デジ**を押したとき→「はじめての設定」で各ボタンに登録されたチャンネル。
 - ・ **BS**を押したとき→各ボタンにあらかじめ登録されているチャンネル。
 - ・ **CS**を押したとき→110度CSデジタル放送の一部のチャンネル(**1**と**2**だけ)。
- ◆ 一つの放送局が複数のチャンネルで異なった番組を放送している場合、その放送局のチャンネルボタンを繰り返し押せばチャンネルを順番に選局できます。
- 枝番のついた放送一覧は、地上デジタル放送で隣接地域の同じチャンネル番号の放送を複数受信できたときに表示されます。
- 視聴制限のある番組の視聴には視聴制限設定が必要です。詳しくは[「視聴できる番組を制限する」](#)▶をご覧ください。

音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる

音量を調節する

- ① リモコンの  を押す

音を一時的に消す

- ① リモコンの  を押す
- ② 画面右下に  が表示されます。もう一度  を押すと音が出ます。

字幕放送番組で字幕の表示/非表示を切り換える

- ① リモコンの  を押す

サブメニューから切り換えるには

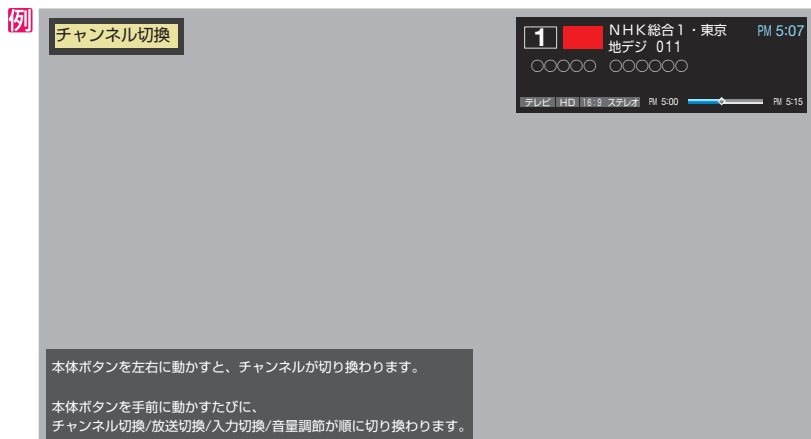
- ①  を押し、▲・▼と  で「字幕」を選ぶ
- ② ▲・▼で「字幕オン」または「字幕オフ」を選び、 を押す

本体ボタンによる「機能切換」について

- 本体底面にある本体ボタンを左右に動かすと通常「音量調節」を行います。手前に動かすたびに機能が切り換わります。

1 本体ボタンを手前に動かす

- 本体ボタンを手前に動かすと、画面左上に現在選択している機能が表示されます。
希望の機能を選ぶには、機能表示が消える前に手順2の操作をします。



- 本体ボタンを手前に動かしたあと8秒間以上操作をしないと、音量調節機能に戻ります。

2 本体ボタンを繰り返し手前に動かして機能を選び、左右に動かして切り換えまたは調節をする

- 本体ボタンを手前に動かすたびに以下のように機能が切り換わります。

→ チャンネル切換 → 放送切換 → 入力切換 → 表示なし(音量調節)

- チャンネル切換..... チャンネルが順次に切り換わります。
- 放送切換 「地デジ」、「BS」、「CS」が順次に切り換わります。
- 入力切換 入力が順次に切り換わります。 [▶「外部入力の画面に切り換える」](#)

操作ガイドについて

- 番組表や操作画面などには、そのときに使用できる(または使用する)リモコンボタンの操作ガイドが表示されます。
- よく使う機能がカラーボタン(青、赤、緑、黄)やサブメニューに割り当てられています。

例 録画リスト



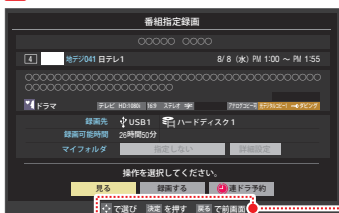
サブメニューの表示
サブメニューがあることを示します。

例 番組表



青 赤 緑 黄 の表示
カラーボタンでさまざまな操作ができることを示します。

例 操作画面



◀ ▶ の表示
ページやリストの切り換えができることを示します。

決定 戻る の表示
選んで決定したり、前の画面に戻ったりすることができることを示します。



サブメニューについて

- **サブメニュー**を押してサブメニューを表示させ、さまざまな便利機能を使うことができます。
- サブメニューの内容は、**サブメニュー**を押すときの場面によって変わります。
- サブメニューで選択できる項目は、放送の種類や外部機器の有無などによって変わります。選択できない項目は、薄くなっ
て表示されます。

例 デジタル放送のテレビ番組を視聴中

サブメニュー
番組説明
連ドラ予約
予約リスト
時計
字幕
画面サイズ切換
スピーカー切換
その他の操作

番組説明	視聴中の番組の詳しい情報を確認できます。
連ドラ予約	視聴中の連続ドラマが毎回録画されるように予約することができます。
予約リスト	予約リストを表示します。
時計	時計表示やオンタイマー／オフタイマーの設定ができます。
字幕	字幕放送番組で字幕の表示／非表示を切り換えられます。
画面サイズ切換	見ている映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。
スピーカー切換	本機のスピーカーで聴くか外部システムのスピーカーで聴くか選べます。
その他の操作	「その他の操作」サブメニューを表示します。

サブメニューで「その他の操作」を選択

その他の操作
信号切換
チャンネル番号入力
アンテナレベル表示
データ放送終了
テレビ/ラジオ/データ切換
親切ヘッドホン音量
お知らせ
ソフトウェアバージョン

信号切換 「信号切換」サブメニューを表示します。
チャンネル番号入力 チャンネル番号を入力して選局します。
アンテナレベル表示 映りが悪いときなどに、アンテナレベルを確認できます。
データ放送終了 データ放送の視聴を終了します。
テレビ/ラジオ/データ切換 視聴する放送メディアを切り換えます。
親切ヘッドホン音量 親切モードでのヘッドホンの音量を調節することができます。
お知らせ 本機や放送局からのお知らせがあったときに内容を確認します。
本機の情報 本機のソフトウェアバージョンを確認します。

サブメニューで「その他の操作」⇨「信号切換」を選択

信号切換
映像信号切換
音声信号切換
音多切換
データ信号切換
降雨対応放送切換

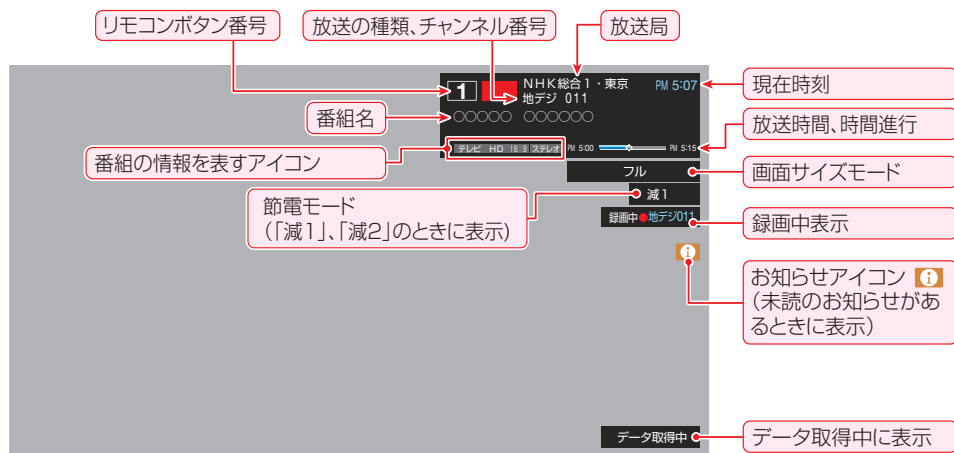
映像信号切換 一つの番組で複数の映像が送られている場合に切り換えられます。
音声信号切換 一つの番組で複数の音声を送られている場合に切り換えられます。
音多切換 二か国語放送など、音声多重放送の場合に聴きたい音声を選びます。
データ信号切換 一つの番組で複数のデータが送られている場合に切り換えられます。
降雨対応放送切換 豪雨などの影響で降雨対応放送が行われた場合に切り換えられます。

番組情報や番組説明を見る

番組情報を見る

1 画面表示を押す

- 現在視聴しているチャンネルや番組の情報が表示されます（チャンネル以外の表示は数秒後に消えます）。
- 表示を消すには、もう一度画面表示を押します。
- 選局時には一部省略された状態で表示されます。



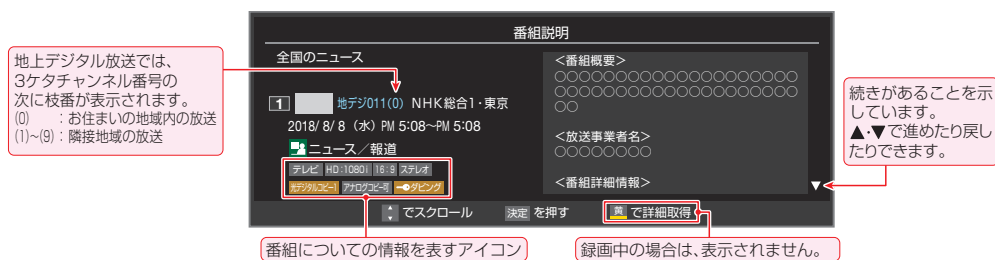
番組説明を見る

1 **番組説明**を押す、あるいは**サブメニュー**を押し、▲・▼で「番組説明」を選び、**決定**を押す

2 さらに詳しい説明を見るときは▼を押す

- 「詳細情報を取得していません」が表示されたときは、**黄**を押します。
 - 詳細情報が取得できなかった場合には、「詳細情報を取得できませんでした」と表示されます。

3 説明画面を消すには、**決定**を押す



お知らせ

- 画面に表示されるアイコン(**ステレオ**、**HD:1080i**などの記号)についての説明は、**「アイコン一覧」**をご覧ください。
- 番組情報の表示や詳細情報の取得には時間がかかることがあります。
- 番組情報を取得するタイミングによっては、最新の情報が表示されないことがあります。
- 番組によっては、録画、録音が制限されることがあります。その場合は、番組説明の画面でアイコンが表示されます。

番組表で番組を探す

番組表を使う

- 番組表は、放送電波で送られてくる番組情報を基にして表示されます。
- お買い上げ直後や電源を入れた直後、放送の種類を変えたときなどには、番組内容の表示に時間がかかることがあります。
- 番組表を最新にしておくために、本機の電源を毎日2時間以上「切」または「待機」にすることをおすすめします。

1 番組表を押す

- 通常番組表が表示されます(「週間番組表」については「週間番組表を表示させる」をご覧ください)。

[通常番組表画面：7チャンネル表示の例]

The screenshot shows a 7-channel program guide. Callouts include:

- 放送の種類** (Broadcast Type): Points to the top header area.
- リモコンボタン「チャンネル放送局」** (Remote Button 'Channel Broadcast Station'): Points to the channel number '1'.
- 録画予約がある時間帯 (赤色の縦線表示)** (Recording reservation time slot (red vertical line display)): Points to a red vertical line on the timeline.
- 録画予約アイコン** (Recording reservation icon): Points to a red icon on the timeline.
- 視聴予約アイコン** (Viewing reservation icon): Points to a green icon on the timeline.
- 連ドラ予約アイコン** (Serial drama reservation icon): Points to a blue icon on the timeline.
- 別の番組がある時間帯 (灰色の二重縦線表示)** (Other program time slot (gray double vertical line display)): Points to a gray double vertical line on the timeline.
- 放送メディア(データ)** (Broadcast media (data)): Points to the 'BS' label at the top.
- 番組表の日付** (Program guide date): Points to the date '8/10 (水)' at the top.
- 現在の日時** (Current date and time): Points to the top right corner showing '8/10 (水) AM 9:13'.
- 選択中の番組** (Selected program): Points to a program entry in the list.
- 色分け設定をしたジャンルに該当する番組は、開始時刻と背景が設定した色になります。** (Programs corresponding to the genre with color setting will have the start time and background set to the specified color.): Points to a program with a colored background.
- 放送時間の短い番組は、番組を選べば番組名などが表示されます。** (For programs with short broadcast times, the program name, etc., will be displayed when you select the program.): Points to a program with a short duration.
- リモコンボタンの操作ガイド** (Remote button operation guide): Points to the bottom of the screen.

- 放送の種類を変えるときは、**「地デジ」**、**「BS」**、**「CS」**を押します。
- 独立データ放送やラジオ放送の番組表に切り換えるときは、サブメニューの**「テレビ/ラジオ/データ切換」**で選びます。
- 番組表を消すときは、**「終了」**を押します。

2 ▲・▼・◀・▶で番組を選ぶ

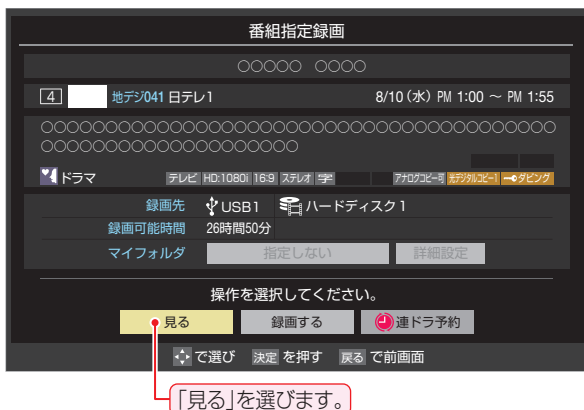
- 選んだ番組の番組説明を見るには、リモコンの**「番組説明」**を押す、あるいは**「サブメニュー」**を押し、**▲・▼**で「番組説明」を選び**「決定」**を押します。
- 番組表に表示されていないチャンネルを表示させるには**◀▶**または**「10秒戻し・30秒送り」**を押します。

3 決定を押す

- 現在放送中の番組を選んだときは、番組指定録画画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、番組指定予約画面になります。[「番組表で予約をする」](#)の[手順3](#)をご覧ください。

4 現在放送中の番組を見るときは、▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、決定を押す

- 画面の図は、現在放送中の番組でUSBハードディスクが接続されている場合の例です。



- 番組指定録画画面からは、[録画](#)、[連ドラ予約](#)の操作ができます。
- 番組指定予約画面からは、[視聴予約](#)、[録画予約](#)、[連ドラ予約](#)の設定ができます。

お知らせ

- テレビを視聴している条件などによっては番組表が空欄になることがあります。この場合は、空欄の部分を選んでから、「[番組表を更新する](#)」の操作をしてください。
- 番組表に表示できる番組情報は最大8日分です。
- 「[チャンネルスキップ設定](#)」で、スキップ「する」に設定に設定したチャンネルは番組表に表示されません。
- データ放送の視聴中は番組表に切り換わらないことがあります。その場合は、テレビ放送に切り換えてから操作してください。
- 番組の中止・変更・延長などによって、実際の放送内容が番組表と異なることがあります。番組表や番組情報などで表示される内容および利用した結果について、当社は一切の責任を負いません。

視聴制限番組について

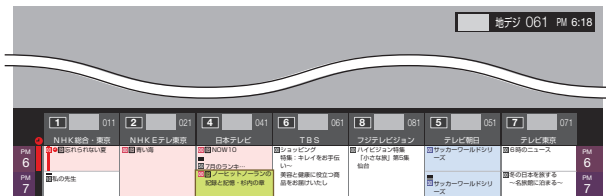
- 手順4で視聴制限番組を選んだ場合、「見る」、「録画する」、「連ドラ予約」を選択して^(決定)を押すと、メッセージが表示されます。◀▶を押して「はい」を選び、^(決定)を押すと暗証番号入力画面が表示されます。**1**～**10**⁽⁰⁾で暗証番号を入力すると、番組表の視聴制限が一時解除されます。
「いいえ」を選んだときは、前の画面に戻ります。
- 視聴制限番組について、詳しくは「[番組の視聴を制限する](#)」をご覧ください。
- 番組表で視聴制限を一時解除するときは、「[番組表で視聴制限を一時解除する](#)」をご覧ください。

番組を見ながら他の番組を探す(ミニ番組表)

- 番組を見ながら、画面の下側にミニ番組表を表示させて番組を探すことができます。

1 番組表を表示中に を押す

- ミニ番組表が表示されます。
- もう一度押すと、ミニ番組表が消えます。
- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。



番組表を便利に使う

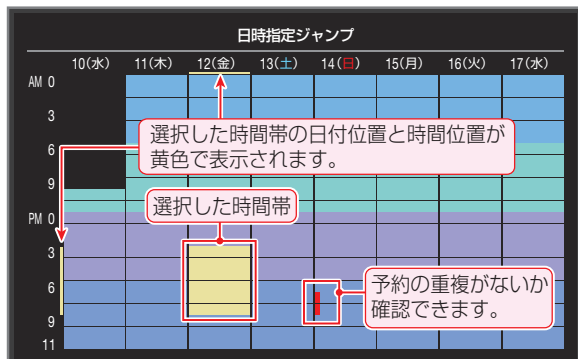
- カラーボタンや番組表のサブメニューで、さまざまな便利機能を使うことができます。
- 番組表またはミニ番組表が表示されているときに以下の操作をします(ミニ番組表では一部の機能を使用できません)

指定した日時の番組表を表示させる

- 日付と時間帯を選んで番組表を表示させることができます。

1 (日時切換)を押す

2 ▲・▼・◀・▶で日時を選び、 を押す



週間番組表を表示させる

- 選んだ放送局の一週間分の番組表を表示させることができます。

- 1 ◀▶で週間番組表を表示させたいチャンネルを選び、
黄 (週間番組表)を押す

一週間分の番組表を表示させたい放送局の番組を選びます。



黄 を押すたびに切り換わります

[通常番組表]

[週間番組表]

- 操作方法は、通常番組表の場合と同じです。
- 番組表の表示を週間番組表にしているときは、[「マルチ表示」](#)に切り換えることはできません。

番組説明を見る

- 選択中の番組の番組説明を見ることができます。

- 1 サブメニューを押し、▲・▼で「番組説明」を選び、決定を押す

番組表を更新する

- 番組表の中が空になっているときや、最新の番組情報に更新するときは、以下の操作をします。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組情報の取得」を選んで**決定**を押す

番組情報の取得中に表示されます。



※ 番組録画中は、番組情報の取得ができません。

- ◆ 番組表で選択している放送局の情報が更新されます(地上デジタル放送は選択した番組が含まれる放送局が更新されます)。
- 番組情報取得中にほかの操作をすると、情報の取得が中止されることがあります。
- 番組情報の取得を中止するときは、番組情報取得中に**サブメニュー**を押し、サブメニューから「番組情報の取得中止」を選択します。

- 1** 切り換える放送局の番組をどれか選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲・▼で「1チャンネル表示」(または「マルチ表示」)を選び、
 (決定)を押す

- 番組表の表示によって、「マルチ表示」または「1チャンネル表示」が表示されています。
- 「1チャンネル表示」、「マルチ表示」を選ぶと、以下のように切り換わります。

[illegible]

[]チャンネル表示

放送事業者ごとの
1チャンネル表示

放送事業者ごとの
マルチチャンネル表示

[マルチ表示]

- 「マルチ表示」での番組予約については、[「マルチ表示の番組表で予約するとき」](#)をご覧ください。

文字サイズを大きくする

- 番組表の文字が小さくて見えにくいときなどに、文字の大きさを切り換えることができます。

1 赤 を押して文字の大きさを切り換える

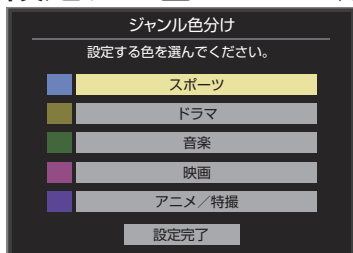
- ボタンを押すたびに、文字の大きさが変わります。
文字の大きさに合わせて、表示する時間帯も変わります。

ジャンル別に色分けする

- 番組のジャンル(分野)別に色分けをすれば、見たい番組を探すのに便利です。
- お買い上げ時に設定されている色分けを、以下の操作で変更することができます。

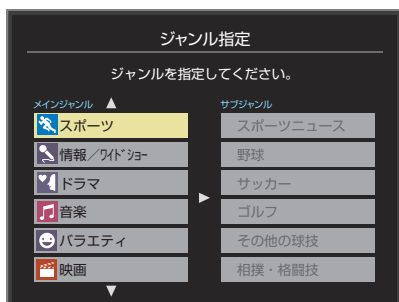
1 サブメニューを押し、▲・▼で「ジャンル色分け」を選んで(決定)を押す

2 設定する色を▲・▼で選び、(決定)を押す



3 ▲・▼・◀・▶でジャンルを選び、(決定)を押す

- (決定)を押すと手順2の画面に戻ります。ほかの色の設定を変える場合は、操作を繰り返します。
- 「指定しない」を選ぶと、色分け表示がなくなります。



4 ▲・▼で「設定完了」を選び、を押す

番組記号の説明を見る

- 新、再、字などの番組記号の意味を調べることができます。

1 を押し、▲・▼で「番組記号一覧」を選んでを押す

- 番組記号の説明が表示されます。
- 表示されるのは番組記号の一部です。
- 見終わったら、を押します。

表示させるチャンネル数を設定する

- 番組表に表示させるチャンネル数を切り換えることができます。

1 を押し、▲・▼とで「番組表表示設定」⇒「表示チャンネル数」の順に進む

2 ▲・▼で表示させるチャンネル数を選び、を押す

チャンネルの並び順を設定する

- 番組表に表示させるチャンネルの並び順を切り換えることができます。

1 を押し、▲・▼とで「番組表表示設定」⇒「チャンネル並び順」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、を押す

- 通常
放送局推奨の並び順になります。
- チャンネルボタン優先
ワンタッチ選局ボタン ～の番号順に並びます。

番組概要の表示／非表示を設定する

- 番組の概要説明を表示させるかどうかを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「番組概要表示」の順に進む

2 ▲・▼で「表示する」、「表示しない」のどちらかを選び、**決定**を押す

地上デジタル放送局の表示位置を設定する

- 地上デジタル放送の番組表で放送局の表示位置を設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「番組表表示設定」⇒「地デジ表示」の順に進む

2 ▲・▼で以下のどちらかを選び、**決定**を押す

- 視聴チャンネル中央表示 視聴中のチャンネルが番組表の中央に表示されます。
- チャンネル順優先表示 お住まいの地域のチャンネル順に表示されます。

番組表の放送メディアを切り換える

- 番組表に表示させる放送メディア(テレビ、ラジオ、独立データ)を選びます。
- 放送が運用されていない放送メディアに切り換えることはできません。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「テレビ/ラジオ/データ切換」を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼で「テレビ」、「ラジオ」、「データ」から選んで**サブメニュー**を押す

番組表で視聴制限を一時解除する

- 番組表を表示中に視聴制限の一時解除ができます。

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「視聴制限一時解除」を選んでサブメニューを押す

- 暗証番号入力画面が表示されます。
- ※ すでに一時解除されている場合や、地上デジタル放送などの場合は、「視聴制限一時解除」は選べません。

2 1～10₍₀₎で暗証番号を入力する

- 番組表の視聴制限が一時解除されます。

条件を絞りこんで番組を探す

- 番組のジャンル(分野)やキーワードなどの条件を指定して、見たい番組を探すことができます。

お知らせ

- 番組の詳細情報はキーワード検索の対象になっていません。
- [「チャンネルスキップ設定」](#)で、「スキップ」に設定したチャンネルの番組は番組検索の対象になりません。
- 番組検索の結果は指標としてお使いください。内容および利用した結果について、当社は責任を負いません。

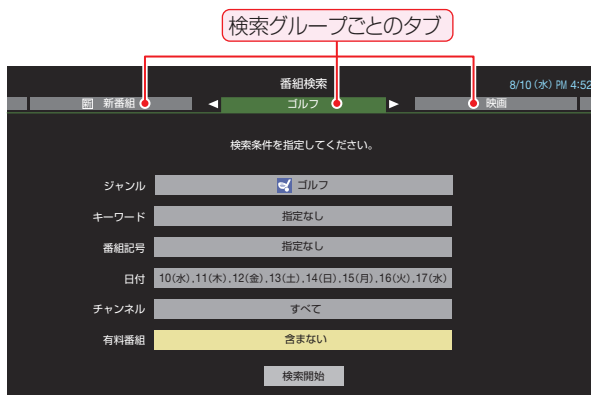
1 ^{番組表}を押して、番組表を表示させる

2 ^緑 (番組検索)を押す

- 番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀▶で選ぶ

- 以降の手順で指定する検索条件のうち、「日付」以外は検索グループごとに記憶されます。

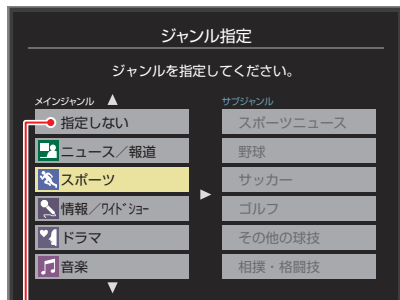


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」のどれかは必ず指定してください。

「ジャンル」を指定するとき

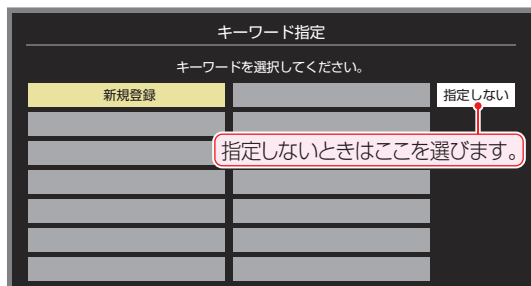
- 1 ▲・▼で「ジャンル」を選び、(決定)を押す
- 2 指定するジャンルを▲・▼・◀・▶で一つ選び、(決定)を押す



指定しないときはここを選びます。

「キーワード」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「キーワード」を選び、(決定)を押す
 - 2 指定するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す
- お買い上げ時は登録されていません。



指定しないときはここを選びます。

■ 新しいキーワードを登録する場合

① ▲・▼・◀・▶で「新規登録」を選び、(決定)を押す

● 文字入力画面が表示されます。

② キーワードを入力して確定ボタンを選び、(決定)を押す

● 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

● キーワードは14個まで登録できます。

■ キーワードを編集する場合

① 編集するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、青■を押す

② キーワードを編集して確定ボタンを選び、(決定)を押す

■ キーワードを削除する場合

① 削除するキーワードを▲・▼・◀・▶で選び、赤■を押す

② ◀・▶で「はい」を選び、(決定)を押す

「番組記号」を指定するとき

① ▲・▼で「番組記号」を選び、(決定)を押す

② 指定する番組記号を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す

番組記号指定

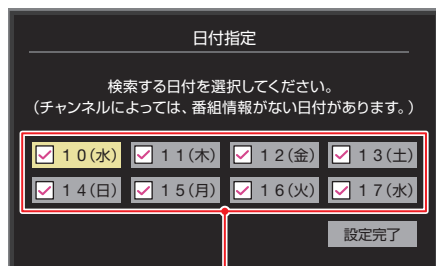
番組記号を選択してください。

■ 新番組	■ 最終回
■ 再放送	■ 生放送
■ 双方向サービス	■ 番組連動データ放送
■ 字幕放送	■ 手話通訳放送
■ ステレオ放送	■ サラウンドステレオ
■ Bモードステレオ	■ ニカ国語放送
■ 音声多重放送	■ 音声解説
■ 指定しない	

指定しないときはここを選びます。

「日付」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「日付」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する日付を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す
- 3 **決定**を押すたびに、☒ (指定する)と☐ (指定しない)が交互に切り換わります。
- 4 7日先まで指定できます。

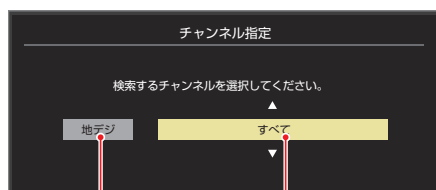


指定する日に「✓」がつくようにします。

- 3 指定が終わったら、▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、**決定**を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する項目を◀・▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



放送の種類

チャンネル

- 放送の種類 …… すべて / BS / CS / 地デジ
- 放送メディア …… すべて / テレビ / ラジオ (BS、110度CSのみ) / データ
- チャンネル …… 指定した放送の種類やメディアに該当するチャンネル / すべて

- 3 指定が終わったら、**決定**を押す

5 ▲・▼で「検索開始」を選び、(決定)を押す

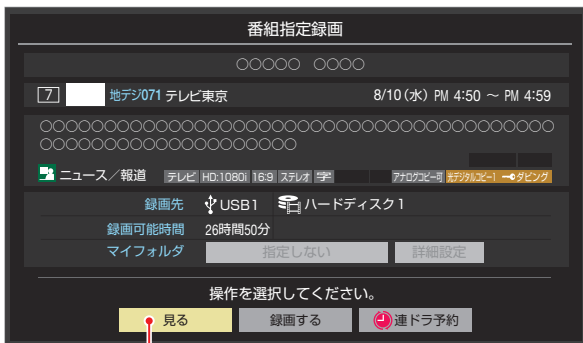
- 選択中のタブの検索グループに、手順3で指定した検索条件が上書きで保存されます。

6 「番組検索結果」画面から、見たい番組を▲・▼で選んで決定を押す



- 「番組指定録画」画面が表示されます。
- これから放送される番組を選んだときは、「番組指定予約」画面が表示されます。**「番組表で予約をする」**の手順3をご覧ください。

7 ▲・▼・◀・▶で「見る」を選び、(決定)を押す



- 選んだ番組の放送画面になります。

データ放送やラジオ放送を楽しむ

データ放送について

- デジタル放送では映像や音声によるテレビ放送以外に、データ放送があります。
- データ放送には、テレビ放送チャンネルで提供されている番組連動データ放送や、番組案内、ニュース、天気予報などのデータ放送があります。

デジタル放送の双方向サービスについて

- インターネットや電話回線を利用して、視聴者と放送局との間で双方向に通信できるサービスです。クイズ番組に参加して回答したり、ショッピング番組で商品を購入したりすることができます(本機は、電話回線を利用した双方向サービスには対応しておりません)。
- 地上デジタル放送の双方向サービスには、放送番組に連動した通信サービスと、放送番組とは無関係な通信サービスがあります。



非リンク型サービス

放送番組とは無関係な通信サービスのときに表示されます。(文字表示は数秒で消えます)



暗号通信

本機はSSL(Secure Sockets Layer)等の暗号通信に対応しています。そのサービスの際に、このアイコンが表示されます。

ラジオ放送について

- ラジオ放送が運用されている場合は、本機で放送を聴くことができます。

連動データ放送を楽しむ

- 一部の番組には番組連動データ放送があります。双方向サービスが行われている番組連動データ放送では、番組に参加して楽しむことができます。
- テレビ放送チャンネルで、天気予報やニュース、番組案内などのデータ放送を提供している場合があります。

1 を押す

- 番組によっては押す必要がない場合があります。
- 放送画面に表示される操作メニューや操作説明などに従って操作をします。

2 データ放送を終了するには、を押し、▲・▼と $\odot$ で「その他の操作」⇒「データ放送終了」の順に進む

独立データ放送やラジオ放送を楽しむ

- BSデジタル放送などで運用される独立データ放送チャンネルやラジオ放送チャンネルを選ぶときの操作です。

1 放送の種類を選ぶ

- BSデジタルの独立データ放送やラジオ放送を視聴する場合は、を押します。

2 を押し、▲・▼と $\odot$ で「その他の操作」⇒「テレビ/ラジオ/データ切替」の順に進む

3 ▲・▼で「データ」または「ラジオ」を選び、 $\odot$ を押す

- で他のチャンネルに切り換えられます。
チャンネル番号を入力して選ぶこともできます。
- データ放送やラジオ放送を終了するには、上記の操作で「テレビ」を選びます。

お知らせ

- 放送データの取得中は一部の操作ができないことがあります。
- 本機の放送切換ボタンとチャンネルボタンでは、データ放送とラジオ放送の選択やチャンネル切換はできません。
- 放送画面の操作説明などで、**dデータ**は「データボタン」、「データ放送ボタン」などに表示されることがあります。
- データ放送は録画できません。

■ 双方向サービスについて

- 双方向サービスを利用する場合は、あらかじめインターネットを利用するための接続(製品同梱の取扱説明書 **19**)と [インターネットを利用するための設定](#) をしてください。また、双方向サービスの利用には登録の申し込みなどが必要な場合があります。
- 双方向サービスでは、お客様の個人情報の入力を要求されることがありますが、接続先のサイトによってはSSLなどによる通信時のセキュリティ対策が行われていない場合があります。
- 双方向サービスの利用時は、通信に時間がかかり、次の操作がすぐにできないことがあります。
- 本機が動作中に電源プラグを抜かないでください。本機が記憶している双方向サービスでのお客様のポイント情報などが更新されないことがあります。

便利な機能を使う

画面サイズを切り換える

- 視聴している映像の種類に応じて、画面サイズを切り換えることができます。

1 **サブメニュー** を押し、**▲・▼** で「画面サイズ切換」を選び、**決定** を押す

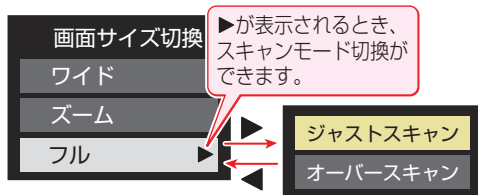
2 お好みの画面サイズを **▲・▼** で選び、**決定** を押す

- 画面の見えかたについては、[「画面サイズについて」](#) をご覧ください。

▶が表示されるとき

- **決定** を押す前に、必要に応じて以下の操作をします。

1 **▶** を押し、お好みのモードを **▲・▼** で選ぶ



- **ジャストスキャン**……… 16:9の映像が画面内に収まるように表示させます。
- **オーバースキャン**……… 16:9の映像を少し大きめに表示させます。

降雨対応放送について

- BSデジタル放送や110度CSデジタル放送を視聴中に、雨や雪などで衛星からの電波が弱まった場合、放送局が運用していれば、降雨対応放送に切り換えて見ることができます。
- ※ 図のメッセージが表示された場合は、以下の手順で降雨対応放送に切り換えられます。
- ※ 降雨対応放送は、通常の放送よりも画質が低下します。

電波の受信状態が良くありません。
[サブメニュー] から「降雨対応放送」に切り換えられます。

コード：E201

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「信号切換」⇒「降雨対応放送切換」の順に進む

2 ▲・▼で「降雨対応放送」を選ぶ

- 降雨対応放送をやめるには、「通常の放送」を選びます。
- 電波が強くなると、自動的に通常の放送に戻ります。

他の映像・音声を切り換える

音声多重番組で聴きたい音声を選ぶ

- 音声多重放送番組の場合、主音声、副音声、主：副を切り換えることができます。
- 番組説明画面に**二重音声**のアイコンが表示されます。

1 **音声切換**を押す

- **音声切換**を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音多切換」でも音声の切り換えができます。

音声を切り換える

- 複数の音声で放送されている番組の場合、音声1、音声2などの音声信号を切り換えることができます。
- 番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「音声切換」を押す

- 「音声切換」を押すたびに以下のように切り換わります。



- サブメニューの「音声信号切換」(次の説明)でも音声の切り換えができます。

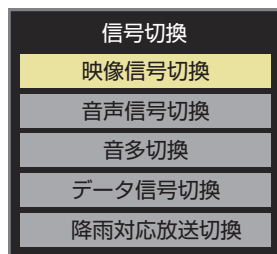
映像、音声、データを切り換える

- デジタル放送では、一つの番組に複数の映像や音声、データがある場合があり、お好みで選択することができます。
- 映像、音声、データが切り換えられる番組は、番組説明画面に「信号切換」のアイコンが表示されます。

1 「サブメニュー」を押し、▲・▼と「決定」で「その他の操作」⇄「信号切換」の順に進む

2 切り換える信号を▲・▼で選び、「決定」を押す

- 視聴中の番組で切り換えのできない信号は、薄くなって表示されます。



3 視聴したい映像、音声、データを▲・▼で選び、を押す

- 「信号切換」のサブメニューに表示される「音声信号切換」、「音多切換」は、で選択する機能と同じです。

お知らせ

■ 信号切換について

- 選局操作をすると、信号切換で選択した状態は取り消されます(基本の信号を選択した状態になります)。
ただし音多切換と字幕切換では、選局しても状態は取り消されません。

映像を静止させる

- 映像の動きを止めることができます。料理番組のレシピや、視聴者プレゼントの応募先などをメモするときに便利です。

1 を押す

- 解除するときは、もう一度 を押します。
- 映像の静止中でも音声は流れ続けます。

お知らせ

- データ放送視聴中は静止画にできません。また、映像の静止中にデータ放送の操作はできません。
- 字幕放送の場合、映像の静止中に字幕は表示されません。
- 選局操作をすると静止画が解除されます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどで「静止画」を使用すると、著作権法で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。
- 映像を静止中に、入力されている信号が切り換わると、静止が解除されることがあります。

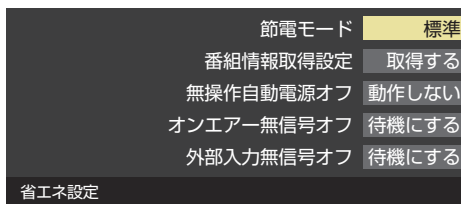
省エネ設定をする

- 省エネに関するさまざまな設定をすることができます。

1 「設定」を押し、▲・▼と(決定)で「機能設定」⇒「省エネ設定」の順に進む

- 「省エネ設定」の画面が表示されます。

2 設定する項目を▲・▼で選び、(決定)を押す



3 お好みの設定を▲・▼で選び、(決定)を押す

- 以降の説明を参照し、設定してください。

節電モード

- 液晶画面のバックライトの明るさをおさえることで本機の節電ができます。
- 「減1」、「減2」に切り換えた場合、画面の明るさを抑えて、画面の明るさに適した画質に自動調整されます。(「映像モード」が「ライブ」、「映画」の場合、画質は変わりません)
 - 標準… 標準の明るさです。
 - 減1 … 画面の明るさを「標準」よりもおさえて、節電します。
 - 減2 … 画面の明るさを「減1」よりもおさえて、さらに節電します。

番組情報取得設定

- 番組表機能や予約機能を正しく働かせるために、「取得する」で使用することをおすすめします。
- **取得する**
電源が「待機」や「切」のときに、デジタル放送の番組情報を取得します。取得時に電力を消費します。
- **取得しない**
番組情報を取得しません。そのため、番組表の内容が表示されなかったり、予約できなかったり、番組検索ができなかったりすることがあります。

無操作自動電源オフ

- **待機にする**
本機の無操作状態が約3時間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
テレビの無操作状態が続いても電源は「入」のままです。

オンエアー無信号オフ

- **待機にする**
放送受信時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
 - **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。
- ※ 外部入力を選んでいるときは機能しません。

外部入力無信号オフ

- **待機にする**
外部入力選択時に、無信号状態が約15分間続くと、電源が「待機」になります。
- **動作しない**
無信号状態が続いても電源は「入」のままです。

ヘッドホンで聴く

- ヘッドホンで聴くときの音の出かたを設定します。
- ヘッドホン出力設定には「通常モード」と「親切モード」があります。お買い上げ時は「通常モード」に設定されています。
- ※ ヘッドホン出力設定の設定のしかたについては、「ヘッドホン／音声出力設定」をご覧ください。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「音声設定」⇒「ヘッドホン／音声出力設定」⇒「ヘッドホンモード」の順に進む

● 通常モード

ヘッドホンだけで音声を聞くモードです。ヘッドホンのプラグを差し込むと、スピーカーから音声が出なくなります。

● 親切モード

ヘッドホンとスピーカーの両方で音声を聞くモードです。家族で視聴する場合など、スピーカーの音声聞き取りにくい人がヘッドホンまたはイヤホンで聴くというような使いかたができます。

- 親切モードのとき、スピーカーの音量は  で調節します。

ヘッドホンの音量調節のしかた

- 「通常モード」に設定しているときは、 で調節します。
- 「親切モード」に設定して、ヘッドホンを接続しているときは、以下の手順で調節します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定** で「その他の操作」⇒「親切ヘッドホン音量」の順に進む

- ヘッドホンを接続していないときは、選択できません。

2 ◀▶ で音量を調節する

-  でも調節できます。

ご注意

- ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン／音声出力設定」の「出力設定」を「ヘッドホン」にしてください。

外部スピーカーで聴く

- ヘッドホン／音声出力端子に音声出力機器を接続して聴くときの音の出かたを設定します。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選び、**決定** を押す

2 ▲・▼で「外部スピーカー」を選び、**決定** を押す

- テレビのスピーカーからは音は出ません。
- 「外部スピーカー出力設定」が「固定」の場合は、接続した外部音声出力機器で音量を調節します。
「可変」の場合は、本機のリモコンで音量を調節できます。
- ※ 「外部スピーカー出力設定」の設定のしかたについては、[「ヘッドホン／音声出力設定」](#) をご覧ください。

時計を表示する

- 画面に時計を表示させます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「時計」⇒「時計表示」の順に進む

2 ▲・▼で「オン」または「オフ」を選び、**決定** を押す

- 「オフ」を選ぶと時計を消します。

アラームを使う

- 設定した時刻にアラームでお知らせすることができます。
本機の電源「待機」のときは、電源が「入」になります。

1  を押し、▲・▼と  で「時計」⇒「アラーム設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する

アラーム

- 1 ▲・▼で「アラーム」を選び、 を押す
 - 2 ▲・▼で「オン」を選び、 を押す
- アラームを使用しないときは、「オフ」を選びます。
 - アラーム設定画面を表示中は、 を押すたびに「アラーム」の「オン」と「オフ」を切り換えることができます。

日時

- アラームでお知らせする日時を設定します。
- 1 ▲・▼で「日時」を選び、 を押す
 - 2 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を選ぶ
- 曜日は「毎日」、「1回」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」の中から選びます。
- 3 設定が終わったら、 を押す

サウンド

- アラームでお知らせするときの効果音を設定します。
 - ① ▲・▼で「サウンド」を選び、を押す
 - ② ▲・▼でお好みの音を選ぶ
 - を押すと、選んだ音を聴いて確認することができます。
 - ※ テレビの状態によっては、「再生できません」が表示され、効果音の確認ができない場合があります。
 - ③ 設定が終わったら、を押す

音量

- アラームでお知らせするときの音量を設定します。
 - ① ▲・▼で「音量」を選び、を押す
 - ② ▲・▼でお好みの音量を選び、を押す
 - を押すと、選んだ音量を聴くことができます。
 - ③ 設定が終わったら、を押す

チャンネル

- アラームでお知らせした後に、画面に映すチャンネルを設定します。
 - ① ▲・▼で「チャンネル」を選び、を押す
 - ② 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ
 - ・ 放送の種類
ラストチャンネル／地デジ／BS／CS
 - ※ ラストチャンネルは、電源を切る前に見ていたチャンネルになります。(番組予約により選局できない場合は、番組予約したチャンネルになります)
 - ・ チャンネル
設定した放送の種類に該当するチャンネル
 - ③ 設定が終わったら、を押す

アラームの動作について

- アラームで設定した時刻になると次のように動作します。

設定した「音量」、「サウンド」でアラームが鳴り、アラーム停止画面が表示される

- 電源が「待機」のときは、電源が「入」になります。
- ◀▶で「停止」を選んで決定を押すと、アラームを停止します。
- ◀▶で「スヌーズ」を選んで決定を押すと、アラームを一度停止し、スヌーズ動作になります。

スヌーズ動作：

5分後、再度アラームが鳴り、アラーム停止画面が表示されます。

アラームを停止するときは、アラーム停止画面で「停止」を選びます。

スヌーズ中は、終了を押してスヌーズ解除画面を表示させ、「はい」を選んで決定を押します。

スヌーズで無音状態中に音量の操作をすると、アラームの音量も操作した音量になります。

※ アラームを停止しないと：

「サウンド」で選んだ音が5分後に停止し、無音状態になります。さらに5分経過すると、再度選んだ音が鳴ります。

アラームを停止するまで上記動作を繰り返します。（「無操作自動電源オフ」の設定に従います）

- ※ アラームで電源がはいったときは、上記を繰り返し、操作をせずに1時間が経過すると、自動的に電源が「待機」になります。

アラームを一時的に解除する

- アラームの設定を残したまま、一時的に解除することができます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇒「アラーム設定」の順に進む

2 ▲・▼で「オフ」を選び、**決定** を押す

- 「オン」を選ぶと、アラームが再開されます。

オフタイマーを使う

- オフタイマーを設定すると、設定時間後に電源が切れて、「待機」の状態になります。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と **決定** で「時計」⇒「オフタイマー」の順に進む

- すでにオフタイマーが設定されているときは、「オフタイマー設定」に電源が切れるまでの時間も表示されます。

2 電源が切れるまでの時間を▲・▼で選び、**決定** を押す

- オフタイマーが動作して、あと1分になると画面にメッセージが表示されます。

録画・予約機能について

録画できる機器と番組

- 本機背面のUSB (通常録画) 端子に接続したUSBハードディスクにデジタル放送番組を録画できます(データ放送、外部入力(HDMI1 ~ 2、ビデオ入力)で視聴している動画の映像・音声は録画できません)。
- USBハードディスクの接続は、製品同梱の取扱説明書の「録画機器を接続する」**[23]**をご覧ください。

接続・設定と録画前の準備

録画する機器	録画前の準備
USBハードディスク (注)	● USBハードディスクの電源を入れておきます。 ● USBハードディスクの残量を確認します。 ▶「ハードディスクの残量を確認する」 ● 「すべて」のタブの録画リストで「録画番組数」を確認します。 ▶「録画した番組を再生する」 ※ 残量不足や番組数超過(3000を超過)になりそうな場合は、不要な番組を削除します。 ▶「一つの録画番組を消す」

(注) USBハードディスクは、本機に登録しないと録画できません。

- 録画や録画予約の操作をしたときに接続した機器が選択できないときは、[「機器の登録」](#) [▶](#)を参照し、登録してください。
- USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。ACアダプターを使用しない場合は動作保証できません。本機で接続確認済のUSBハードディスクについては、ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)をご覧ください。

※USBハードディスクの最大予約件数は128です。最大録画番組数は3000です。

USBハードディスクの自動削除機能について

- USBハードディスクの容量が足りない場合に、保護されていない日付の古い録画済番組から自動的に削除する機能で、お買い上げ時は「[自動削除設定](#)」が「削除しない」に設定されています。

ご注意

- USBハードディスクについて
USBハードディスクは精密機器であり、使用環境などによっては数年で故障する可能性があります。
本機に接続したUSBハードディスクを録画した内容の長期保存として使用しないでください。一時的な保存・再生機能としてご使用ください。

お知らせ

- USBハードディスクでの録画中に停電したり、電源プラグを抜いたりすると、途中まで録画した番組は正しく保存されません（「[録画番組を修復する](#)」の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります）。
- 予約録画の開始時に、自動削除機能によって削除される番組が多い場合は、番組の冒頭部分が録画されないことがあります。
- 録画番組の再生中に予約録画の開始時刻になると、再生が自動的に停止することがあります。
- 万一、本機の故障や受信障害などによって正常に録画・録音できなかった場合の補償は一切できませんので、あらかじめご了承ください。

USBハードディスクの設定をする

USBハードディスクの設定をする

- USBハードディスクを使用する場合は、必要に応じて以下の設定をします。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「外部機器設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む



- 2 設定する項目を▲・▼で選んで **決定** を押し、以降の手順で設定する

機器の登録

- リストに「未登録」と表示されているUSBハードディスクを登録したり、機器の登録名を変更したり、登録を解除したりすることができます。

※登録できるのは8台までです。

※USBハードディスクによっては、機器の登録画面でモデル名が正しく表示されないことがあります。

機器を登録するとき

※はじめて登録するときには、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

- 1 登録する機器を▲▼で選び、を押す
- 2 登録の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
- 3 初期化の確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
 - ・初期化と登録の処理が始まります。
- 4 終わったら、登録結果の内容を確認し、を押す

登録名を変更するとき

- 1 登録名を変更する機器を▲▼で選び、を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、を押す
- 3 文字入力画面で登録名を入力する
 - ・文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。

登録を解除するとき

- 1 登録を解除する機器を▲▼で選び、を押す
- 2 ◀▶で「はい」を選び、を押す
- 録画予約が設定されているUSBハードディスクの登録を解除するときは、再登録を促すメッセージ付の登録解除確認画面が表示されます。

省エネ設定

- 複数のUSBハードディスクに対して個別に設定を変えることはできません。
- ※ 「省エネモード」に設定した場合、USBハードディスクが動作するまでに時間がかかることがあります。「ハードディスクがありません。」や、録画可能時間が「--時間--分」と表示されるような場合は、少し待ってから操作してください。
- ※ USBハードディスクによっては、機器の表示ランプが「待機」と「入」の状態を正しく示さないことがあります。
- ※ USBハードディスクによっては、「オフ」に設定していても、USBハードディスク側の省エネ機能によって、待機状態になることがあります。
- ※ 本機の電源が「切」または「待機」のときでも、「自動スキャン」や「番組情報の取得」が内部で動作している場合には、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。
- ※ USBハブを使用している場合、本機の電源が「切」または「待機」のときでも、USBハブからの電源供給によって、USBハードディスクの電源が「入」になることがあります。

① ▲・▼で以下から選び、を押す

- **オン** .. USBハードディスクの電源は、使用しない状態がしばらく続くと待機状態になり、使う操作をすると自動的に「入」になります。
- **オフ** .. 本機の電源が「入」のとき、USBハードディスクの電源は常時「入」の状態です。

機器の取りはずし

- USBハードディスクの電源を切ったり、接続ケーブルを抜いたりするときには、その前にこの操作をします。
- ① 取りはずす機器を▲▼で選び、を押す
- ② 確認画面で、◀▶で「はい」を選んでを押す
 - ・ 停止の処理が始まり、終了すると「USBハードディスクを取りはずしできます。」のメッセージが表示されます。
- ③ USBハードディスクを取りはずし、を押す

動作テスト

- USBハードディスクで以下の動作ができるかテストします。
- ① テストする機器を▲▼で選び、を押す
 - テストが始まります。終了までに数分間かかります。
 - テストが終わると結果が表示されます。テスト結果が「OK」となった動作ができます。
 - ・ 録画
 - ハイビジョン画質で録画ができるか
 - ・ 録画中の再生
 - ハイビジョン画質で録画しながら番組再生ができるか
 - ・ 録画中の早見早聞
 - 録画中に[早見早聞](#)ができるか
- ※ テスト結果は目安です。結果どおりの動作にならないことがあります。

機器の初期化

- 正常に使用できなくなったUSBハードディスクは、初期化をすれば使用できるようになることがあります。

※ 初期化をすると、USBハードディスクに保存されている内容はすべて消去されます。

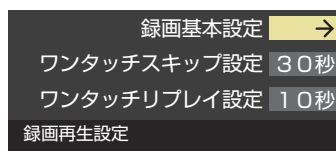
- ① 初期化する機器を▲・▼で選び、**決定**を押す
- ② 初期化の確認画面で、◀・▶で「はい」を選んで**決定**を押す
- ③ 初期化終了の画面で**決定**を押す

録画の基本的な設定をする

- USBハードディスクでの録画・再生に関する基本的な設定をすることができます。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「外部機器設定」⇒「録画再生設定」の順に進む

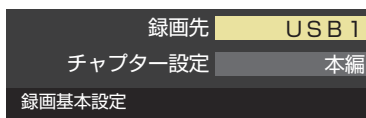
- 2 以降の手順で設定する



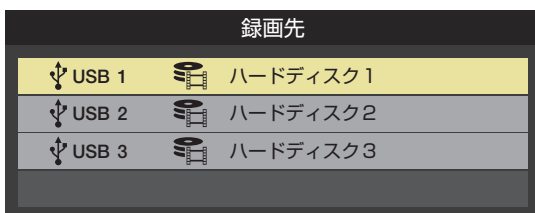
録画に使用する機器を設定する

- 複数のUSBハードディスクを本機に登録している場合に、録画に使用する機器を設定します。

- 1 ▲・▼と**決定** で「録画基本設定」⇒「録画先」の順に進む



- 2 録画に使用する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す



チャプター分割のしかたを設定する

- シーンの変わり目でチャプター分割(章分け)されるように設定できます(チャプター分割をすると、再生時にチャプタースキップができるようになります)。

① ▲・▼と(決定)で「録画基本設定」⇒「チャプター設定」の順に進む

② チャプター分割の場面を▲・▼で選び、(決定)を押す



- **本編** …………… 本編とCMの間でチャプター分割されます。
 - **音楽** …………… 楽曲の前後でチャプター分割されます。
 - **本編と音楽** …… 上記の両条件でチャプター分割されます。
 - **オフ** …………… チャプター分割をしません。
- ※ 音楽の検出は番組のメインジャンルが「音楽」または、メインジャンルが「バラエティ」でサブジャンルが「音楽バラエティ」のときにだけ行われます。

番組を録画する

● テレビ放送番組を録画するときは、以下の操作をします。

※ USBハードディスクに録画中はこの操作はできません。

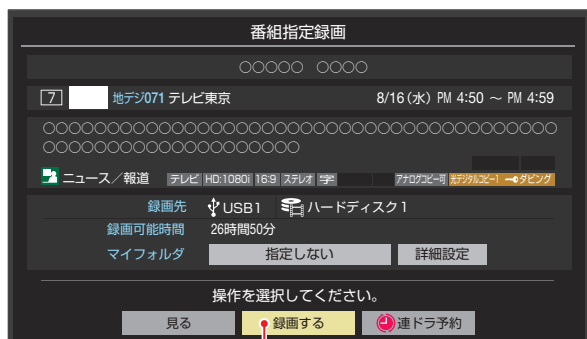
1 テレビ放送を見ているときに  を押す

- 番組表が表示されます。
- ミニ番組表からも録画できます。

2 録画する番組(放送中)を     で選んで、 を押す

- 番組指定録画面が表示されます。

3     で「録画する」を選び、 を押す



「録画する」を選びます。

- 現在の設定で録画が開始されます。
- 設定を変更して録画する場合は、以降の説明をご覧ください。
- 外出する場合は、本機(テレビ)の電源を「待機」または「切」にします。(録画は継続されます)
- ※ 予約録画が始まるときは、この操作での録画は中止されます。

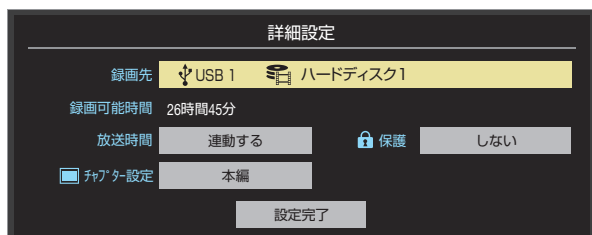
録画を中止するとき

- 録画を途中でやめるときは、以下の操作をします。録画予約での録画中の場合も同様です。
- USBハードディスクの残量がなくなった場合は録画が自動的に停止します。

- ① 録画中に  または  を押す
- ② 「録画中止」の画面で、  で「はい」を選んで  を押す

録画の設定を変更してから録画するとき

- ① 手順3で「録画する」を選んでから「詳細設定」を選び、 を押す



- 詳細設定画面が表示されます。

詳細設定画面でできる設定

- 録画先の機器の変更

- ① 「録画先」で録画機器を選び、 を押す
- ②   で「設定完了」を選び、 を押す

- 放送時間の変更

- ① 「放送時間」で「連動する」または「連動しない」を選び、 を押す
 - 連動する： 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画します。
 - 連動しない： 番組遅延の情報とは連動せずに、録画を開始するときに番組指定録画面に表示される番組終了時間まで録画します。
- ②   で「設定完了」を選び、 を押す

その他の録画設定を変更するとき

- [「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#) をご覧ください。

留守録機能について

- 本機は、録画予約を設定することで自動的に番組を録画できます。
 - ※ 録画中でも、地デジ・BS・CSが視聴可能です。

番組表で予約をする

- 番組表で録画したい番組を選んで予約します。

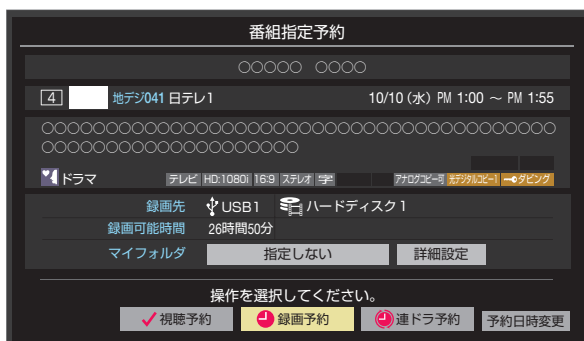
1 ^{番組表} を押して、番組表を表示させる

2 予約する番組を▲▼◀▶で選び、を押す

- 番組指定予約画面が表示されます。

3 以下の操作で予約をする

- 録画機器や設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。



1 ▲▼◀▶で「視聴予約」、「録画予約」、「連ドラ予約」のどれかを選び、を押す

- 視聴予約：指定した番組の視聴を予約します。
- 録画予約：指定した番組の録画を予約します。
- 連ドラ予約：同じ番組を毎回録画します。[»「連続ドラマを予約する」](#)

2 「予約を設定しました。」が表示されたら、を押す

予約する日時を変更する場合

- 再放送番組などで、1話から3話まで連続して放送される場合など、1話目を番組表で予約し、以下の操作で終了時間を3話目の終了時間に変更すると、1話から3話まで一つの録画予約にすることができます。
- ① ▲▼◀▶で「予約日時変更」を選び、(決定)を押す
- ② メッセージが表示されたら、◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す
- ③ 「[日時を指定して予約をする](#)」の手順3以降の操作をする

視聴予約について

- 視聴予約の時刻に電源が「待機」の場合、電源が「入」になります。

視聴制限番組について

- 手順3で視聴制限番組を選んで視聴予約をしたときは、「予約を設定しました。」が表示されます。視聴開始時間に視聴制限番組のメッセージが表示されます。
- 手順3で視聴制限番組を選んで録画予約または連ドラ予約をしたときは、メッセージが表示されます。◀▶を押して「はい」を選び、(決定)を押すと暗証番号入力画面が表示されます。**[1]**～**[10]**₍₀₎で暗証番号を入力すると、選んだ番組の視聴制限が一時解除されます。
「いいえ」を選んだときは、前の画面に戻ります。
- ※ 視聴制限番組について、詳しくは[「番組の視聴を制限する」](#)をご覧ください。
- ※ 番組表で視聴制限を一時解除するときは、[「番組表で視聴制限を一時解除する」](#)をご覧ください。

メッセージが表示された場合

「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」が表示された場合

- ① ◀▶で「はい」を選び、を押す
 - 新規予約をやめる場合は、「いいえ」を選びます。
- ② 予約を取り消す番組を▲▼で選び、を押す
 - を押すたびに☒と☐が交互に切り換わります。
 - をつけた番組の予約が取り消されます。
- ③ を押して、取り消しを実行する

「予約数がいっぱいです。」が表示された場合

- ① を押す
- ② [「予約の確認・変更・取り消しをする」](#) » の操作で予約を一つ以上取り消してから、再度予約をする

マルチ表示の番組表で予約するとき

- 一つの放送局で複数の番組を放送している場合、その番組を予約するには番組表を「[マルチ表示](#)」に切り換えます。
- マルチ表示の番組表で同じ番組が並んでいる場合は、どちらを選択しても予約できます。

地デジ番組表 8/10 (水) 11 (木)

チャンネル	011	012	2
放送局	NHK総合・東京	NHK総合・東京	NHK Eテレ
8/10 (水) AM 9	00 激知アワー カラオケキングとうとう1千万円で豪華な賞品獲得今日の朝刊早読みチェック	00 今日の散歩 今日の目標はゆっくり5km	00 うらデータ 55
AM 10	30 プライスクラッシュ 欲しかったあの話題... 欲しい健康家族 ござい	30 花壇のお手入れ 肥料をやりましょう 30 日本の経済 原油価格高騰に苦しむあの業...	

マルチチャンネル放送時の別番組は、「マルチ表示」にすれば予約できます

同じ番組の場合は、どちらを選択しても予約できます

選択したほうにつきます

こちらにはミニアイコンがつきます

お知らせ

- 放送局の変更があった場合、予約どおりに動作しないことがあります。
- 複数の番組が連続して予約されている場合、番組の最後の部分が録画されません。
- 予約をした時間帯は番組表に赤色の帯で表示されます。 [》「番組表を使う」](#)
- 予約の確認や取り消しについては「[予約の確認・変更・取り消しをする](#)」を、予約の優先順位については「[予約・録画の優先順位と予約の動作について](#)」をご覧ください。

連続ドラマを予約する

- 連続ドラマや連日放送されている同じ番組などを、毎回自動的に録画されるように予約することができます。

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 連ドラ予約をする番組を▲・▼・◀・▶で選び、(決定)を押す

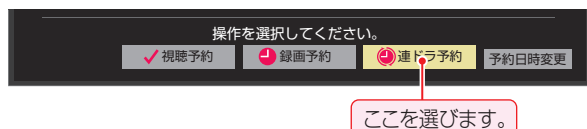
- 現在放送中の番組を選んだ場合は「番組指定録画」画面が、これから放送される番組を選んだ場合は、「番組指定予約」画面が表示されます。

3 番組の録画先をUSBハードディスクに設定する

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作で、「録画先」を設定します。

4 ▲・▼・◀・▶で「連ドラ予約」を選び、(決定)を押す

- 画面の図は、「番組指定予約」画面の場合の例です。



5 「連ドラ予約」画面で内容を確認する

- 番組名(連ドラ)や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認してください。

「連ドラ予約」がより正しく実行されるために

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の操作で「連ドラ設定」の画面を表示させ、「追跡キーワード」の確認・編集をすることをおすすめします。

6 ▲・▼・◀・▶で「はい」を選び、(決定)を押す

7 「予約を設定しました。」が表示されたら、を押す

視聴中の番組を連ドラ予約する場合

- ①  を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで  を押す
- ② 手順5～7の操作をする

録画中の番組を連ドラ予約する場合

- 録画実行中のため、次回から予約します。
- ①  を押し、▲・▼で「連ドラ予約」を選んで  を押す
- ② 手順5～7の操作をする

連ドラ予約の動作について

- 連ドラ予約は、追跡基準(指定した番組の放送曜日と開始時刻)と、追跡キーワード(番組名など)を基に、次回の番組を検索して自動的に録画予約をする機能です。
- ※ 追跡基準(開始時刻)の前後約2時間が検索されます。
- 追跡キーワードには連ドラ予約をした番組の番組名、追跡基準には番組の放送時間が自動で設定されます。

お知らせ

- 電源を「入」にしてからしばらくの間は連ドラ予約ができません。
- 連ドラ予約後に、番組情報が取得できなくなった場合や、追跡キーワードに該当する番組が検出できなかった場合は録画されません。
- 関などの囲い文字は[映]などと表示されます。また、漢字の旧字などの特殊な文字は表示されないことがあります
- 予約の確認や取り消しについては[「予約の確認・変更・取り消しをする」](#)》を、予約の優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)》をご覧ください。

日時を指定して予約をする／ 番組を検索して録画・予約をする

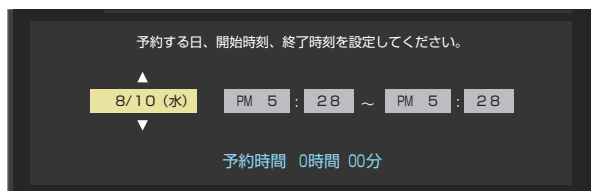
日時を指定して予約をする

1 サブメニュー を押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで 決定 を押す

2 青 を押す

● 日時指定予約画面が表示されます。

3 録画予約の日時を設定する



① 設定する項目を◀▶で選び、▲・▼で日時を設定する

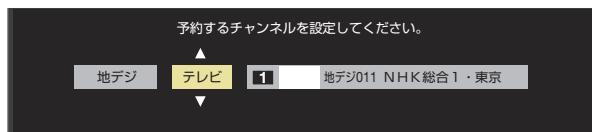
● 6週間先まで指定できます。

● 特定の日のほかに、「毎日」、「毎週(日)」～「毎週(土)」、「月～木」、「月～金」、「月～土」などの繰り返し録画も選べます。

● 設定できる時間は最大23時間59分です。

② 設定が終わったら、決定 を押す

4 録画するチャンネルを設定する



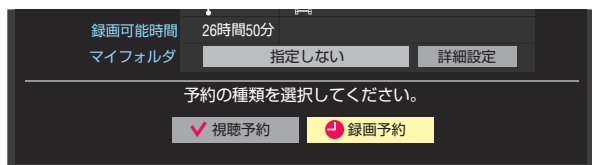
① 設定する項目を◀▶で選び、▲▼で内容を選ぶ

- ・放送の種類…… 地デジ / BS / CS
- ・放送メディア… テレビ / ラジオ (BS、110度CSのみ) / データ
- ・チャンネル…… 指定された放送の種類やメディアに該当するチャンネル

② 設定が終わったら、(決定)を押す

5 録画設定を変更する場合は「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」≫の手順で操作をする

6 ▲▼◀▶で「視聴予約」または「録画予約」を選び、(決定)を押す



7 「予約を設定しました。」が表示されたら、(決定)を押す

メッセージなどが表示された場合

- 「設定した時間帯はこれ以上予約ができません。」「予約数がいっぱいです。」のメッセージ表示された場合の操作については、[「メッセージが表示された場合」](#)≫をご覧ください。

お知らせ

- 日時指定予約では放送時間連動の設定はできません。
- 予約の確認や取り消しについては[「予約の確認・変更・取り消しをする」](#)≫を、予約の優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)≫をご覧ください。

番組を検索して録画・予約をする

1 番組表を押して、番組表を表示させる

2 緑 (番組検索) を押す

● 番組検索画面が表示されます。

3 「条件を絞りこんで番組を探す」≫の手順3～5の操作をして、録画・予約したい番組を検索する

4 「番組検索結果」画面から録画したい番組を▲▼で選び、決定を押す

番組名	放送中	放送番号	放送時間
NEWS	放送中	7	8/10(水) PM 4:50
首都圏のニュース	放送中	4	8/10(水) PM 4:50
Newsチャンネル	放送中	5	8/10(水) PM 4:50
今日のニュース	放送中	8	8/10(水) PM 4:50
夕方ニュース	放送中	3	8/10(水) PM 5:00
ニュース各地から	放送中	1	8/10(水) PM 5:05
報道1回	放送中	6	8/10(水) PM 5:50
ニュース(真の祭典)	放送中	1	8/10(水) PM 6:00
ニュース	放送中	4	8/10(水) PM 6:45

5 録画・予約をする

- 操作方法は、「番組表で予約をする」≫の手順3と同じです。
- 放送予定の番組を選んで予約をした場合には、「番組検索結果」の画面に戻ります。ほかの番組の予約を続けることができます。

録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき

1 録画・録画予約・連ドラ予約画面などで、「その他の録画設定」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

- 録画・録画予約の「マイフォルダ」の設定は、画面上の「マイフォルダ」を選んで変更します。

「マイフォルダ」を変更するとき

① 録画・録画予約画面で、「マイフォルダ」を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

② ▲・▼で設定したいフォルダグループを選び、を押す

2 設定する項目を▲・▼・◀・▶で選び、を押す

3 ▲・▼で内容を選び、を押す

4 ▲・▼・◀・▶で「設定完了」を選び、を押す

項 目

録画先*

- 録画をする機器を選びます。

マイフォルダ

- 番組の再生時に探しやすくするために、録画時にフォルダ分けします。再生のときに録画リストを「マイフォルダ別」の表示にすれば、保存した「マイフォルダ」の中から番組を探すことができます。「マイフォルダ」の名称は変更することができます。

チャプター設定

- 「本編」に設定すると、本編とCMの間でチャプター(章)が分割されます。
- 「音楽」に設定すると、楽曲の前後でチャプターが分割されます(メインジャンルが「音楽」またはメインジャンルが「バラエティ」でサブジャンル「音楽バラエティ」のときのみ)。
- 「本編と音楽」に設定すると、「本編」と「音楽」の両方の条件でチャプターが分割されます。
- チャプターの機能を使わないときは、「オフ」に設定します。
- 録画済の番組でチャプター編集をすることもできます。
- ※番組内容などによってはチャプター分割ができなかったり、分割位置がずれたりすることがあります。
- ※チャプター数の上限(100個)に達すると、それを超えるチャプターの作成はできなくなります。

保護

- 録画する番組を保護する(消さないようにする)かどうかを設定します。録画後に設定することもできます。 [»「誤って消さないように保護する」](#)

連ドラ

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラの名称を編集することができます(再生の際に「連ドラ別」の録画リストから番組を探しやすい名称などに編集します)。
- 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#)をご覧ください。
- 連ドラの名称(連ドラグループ名)はあとで変更することもできます。

追跡キーワード

- 文字入力画面が表示され、必要に応じて連ドラ予約の追跡キーワードを編集することができます(1回の放送に限られるようなキーワードは削除しておきます)。

項 目

追跡基準

- 必要に応じて、連ドラ予約をする番組の録画曜日と時間を設定することができます。

上書き録画

- 連ドラ予約の場合に上書き録画の設定をします。
上書き録画にすると前回の録画番組が削除されます。

放送時間

- 放送局から番組遅延の情報が送信されると、最大3時間までの遅れに連動して録画をする機能です(放送時間の繰り上げには対応できません)。
- ほかの予約と時間帯の一部が重なったときの優先順位については[「予約・録画の優先順位と予約の動作について」](#)をご覧ください。

予約の確認・変更・取り消しをする

- 予約の確認や取り消し、録画設定や連ドラ設定の変更をすることができます。

1 サブメニューを押し、▲・▼で「予約リスト」を選んで(決定)を押す

2 予約の確認や変更、取り消しをする番組を▲・▼で選び、(決定)を押す

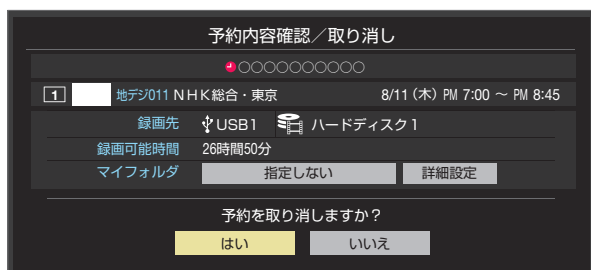


録画や予約状況、上書き保存などのアイコンが表示されます。

3 以下の操作をする

予約を取り消すとき

1 ◀▶ で「はい」を選び、(決定)を押す



録画設定を変更するとき

- 「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」の操作をします。

連ドラ予約を取り消すとき

- 1 ◀▶ で「はい」を選び、(決定)を押す

予約内容確認／取り消し

● 連ドラ ○○○○ ○○○○

追跡基準 毎 日 PM 1:00～PM 1:55

録画先 ♫ USB1 📀 ハードディスク1

録画可能時間 26時間50分

マイフォルダ 指定しない

○○○○ ○○○○	8/11(木) PM 1:00～PM 1:55
○○○○ ○○○○	8/12(金) PM 1:00～PM 1:55
○○○○ ○○○○	8/13(土) PM 1:00～PM 1:55
○○○○ ○○○○	8/14(日) PM 1:00～PM 1:55

予約を取り消しますか？

はい いいえ 詳細設定

※ 連ドラ予約を取り消すと、直近の録画予約番組(録画中を含む)から予約が取り消されます。

予約内容を変更する場合

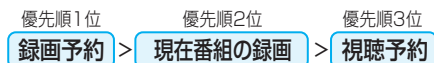
- 1 ▲▼◀▶ で「詳細設定」を選び、(決定)を押す
- 2 ▲▼ で設定を変更する項目を選び、(決定)を押す
- 設定画面に表示されている項目の内容については、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の表を参照してください。
- 3 ▲▼◀▶ で「設定完了」を選び、(決定)を押す

予約・録画の優先順位と予約の動作について

予約・録画の優先順位について

「録画予約」が最優先されます

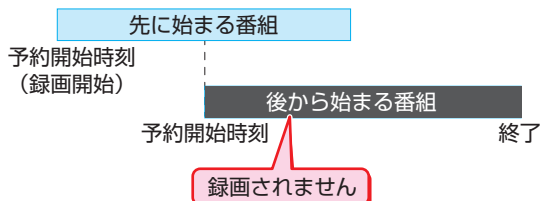
- 録画予約と他の録画や視聴予約などが重なった場合、録画予約が優先され、他の録画や視聴予約は中止または取り消しになります。



予約時間の一部が重なっているとき

- 予約録画が重なった場合後発の予約は実行されません

予約開始時刻の早い番組を優先



- 先に始まる番組の終了時刻と後から始まる番組の開始時刻が同じときは、先に始まる番組の終わりの約15秒が録画されません。

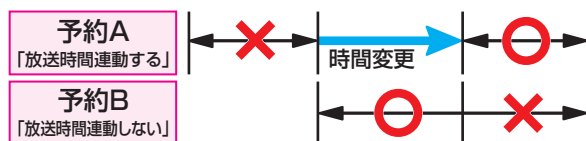
放送時間が変更されたとき

- 予約した番組の放送時間が変更されて、他の予約番組と重なったときは、以下の優先順位で録画されます。

「放送時間」を「連動する」に設定した予約番組と「連動しない」に設定した番組が重なった場合

- 「放送時間」を「連動する」に設定した番組が優先されます。

例 「放送時間」を「連動する」に設定していた予約Aが時間変更に対応したため、予約Aと重なった部分の予約Bは録画されません。

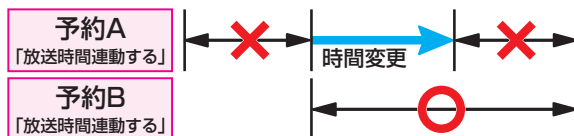


「放送時間」を「連動する」に設定した複数の予約番組が重なった場合

1 開始時刻が変更された場合

- 開始時刻の早い予約が優先されます。

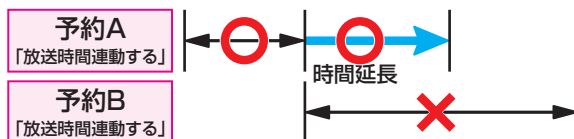
例 予約Aの変更後の開始時刻よりも、予約Bの開始時刻が早くなるので、予約Aは取り消されます。



2 放送時間が延長された場合

- 先に録画を開始した番組の時間延長が優先されます。

例 先に録画を開始し、放送時間延長に対応した予約Aが優先されます。開始時刻の遅い予約Bは取り消されます。



3 複数の予約番組の開始時刻が同じになった場合

- 最初に予約設定した番組が優先され、2番目以降に設定した番組の予約は取り消されます。

録画した番組を再生する

- USBハードディスクに録画した番組を見るには、以下の操作をします。

再生の基本操作とさまざまな再生のしかた

- 1 録画リストを押す

2 必要に応じて録画リストの表示を変える

- 分類タブとグループタブについては、下の図を参照してください。



- 1 10秒戻し・30秒送り で分類タブを切り換える

- **すべて**……………すべての録画番組が表示されます。
- **未視聴**……………未再生の録画番組が表示されます。
- **曜日別**……………録画した曜日ごとに表示されます。
- **ジャンル別**……ドラマや映画などのジャンルごとに表示されます。番組情報がない場合は、「その他」に分類されます。
- **連ドラ別**…………「連ドラ予約」の予約ごとに表示されます。
- **マイフォルダ別**…指定した「マイフォルダ」ごとに表示されます。

2 ◀▶でグループタブを切り換える

- 分類が「すべて」と「未視聴」の場合はグループタブはありません。
- 分類が「すべて」以外の場合は、分類タブとグループタブで選ばれた番組だけリストに表示されます。
- 分類が「未視聴」の状態で、録画リストを表示しなおした場合、分類は「すべて」の状態になります。

3 見たい番組を▲▼で選び、(決定)を押す

- 選んだ番組の再生が始まります。
- 前回、再生を途中で停止した番組を選んだ場合は、続きから再生されます(レジューム再生)。
- 番組を最後まで再生し終わると、そのまま静止状態になり、しばらくするとテレビ放送になります。
- 再生中にできるリモコン操作については、[「録画番組の再生中にできるリモコン操作」](#)をご覧ください。

4 番組再生を終了するには、または^{終了}を押す

- 放送画面などに戻ります。

番組の冒頭から再生するー 頭出し再生

- 1 再生する番組を選んでから、を押し、▲▼で「頭出し再生」を選んで(決定)を押す

録画中の番組を再生するー 追っかけ再生

- 1 録画中の番組を▲▼で選んで(決定)を押す

チャプターの一覧画面から再生する

- チャプターが分割されている録画番組でできます。

- 1 再生する番組を▲▼で選んで^緑を押す

- チャプター一覧画面が表示されます。

- 2 再生するチャプターを▲▼◀▶で選んで(決定)を押す

- 選択したチャプターの先頭から再生が始まります。

再生中にタイムサーチで再生位置を指定する

① **サブメニュー** を押し、▲・▼で「サーチ」を選んで**決定**を押す

● 画面右上に **サーチ-----** が表示されます。

② **1**～**10**⁽⁰⁾で時間を指定する

例 冒頭から1時間25分5秒後の位置を指定するとき

10⁽⁰⁾ **1** **2** **5** **10**⁽⁰⁾ **5** の順に押します。

お知らせ

- 番組冒頭部分の約2秒間を飛ばして再生が始まります(録画は番組開始時刻の約2秒前から開始されるようになっています)。

録画リストについて

- 録画開始直後の番組は、録画リストに表示されるまでに少し時間がかかります。
- 録画リストに表示できる最大数は3000件までです。これを超えた機器では正しく動作しないことがあります。
- 機器に記録されている情報によっては、選択中の録画番組の情報が正しく表示されないことがあります。

録画番組の再生中にできるリモコン操作

ボタン	内 容
	一時停止、早送り/早戻し再生から通常の再生に戻します。 - 再生中に繰り返し押すと、1.5倍の速さの音声付早送り再生「早見早聞」と通常の再生が交互に切り換わります。 - 放送番組の視聴中に押すと、USBハードディスクで前回再生した番組の続きから再生されます。
	再生中に押すと一時停止になり、もう一度押すと再生が再開されます。
	再生を終了し、放送画面などに戻ります。
	早送り再生をします(押すたびに速さが変わります)。 一時停止中に1秒ほど押し続けるとスロー再生になります。スロー再生中に押すと、押すたびにスロー再生の速さが変わります(3段階)。
	早戻し再生をします(押すたびに速さが変わります)。 一時停止中に1秒ほど押し続けると連続コマ戻し再生になります。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、30秒ほど先に進んで再生します(ワンタッチスキップ)。
	再生中または早見早聞での再生中に押すと、10秒ほど戻って再生します(ワンタッチリプレイ)。
	次のチャプターの先頭にスキップして再生します。 チャプターのない録画番組では録画日時が一つ次の番組を再生します。
	現在のチャプターの先頭にスキップして再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、一つ前のチャプターの先頭にスキップします。 チャプターのない録画番組では再生中の番組の先頭に戻って再生します。再生してから4秒以内に押した場合は、録画日時が一つ前の番組の先頭にスキップします。
	再生中に押すと、録画リストが表示されます。 放送番組視聴時などに押した場合も録画リストが表示されます。

- ※録画番組によっては、「早見早聞」が正しく動作しないことがあります。
- ※録画中の番組再生での早送り/早戻し再生などの特殊再生機能は、正しく動作しないことがあります。
- ※録画番組によっては、一時停止やワンタッチスキップなどの特殊再生操作をしたときに映像が表示されなくなることがあります。その場合は、で通常再生に戻してから再度特殊再生の操作をしてください。

ワンタッチスキップ／ワンタッチリプレイの時間を変更する

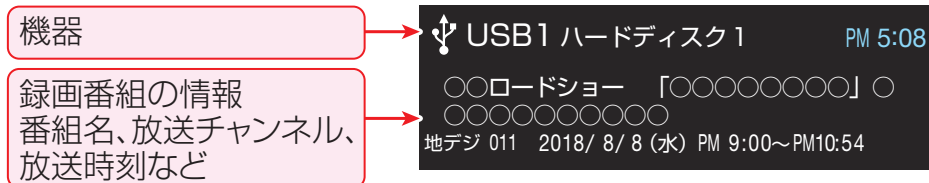
- ワンタッチスキップとワンタッチリプレイの時間を変更することができます。お買い上げ時の設定のように、飛ばす時間よりも戻す時間を短く設定しておく、飛ばしすぎて戻すときに便利です。
- ① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「外部機器設定」⇄「録画再生設定」の順に進む
- ② ▲・▼で「ワンタッチスキップ設定」または「ワンタッチリプレイ設定」を選び、**決定** を押す
- ③ ▲・▼で時間を選び、**決定** を押す

録画番組の情報や番組説明を見る

番組の情報を見る

① 再生中に **画面表示** を押す

- 再生中の番組の情報が表示されます。
- しばらくすると番組情報の表示は消えます。



再生タイムバー



② 表示を消すには、もう一度 **画面表示** を押す

番組説明を見る

① 録画リスト表示中または番組の再生中に **番組説明** を押すか、あるいは **サブメニュー** を押し、▲・▼で「番組説明」を選び **決定** を押す

- 番組説明画面が表示されます。

② 番組説明画面を消すには、**終了** を押す

- しばらく放置した場合にも消えます。

録画番組を修復する

- 録画中に停電したり、電源プラグを抜いてしまったりすると録画番組が正しく保存されず、そのままでは再生できません。このような場合、「録画番組の修復」をすると、録画された内容を再生できるようになることがあります。
- ① **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「外部機器設定」⇒「USBハードディスク設定」の順に進む
- ② ▲・▼で「録画番組の修復」を選び、**決定** を押す
- ③ 番組を修復する機器を▲・▼で選び、**決定** を押す
- ④ 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定** を押す
- 修復の処理が始まります。終わるまでそのままお待ちください。
- ⑤ 「録画番組の修復を行いました。」が表示されたら、**決定** を押す
- この操作には、30分程度かかることがあります。
- 録画番組を修復できなかった場合は、「録画番組の修復ができませんでした。」が表示されます。
- ※ 録画番組が修復できた場合でも、通常再生以外の再生機能は正しく動作しないことがあります。

見たい録画番組を探して再生する

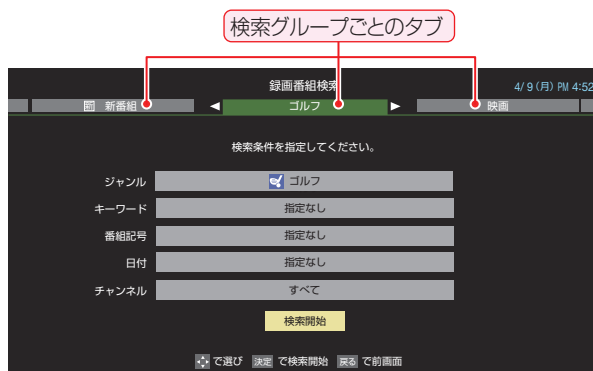
- USBハードディスクに録画した番組の中から、視聴したい番組を探することができます。
- ジャンル、キーワードなどの検索条件を指定して録画番組を検索します。
- 録画番組のグループ(タブ)ごとに検索条件を設定できます。
- ※ USBハードディスクへの録画中は検索できません。

1 録画リストの表示中に [サブメニュー] を押す

2 ▲・▼で「番組検索」を選び、[決定]を押す

- 録画番組検索画面が表示されます。

3 検索するグループのタブを◀・▶で選ぶ

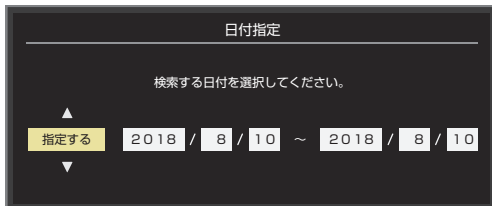


4 検索条件を指定する

- 「ジャンル」、「キーワード」、「番組記号」の指定方法は、[「条件を絞りこんで番組を探す」](#)の手順4と同じです。ほかの項目は以下の手順で指定します。

「日付」を指定するとき

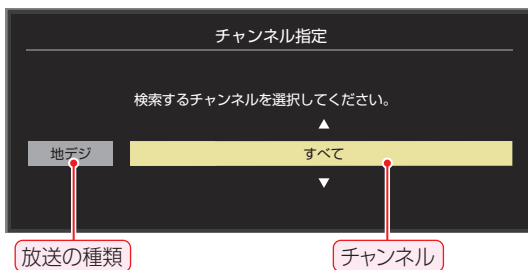
- 1 ▲・▼で「日付」を選び、**決定**を押す



- 2 ◀▶で左端の欄に移動し、▲・▼で「指定する」を選ぶ
- 3 ◀▶で欄を移動し、検索範囲の開始～終了の年、月、日を▲・▼で選ぶ
- 4 指定が終わったら、**決定**を押す

「チャンネル」を指定するとき

- 1 ▲・▼で「チャンネル」を選び、**決定**を押す
- 2 指定する項目を◀▶で選び、▲・▼で内容を選ぶ



- 放送の種類 すべて／BS／CS／地デジ
- チャンネル 指定した放送の種類に該当するチャンネル／すべて

- 3 指定が終わったら、**決定**を押す

5 ▲・▼・◀・▶で「検索開始」を選び、(決定)を押す

- 検索にはしばらく時間がかかることがあります。
- 検索が終わると、検索結果画面が表示されます。

6 見たい録画番組を▲・▼で選び、(決定)を押す



- 選んだ番組の再生が始まります。

録画リストのさまざまな機能を使う

- 録画リストの表示中に以下のさまざまな機能を使うことができます。

繰り返し再生の設定を変える

- 録画番組の繰り返し再生(リピート再生)を設定することができます。
- 設定した状態は本機に記憶されます。

1  を押し、▲・▼で「再生設定」を選んで  を押す

2 ▲・▼で以下から選び、 を押す

- **1コンテンツリピート**
選択した一つの番組の再生を繰り返します。
 - **リピート**
すべての番組の連続再生を繰り返します。
 - **オフ**
繰り返し再生をしません。
- リピート再生をしているときは、画面左上にリピート再生アイコンが表示されます(1コンテンツリピート: 、リピート: )。
 - 録画中の番組はリピート再生ができません。

番組を並べ替える

- 録画リストに表示される番組の並び順を変えることができます。
- 設定は機器ごとに記憶されます。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「並べ替え」を選んで **決定** を押す

2 ▲・▼で以下から選び、**決定** を押す

- 新しい順 …… 日付の新しい順に表示されます。
- 古い順 …… 日付の古い順に表示されます。

ほかの機器を選択する

- 再生する機器を変更するには以下の操作をします。

1 **青** を押す

- 機器選択画面が表示されます。
- ※ 機器が1台しか接続されていない場合は、メッセージが表示されます。

2 使用する機器を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

連ドラ予約をする

- 録画リストに表示されている番組を選んで、「連ドラ予約」をすることができます。

1 連ドラ予約にする番組を▲・▼で選び、**サブメニュー**を押す

2 ▲・▼で「連ドラ予約」を選び、**決定**を押す

3 「連ドラ予約」画面で内容を確認し、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

- 番組名や追跡基準の曜日などが正しく表示されているか確認します。
- 設定を変更する場合は、[「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)の操作をします。

機器の情報を確認する

- 使用中の機器の情報を確認します。

1 を押し、▲・▼で「機器の情報」を選んで を押す

- 機器の情報画面が表示されます。

2 情報画面を消すには、 を押す

ハードディスクの残量を確認する

- USBハードディスクの残量を画面で確認できます。
- ※ 残量表示や録画可能時間表示は、目安としてご利用ください。
- ※ USBハードディスクの残量は、BS・110度CSデジタルハイビジョン放送(24Mbps)の録画が可能な時間を基準に算出しています。地上デジタルハイビジョン放送(約17Mbps)の録画番組などを削除した場合、残量の増加分は削除した番組の時間よりも少なくなります。

1 を押し、▲・▼で「ハードディスク残量表示」を選んで を押す

- 残量表示画面が表示されます。

2 残量表示画面を消すには、 を押す

不要な録画番組を消す／ 誤って消さないように保護する

- 見終わった録画番組などを消したり、消さないように保護したりする場合は、録画リストの表示中に以下の操作をします。

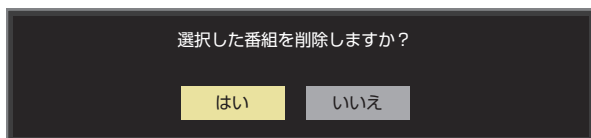
一つの録画番組を消す

1 消す番組を▲・▼で選び、^赤 (削除)を押す

- 保護されている録画番組を消す場合は、保護を解除してから^赤を押してください。 [≫「誤って消さないように保護する」](#)

2 ▲・▼で「1件削除」を選び、(決定)を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す



4 削除が終了したら、(決定)を押す

複数の録画番組を消す

- 1 消す番組のどれかを▲・▼で選び、 (削除)を押す
- 2 ▲・▼で「複数削除」を選び、 を押す
- 3 消す番組を▲・▼で選び、 を押す
 -  を押すたびに、 と が交互に切り換わります。削除する番組に をつけます。
 - 保護された番組を消す場合は、その番組を選び、 を押して保護を解除してから を押します。



- 4** 選択が終わったら  (削除実行)を押す
-
- 5** 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで  を押す
-
- 6** 削除が終了したら、 を押す

グループ内の録画番組をすべて消す

1 まとめて消すグループの録画リストを表示させる

- [「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」](#)の[手順2](#)をご覧ください。

2 (削除) を押し、▲・▼で「グループ内全削除」を選び、 を押す

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで を押す

4 削除が終了したら、 を押す

自動的に消す(自動削除設定)

- お買い上げ時は、USBハードディスクの容量が足りなくなったときに、保護されていない古い録画番組が自動的に削除されるように設定されています。削除されないようにする場合は「削除しない」に設定してください。

1 を押し、▲・▼で「自動削除設定」を選んで を押す

2 ▲・▼で「削除する」または「削除しない」を選び、 を押す

誤って消さないように保護する

- 自動削除機能で削除されたり、誤って消してしまったりしないように、録画番組を保護することができます。

※録画中にこの操作はできません。

1 保護する番組を▲・▼で選び、を押す

2 ▲・▼で「保護」を選び、を押す

- 選択した番組が保護されます(がつきます)。
- 保護されている番組を選択してサブメニューを表示させると、「保護解除」ができます。

チャプター編集をする

録画済番組の再生中に編集する

- 録画済番組の再生中にチャプターの分割と結合ができます。

1 録画リストを表示させる(>>「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

2 チャプター編集をする録画済番組を▲・▼で選び、(決定)を押す

3 各種の再生操作をして、チャプター分割をしたい場面で 静止 を押す

- 画面右下に操作ガイドと再生タイムバーが表示されます。



- ・を長押しすると、連続コマ戻しやスロー再生ができます。連続コマ戻しやスロー再生中に  を押すと、簡単に分割したい場面を選ぶことができます。

4 または でチャプター編集をする

-  を押すと、一時停止した場面でチャプターが分割されます。
-  を押すと、一時停止したチャプターとその前のチャプターが結合されます。
- 必要に応じて、手順3と4を繰り返します。

グループ名を変更する

- 「マイフォルダ別」の録画リストで表示されるグループのタブ名を変更することができます。
- 「連ドラ別」の場合にも同様の操作ができます。その場合は、グループ名を変更すると予約リストの予約番組名も同じ名前に変更されます。
- ハードディスクが複数接続されている場合、機器ごとにグループ名を変更することはできません。
- 番組の録画中にこの操作をすることはできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

- 連ドラグループ名を変更する場合は、「連ドラ別」の録画リストを表示させます。

2 名前を変更するグループのタブを◀▶で選ぶ

例 「わたし」のグループを選択



3 [サブメニュー] を押し、▲・▼と(決定)で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダ名の変更」の順に進む

- 「連ドラ別」のグループ名を変更する場合は、「編集・管理」⇒「連ドラグループ名の変更」の順に進みます。

4 文字入力画面でグループ名を入力する

- お好みの分類名にすることができます。
- 文字入力の方法は、「[文字を入力する](#)」をご覧ください。
- 全角文字で10文字まで入力できます。
- 文字入力の操作が終わると、録画リストのグループタブ名が変更されます。

例 「 わたし」⇒「 まさみのお気に入り」に変更



ほかのグループに移動する

- 録画番組をほかのグループに移動することができます。
たとえば、録画時の設定で「わたし」に分類した番組を、録画後に「お気に入り2」に移すことができます。

※ USBハードディスクでの録画中は、この操作はできません。

1 「マイフォルダ別」の録画リストを表示させる(≫[「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2](#))

2 移動する番組が保存されているグループのタブを◀▶で選ぶ

3 移動する番組を▲▼で選ぶ

4  を押し、▲▼と  で「編集・管理」⇒「マイフォルダ管理」⇒「マイフォルダの変更」の順に進む

5 ▲▼で以下から選び、 を押す

- 1件変更
選択中の番組を別のグループに移動します。
- 複数変更
複数の番組を選択して、まとめて別のグループに移動します。
- グループ内全変更
選択中のグループの全番組を別のグループに移動します。

6 移動先のグループを▲・▼で選び、(決定)を押す

- グループアイコンとグループ一覧(お買い上げ時の設定)

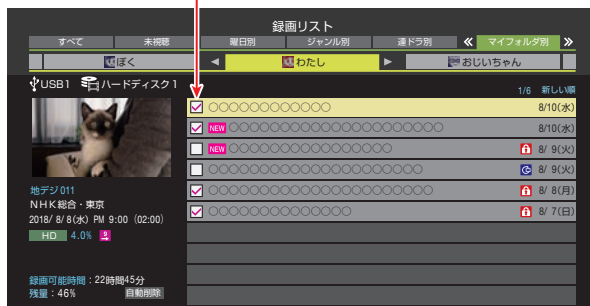
	みんな		お気に入り1
	おとうさん		お気に入り2
	おかあさん		お気に入り3
	ぼく		お気に入り4
	わたし		お気に入り5
	おじいちゃん		お気に入り6
	おばあちゃん		指定しない

7 「複数変更」の場合は以下の操作をする

- ① 移動する番組を▲・▼で選び、(決定)を押す

- (決定)を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わります。移動する番組に☒をつけます。
- 保護されている番組は移動できません。

移動する番組に☒をつけます



- ② 移動する番組をすべて選んだら  を押す

8 確認画面で、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

録画番組をムーブ(移動)する

- 本機でUSBハードディスクに録画した番組を他のUSBハードディスクにムーブ(移動)することができます。
- ※ USBハードディスクへの録画中はムーブできません。
- ※ ムーブ中に機器の接続を変更したり、電源プラグをコンセントから抜いたりしないでください。
- ※ ムーブ中は再生できません。

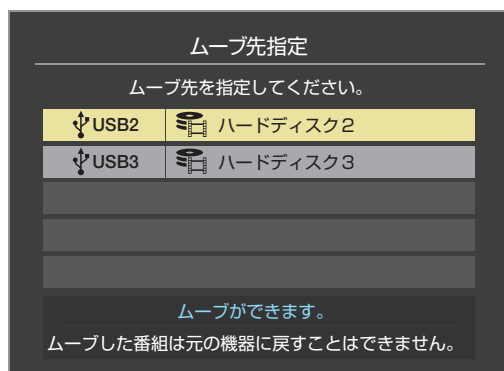
1 録画リストを表示させる(≫「再生の基本操作とさまざまな再生のしかた」1～2)

2 ムーブする番組を▲・▼で選び、を押す

3 ▲・▼で「1件ムーブ」または「複数ムーブ」を選び、を押す

4 ムーブ先を▲・▼で選び、を押す

- ムーブ先に指定できる機器が1台の場合、この手順はありません。



5 「複数ムーブ」の場合は以下の操作をする

① ムーブする番組を▲・▼で選び、(決定)を押す

- (決定)を押すたびに、☒と☐が交互に切り換わり、☒をつけた番組がダビングされます。
- 保護された番組をムーブする場合は、その番組を選び、青 を押して保護を解除してから(決定)を押します。

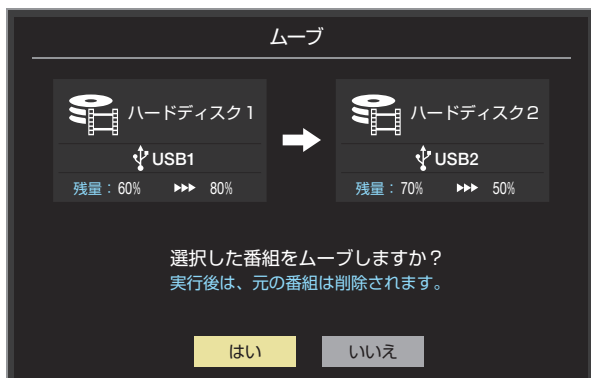
☒をつけた番組がムーブされます は で解除してから



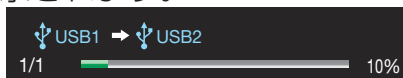
② ムーブする番組をすべて選んだら を押す

- 一度にムーブできるのは16番組までです。

6 「ムーブ」画面で、◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す



- ムーブが始まってしばらくすると、画面の右下に進行状況が表示されます。



ムーブを中止するとき

- ムーブを途中でやめるときは、以下の操作をします。
 - ① ムーブ中に^{終了}○または■を押す
 - ② 「ムーブ中止」の画面で◀▶で「はい」を選んで(決定)を押す

外部入力画面に切り換える

- 本機の外部入力端子(HDMI入力1～2、ビデオ入力)に接続したビデオやDVD・ブルーレイディスクプレーヤー/レコーダーなどの再生番組を見たり、ゲーム機を接続して楽しんだりする場合は、以下の操作をします。
- 機器の接続や設定については、製品同梱の取扱説明書の「外部機器を接続する」**[16]**をご覧ください。

1 使用する機器の電源を入れる

2 **[入力切換]**を押す

- **[入力切換]**を押すと次の入力を選択された状態で画面左上に入力一覧画面が表示され、少し待つとその入力に切り換わります。希望の入力を選ぶには、入力が切り換わる前に次の手順**3**の操作をします。
 - ・ **[外部入力スキップ設定]**が「する」になっている入力は薄くなって表示され、入力切換時にスキップされるようになっています。

3 **[入力切換]**を繰り返し押すか、または▲・▼を押して入力を選ぶ

- **[入力切換]**を押すたびに以下のように切り換わります。



- ・ ▲・▼では順方向・逆方向の選択ができます。
- 少し待つと選択した入力に切り換わります。

HDMI連動機器を選ぶとき

- HDMI連動対応のオーディオ機器などにHDMI連動機器が接続されている場合は、機器の一覧が表示されます。使用する機器を以下の手順で選択できます。

入力切換 または ▲・▼ で選ぶ

▲・▼ で選んで (決定) を押す



4 選択した機器を操作する

- 機器のリモコンで再生などの操作をしてください。

HDMI連動機器を選んだとき

- サブメニューの「機器操作」を選んで、機器操作メニューを表示させます。

① サブメニューを押す

② ▲・▼で「機器操作」を選び、(決定)を押す

- 機器操作メニューが表示されます。機器操作メニューや本機のリモコンで操作できる機能については、[「本機のリモコンで対応機器を操作する」](#)をご覧ください。
- ゲーム機を接続した入力では、「映像モード」を「ゲーム」にしてください。

ゲームのレスポンスを重視した、ゲームに適した画質設定になります。

お知らせ

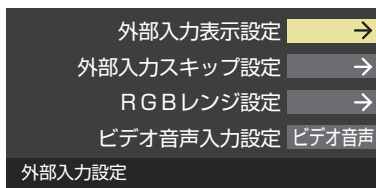
- 入力切換時に画面に表示される「ブルーレイ」などの機器名を変えることができます。[「外部入力表示設定」](#)をご覧ください。

外部入力機能を設定する

- 外部入力のさまざまな機能を設定することができます。必要に応じて設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「機能設定」⇒「外部入力設定」の順に進む

2 以降の手順で設定する



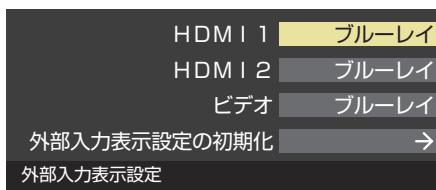
入力切替時に画面に表示される機器名を設定する

- 入力切替をしたときに表示される機器の名称(ブルーレイ、DVDなど)を変更することができます。

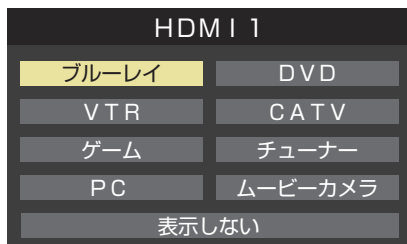
1 ▲・▼で「外部入力表示設定」を選び、**決定**を押し

2 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押し

- 「外部入力表示設定の初期化」を選択すると、お買い上げ時の設定に戻すことができます。



3 表示させる機器名を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押し



使用しない外部入力をスキップする

- 入力切換をするときに、使っていない入力を自動でスキップする(飛び越す)ことができます。

① ▲・▼で「外部入力スキップ設定」を選び、**決定**を押す

② 設定する外部入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

外部入力スキップ設定	
外部入力	スキップ
HDMI 1	しない
HDMI 2	しない
ビデオ	しない

- **決定**を押すたびに「スキップ」が「する」、「しない」に交互に切り換わります。

- ・ **する** …… 入力切換時に入力をスキップします。
- ・ **しない** …… 入力切換時にスキップしません。

HDMI入力のRGBレンジを設定する

- 本機がRGBレンジを自動識別できない機器を接続している場合は、機器の仕様に合わせて設定します。

① ▲・▼で「RGBレンジ設定」を選び、**決定**を押す

② 設定するHDMI入力を▲・▼で選び、**決定**を押す

HDMI 1	オート
HDMI 2	オート
RGBレンジ設定	

③ ▲・▼で以下の設定から選び、**決定**を押す

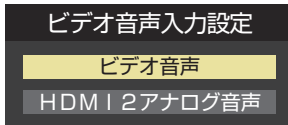
- ・ **オート** …… 自動切換になります。
- ・ **フルレンジ** …… RGBレンジが0～255の機器の場合に選びます。
- ・ **リミテッドレンジ** …… RGBレンジが16～235の機器の場合に選びます。

ビデオ入力の音声入力を設定する

- HDMI入力2端子に接続した機器からの音声を本機から出したときに、ビデオ入力の音声入力端子をHDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用するように設定できます。

① ▲・▼で「ビデオ音声入力設定」を選び、(決定)を押す

② ▲・▼で以下の設定から選び、(決定)を押す



- **ビデオ音声**
ビデオ入力の音声入力端子として使用します(お買い上げ時の設定)。
- **HDMI2アナログ音声**
HDMI入力2のアナログ音声入力端子として使用します。

本機のリモコンでHDMI連動機器を操作するための設定をする

- 本機のリモコンでHDMI連動機器の基本操作をしたり、各種の連動動作をさせたりするための設定をします。
- お買い上げ時、本機はHDMI連動機能を使用するように設定されています。接続機器側の設定も必要です。ご確認ください。

1 「設定」を押し、▲・▼と(決定)で「外部機器設定」⇒「HDMI連動設定」の順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選び、(決定)を押す

HDMI 連動機能	使用する
リモコン動作モード	テレビ優先
連動機器→テレビ入力切換	連動する
連動機器→テレビ電源	連動する
テレビ→連動機器電源オフ	連動する
サウンドシステム連動	使用する
優先スピーカー	テレビスピーカー
HDMI 連動設定	

3 設定したい項目を▲・▼で選び、(決定)を押す

HDMI連動機能

- 本機のリモコンでのHDMI連動機器操作、東芝レコーダーの録画・予約、および以下の各種連動機能を使用するかどうかを設定します。

リモコン動作モード

- 本機からの操作に対応したHDMI連動対応機器を接続している場合、「連動機器優先」に設定すると、本機のリモコンで操作できる機能が増えます。

連動機器→テレビ入力切換

- 連動機器の再生操作をしたときに、本機が自動的に入力切換をして、その機器を選択する機能です。本機の電源が「入」の場合に動作します。

連動機器→テレビ電源

- 連動機器の再生操作をしたときに本機の電源が「入」になり、連動機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」になる機能です。
- ※ この機能と、「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しておく、と、本機の電源が「入」になったあとに自動的に入力が切り換わります。
- ※ 本体の電源ボタンで電源を切った場合、この機能は働きません。リモコンの電源ボタンで電源を「待機」にしてください。

テレビ→連動機器電源オフ

- 本機の電源を「待機」にしたときに、連動機器の電源も「待機」になる機能です(録画中の機器など、動作状態によっては「待機」にならないことがあります)。
- ※ 本機の「[省エネ設定](#)」や「[オフタイマー](#)」とも連動します。

サウンドシステム連動

- 「使用する」に設定すると、HDMI連動対応のオーディオ機器とそのスピーカーを接続している場合、本機のリモコンで以下のことができます。
 - 音声をテレビから出すか、オーディオ機器のスピーカーから出すかの切換
 - オーディオ機器の音量調節や消音

優先スピーカー

- 「サウンドシステム連動」を「使用する」に設定した場合に、優先するスピーカーを選択します。
 - **テレビスピーカー**
本機のスピーカーから音声が出ます。
 - **サウンドシステム**
オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。
- サブメニューでスピーカーを一時的に切り換えることもできます。
[≫「オーディオ機器\(サウンドシステム\)で聴く」](#)
- ※ 本機のヘッドホン端子は、本機のスピーカーから音声が出る条件のときに使用できます。

お知らせ

- 連動機器の機能、設定によっては、HDMI連動設定をしても、一部もしくはすべての機能が働かない場合があります。
- 本機が認識できるHDMI連動対応機器の台数は、HDMI CEC規格に従って、オーディオ機器：1台、録画機器(レグザリンク対応レコーダーなど)：3台、再生機器(東芝のプレーヤー/PCなど)：3台、チューナー：4台までに制限されます。
- 「連動機器→テレビ入力切換」を「連動する」に設定しても、本機の状態によっては自動的に入力が切り換わらないことがあります。
- HDMI連動対応機器については、メーカーのホームページをご覧ください。
- ※ 本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

システムスタンバイについて

- 省エネ設定の機能などで本機が待機状態になったときも同時に機器側の電源が「待機」になります。
- 接続機器側がシステムスタンバイに対応している場合、接続機器の電源を「待機」にしたときに本機の電源も「待機」にすることができます。

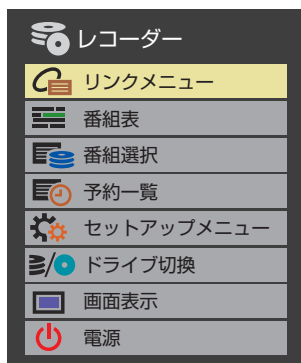
本機のリモコンで対応機器を操作する

機器を操作する

- **入力切換**の操作でレグザリンク(HDMI連動)対応機器が接続された入力(HDMI1～2)を選んだあと、「サブメニュー」の「機器操作」を選ぶと、操作メニューが表示されます。

① **サブメニュー**を押し、▲・▼で「機器操作」を選んで**決定**を押す

例



- 本機のリモコンで、HDMI連動対応の録画機器や再生機器などの基本操作をすることができます。
- 機器操作メニューにある機能を本機のリモコンで直接操作できる場合があります。操作については、[「本機のリモコンでできるおもな操作」](#)をご覧ください。
- 機器を操作すると機器操作メニューが消えます。(機器操作メニューを再表示させるには、手順①の操作をします)
- すべての製品でメニューに表示されたすべての機能の操作ができることを保証するものではありません。

本機のリモコンでできるおもな操作

- HDMI連動機器を接続した場合、本機のリモコンで以下の操作をすることができます。
- ※ 以下は代表的な動作です。操作する機器によっては、動作が異なる場合があります。



本機のリモコンボタン	動作の内容
	番組を再生します。
	再生中に押すと一時停止になります。もう一度押すと、再生が再開されます。
	録画や再生を停止します。
	一つ先に進んで頭出し再生をします。
	前に戻って頭出し再生をします。
	再生中に押すと早送り再生になります。
	再生中に押すと早戻し再生になります。
	メニューなどで項目を選択します。
	選択した内容を決定したり、選択した操作を実行したりします。
	一つ前の操作に戻ります。
	操作を終了します。
	各機器でカラーボタンに割り当てられた機能进行操作します。
	オーディオ機器の音量を調節します。
	オーディオ機器の音を消します。

オーディオ機器(サウンドシステム)で聴く

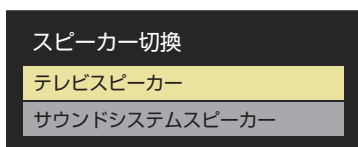
オーディオ機器のスピーカーで聴く

- オーディオ機器に接続されているスピーカーで聴いたり、本機のリモコンでオーディオ機器の音量を調節したりすることができます。
- 本機とオーディオ機器をHDMI ケーブルおよび光デジタルケーブルで接続します。ARC対応のオーディオ機器はARC対応のHDMIケーブルでHDMI入力1 (ARC)端子に接続してください。
- 光デジタルケーブルの代わりに音声用コードで接続することもできます。その場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」の[\[外部スピーカー出力設定\]](#)を「固定」に設定します。
- HDMI連動(レグザリンク)に非対応のオーディオ機器の場合、本機のスピーカーから音声を出さないときは、以下の操作をするか、または本機の音量を最小に調節してください。

1 **サブメニュー** を押し、▲・▼で「スピーカー切換」を選んで**決定**を押す

2 ▲・▼で「サウンドシステムスピーカー」を選び、**決定**を押す

- 以下の場合に「サウンドシステムスピーカー」が表示されます。
 - 本機と音声連携が可能なオーディオ機器がHDMIケーブルで接続されていて、動作状態になっている(オーディオ機器のスピーカーから音声が出るようになっている)。
 - **「HDMI連動設定」**が以下のように設定されている。
 - HDMI連動機能.....使用する
 - サウンドシステム連動使用する
- 本機のスピーカーで聴くときは、「テレビスピーカー」を選びます。



3 音量を調節する

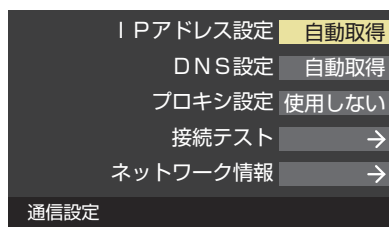
- HDMI連動対応のオーディオ機器では、本機のリモコンで音量調節と消音の操作ができます。
- ※ HDMI連動非対応のオーディオ機器を音声用コードで接続している場合は、「ヘッドホン／音声出力設定」の**「外部スピーカー出力設定」**に従った方法で音量を調節してください。
 - **固定**.....オーディオ機器で音量を調節します。
 - **可変**.....本機のリモコンで音量を調節します。

インターネットに接続するための設定をする

- お買い上げ時の設定でインターネットが利用できない場合やネットワークの設定をやり直す場合などに、必要に応じて設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「初期設定」⇒「通信設定」の順にの順に進む

2 設定する項目を▲・▼で選んで、**決定** を押す



3 以降の手順で設定する

IPアドレス設定

- インターネットに接続するために、本機に割り当てられる固有の番号を設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNS設定」の「DNSアドレス自動取得」は、自動的に「しない」に設定されます。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

① IPアドレスを自動取得できる場合は、◀▶で「する」を選ぶ

IPアドレス設定

IPアドレスを設定してください。

IPアドレス自動取得 ◀ **する**

IPアドレス

サブネットマスク

デフォルトゲートウェイ

自動取得できないネットワーク環境の場合

① ◀▶で「しない」を選ぶ

② ▲▼で「IPアドレス」を選び、**1**～**10**(0)で入力する

③ ▲▼で「サブネットマスク」を選び、**1**～**10**(0)で入力する

④ ▲▼で「デフォルトゲートウェイ」を選び、**1**～**10**(0)で入力する

- ②～④では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所入力の欄に入力します。
- 欄を移動するには、▶を押します。

② (決定)を押す

DNS設定

- ドメイン名をIPアドレスに置き換える機能を持ち、IPアドレスで特定されているDNSサーバーを設定します。

※「IPアドレス自動取得」を「しない」に設定した場合は、「DNSアドレス自動取得」は自動的に「しない」に設定され、「する」にはできません。その場合は、DNSアドレスを手動で設定します。

- ① DNSアドレスを自動取得できる場合は、◀▶で「する」を選ぶ

自動取得できないネットワーク環境の場合

- ① ◀▶で「しない」を選ぶ

- ② ▲▼で「DNSアドレス(プライマリ)」を選び、**1**～**10**
(0)で入力する

- ③ ▲▼で「DNSアドレス(セカンダリ)」を選び、**1**～**10**
(0)で入力する

- ②と③では0～255の範囲の数字(左端の欄は0以外)を4箇所の欄に入力します。
- 欄を移動するには、▶を押します。

- ② を押す

プロキシ設定

- インターネットとの接続時にプロキシ(代理)サーバーを経由する場合に設定します。
 - ご契約のプロバイダーから指定がある場合にだけ設定します。
 - ここでのプロキシ設定はHTTPに関するものです。
- ① ▲▼で「使用する」を選び、を押す
 - ② ▲▼で「サーバー名」を選び、を押す
 - ③ サーバー名を入力する
 - ・ 文字入力の方法は、[「文字を入力する」](#) » をご覧ください。
 - ・ 入力できる文字は半角英字／半角数字で、記号は半角の !"#%&()*+,-.:;<=>@[¥]^_`~?/_/です。
 - ④ ▲▼で「ポート番号」を選び、**1**～**10**₍₀₎でポート番号を入力する
 - ⑤ ▲▼で「設定完了」を選び、を押す

接続テスト

- 「ネットワーク設定」が正しいかテストします。テストが終わると「接続テスト結果」画面が表示されます。「インターネットに接続できました。」と表示された場合は、「終了」を押します。
- 正しく接続できなかった場合は、「再テスト」を選んで^(決定)を押します。再度接続テストを行い、接続テスト結果画面が表示されます。再テストを行っても接続できない場合は、「設定をやりなおす」を選んで^(決定)を押し、設定をやり直してください。

通信設定の接続テスト結果について

- 接続テストの結果、正しく通信できなかった場合は、以下を確認します。
 - ① LAN端子の接続状態と「ネットワーク設定」を確認する
 - ・ 正しく接続・設定されているかご確認ください。設定内容については、ルーターの設定内容に關係することがありますのでご注意ください(ルーターの設定については、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。
 - ② ネットワーク環境の接続確認
 - ・ 以下の手順で本機と同一ネットワーク上に接続されたパソコンからインターネットに接続できるか確認します。
 - ① パソコンのインターネット・ブラウザ(Internet Explorer など)を起動する
 - ② URL欄に「www.regza.com/」を入力し、ページが表示されることを確認する
 - ・ ページが正しく表示されない場合は、接続されているパソコンやルーターの設定が正しいか確認します(詳しくは、パソコン、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。
この場合、本機の問題ではない可能性があります。

ネットワーク情報

- 現在利用しているネットワーク情報が表示されます。

例

ネットワーク情報	
接続タイプ	有線
I Pアドレス設定	自動取得
I Pアドレス	X X X . X X X . X X X . X X X
サブネットマスク	X X X . X X X . X X X . X X X
デフォルトゲートウェイ	X X X . X X X . X X X . X X X
DNS設定	自動取得
DNSアドレス(プライマリ)	X X X . X X X . X X X . X X X
DNSアドレス(セカンダリ)	X X X . X X X . X X X . X X X
プロキシ設定	使用しない
サーバ名	
ポート番号	
有線MACアドレス	X X - X X - X X - X X - X X - X X

ネットワークに関するお知らせ・用語

お知らせ

■ IPアドレス設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能(IPアドレスを自動的に割り当てる機能)がONのときは、「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。
(通常は、「する」に設定します。「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- ルーターのDHCP機能がOFFのときは、「自動取得」を「しない」にして、手動で設定します。
- 手動で設定する際は、他の接続機器とIPアドレスが重複しないように設定します。設定する固定IPアドレスはプライベートアドレスでなければなりません。
- 設定終了後、本機に設定されたIPアドレスとルーターのローカル側に設定されたIPアドレスのネットワークID部分がそれぞれ同じであることを確認します(詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください)。

■ DNS設定について

- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がONのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「する」「しない」のどちらでも設定できます。(通常は、「する」に設定します。
「しない」に設定した場合は手動での設定が必要です)
- 本機に接続されたルーターのDHCP機能がOFFのときは、DNSアドレスの「自動取得」を「しない」にして、プロバイダーから指定されたものを手動で設定します(プロバイダーによって設定方法が異なります。プロバイダーとの契約内容に沿った設定をしてください)。

■ PPPoE設定について

- 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

用語

■ IPアドレス

ネットワークに接続する場合に、端末に割り当てられる固有の番号です。形式は、最大3ケタの数字4組を点で区切った形になっています(例: 111.112.xxx.xxx)。

■ DNSサーバー

ドメイン名(www.co.jpなど)をIPアドレスに置き換える機能を持つサーバーで、本機では自動的に取得されます。自動で取得できない場合は、手動で、プロバイダーからの資料で指定されたDNSアドレスを「プライマリ」に入力します。二つある場合は、もう一方を「セカンダリ」に入力します(例: 111.112.xxx.xxx)。ご契約のプロバイダーによっては、「ネームサーバー」、「DNS1/DNS2サーバー」、「ドメインサーバー」などと呼ばれることがあります。

■ サブネットマスク

ネットワークを区切るために、端末に割り当てられるIPアドレスの範囲を限定するためのものです(例: 255.255.xxx.xxx)。

■ デフォルトゲートウェイ

ネットワーク外のサーバーにアクセスする際に、使用するルーターなどの機器を指定するためのものです。IPアドレスで特定されています。

■ プロキシ

ご契約のプロバイダーから指定があるときだけ設定してください(例: proxy.xxx.xxx.xxx)。

この設定をすると、HTTPプロキシサーバーからファイアウォール(外部からの不正侵入防護壁)を越えて通信先のサーバーにデータを送ることができます。

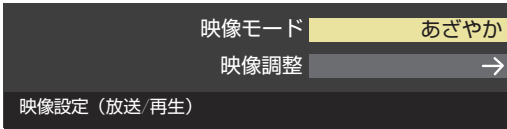
■ MACアドレス

ネットワーク上に接続されている機器の識別のために、機器ごとに割り当てられる固有の番号です。

お好みの映像モードを選ぶ

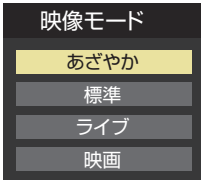
- 見る映像の種類に応じて、お好みの映像モードを選ぶことができます。
- 映像モードは、放送/再生の映像や各入力端子などでそれぞれ記憶させることができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「映像設定」⇒「映像モード」の順に進む



2 お好みの映像モードを▲・▼で選び、**決定**を押す

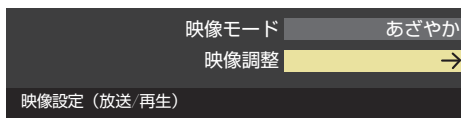
- 選択できる映像モードは、視聴している映像の種類によって異なり、選択できない映像モードは表示されません。



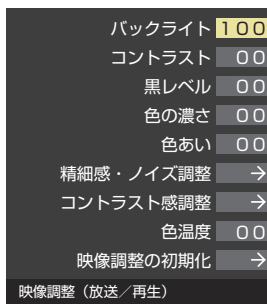
映像メニュー	内 容
あざやか	日中の明るいリビングで、迫力ある映像を楽しむときに適した設定です。
標準	室内で落ち着いた雰囲気を楽しむときに適した設定です(日常、ご家庭で使用するときの推奨設定です)。
ライブ	暗くした部屋でテレビ番組を見るときに適した設定です。
映画	暗くした部屋で映画を見るときに適した設定です(暖か味のある色あいが再現されます)。
ゲーム	ゲームのレスポンスを重視した、ゲームをするのに適した設定です(HDMI入力、ビデオ入力のときに選択できます)。
PC	パソコンの画面を表示するのに適した設定です(HDMI入力のときに選択できます)。

お好みの映像に調整する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「映像設定」⇒「映像調整」の順に進む



- 2 調整する項目を▲・▼で選び、**決定**を押す

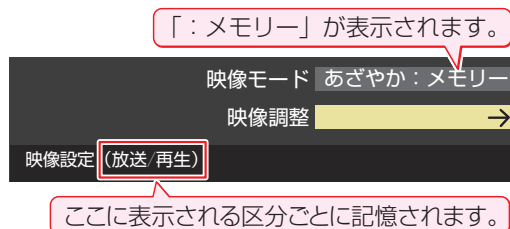


- 3 以降の手順でお好みの映像に調整する

- 他の項目を調整するときは、手順2から繰り返します(「黒レベル」、「色の濃さ」、「色あい」などのように、調整時に▲・▼で調整項目を切り換えられる項目もあります)。

「映像調整」をした場合

- 映像を調整すると、そのときに選択していた「映像モード」に調整状態が記憶され、「映像モード」の表示に「：メモリー」が加わります。
- 調整状態は、放送/再生や各入力端子などの区分ごとに記憶されます。たとえば、(放送/再生)の「あざやか：メモリー」と(HDMI1)の「あざやか：メモリー」は、異なる調整をして記憶させることができます。



バックライト

- お好みの見やすい画面の明るさに調整できます。
- ① ◀▶でお好みの明るさに調整し、(決定)を押す
- 「00」～「100」の範囲で調整できます(調整値が大きくなるほど画面が明るくなります)。

コントラスト

- 映像のコントラスト、明るさ、色の濃さをバランスよく同時に調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、(決定)を押す
- 「00」～「100」の範囲で調整できます(数値が大きくなるほど映像のコントラストが強くなります)。

黒レベル

- 映像の暗い部分(黒)の再現性(明るさ)を調整します。
 - ① ◀▶で好みの明るさに調整し、(決定)を押す
 - 「-50」(暗く)～「+50」(明るく)の範囲で調整できます。

色の濃さ

- 映像の色の濃さを調整します。
 - ① ◀▶で好みの濃さに調整し、(決定)を押す
 - 「-50」(淡く)～「+50」(濃く)の範囲で調整できます。

色あい

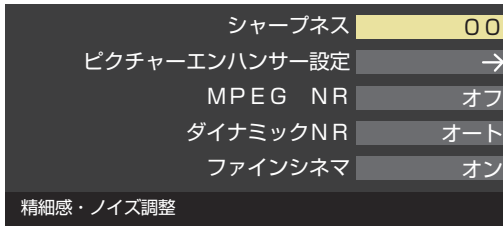
- 肌の色に注目して、色あいを調整します。
 - ① ◀▶で好みの色あいに調整し、(決定)を押す
 - 「-50」(紫を強く)～「+50」(緑を強く)の範囲で調整できます。

精細感・ノイズ調整

- 「精細感・ノイズ調整」を選択して^{決定}を押すと、精細感・ノイズ調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲▼で選び、^{決定}を押す

- 視聴する映像の種類および「映像モード」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。



② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

シャープネス

- 映像の鮮明さを調整します。
- ① ◀▶でお好みの映像に調整し、^{決定}を押す
- 「-50」(やわらか)～「+50」(くっきり)の範囲で調整できます。

ピクチャーエンハンサー設定

- 緻密で精細感のある映像を表示します。
- 「ピクチャーエンハンサー設定」を選択して(決定)を押すと、「ピクチャーエンハンサー」、「ゲイン調整」の選択メニューが表示されます。それぞれ以下の要領で設定します。
- ※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

ピクチャーエンハンサー

- ピクチャーエンハンサーの機能を使うかどうかを設定します。「オフ」に設定した場合は、「ゲイン調整」は機能しません。
- ※ ピクチャーエンハンサーと同じ高画質処理機能を持った機器を接続した場合、画面のノイズが目立つことがあります。その場合には、本機のピクチャーエンハンサー、または、接続した機器の高画質処理機能をオフにしてください。
- ① ▲▼で「ピクチャーエンハンサー」を選び、(決定)を押す
- ② ▲▼で以下から選び、(決定)を押す
 - ・ オン……………映像の種類に応じて自動的にピクチャーエンハンサーの機能が働きます。
 - ・ オフ……………この機能は働きません。

ゲイン調整

- ピクチャーエンハンサーの効果(強さ)を調整します。
- ① ▲▼で「ゲイン調整」を選び、(決定)を押す
- ② ◀▶で調整し、(決定)を押す

調整レベル	
01 ~ 05	数値が大きくなるほど、映像の精細感が強調されます。

MPEG (エムペグ) NR

- デジタル放送やDVDなどの動きの速い映像のブロックノイズ(モザイク状のノイズ)と、モスキートノイズ(輪郭のまわりにつく、ちらつきノイズ)を減らす機能です。

① ▲・▼でお好みの設定を選び、**決定**を押す

- 強、中、弱 …… MPEG NRの効果が切り換わります。強くするほどノイズをより抑える方向に働きます。

- オフ …… この機能は働きません。

※ 効果を強くすると精細感を損なうことがあります。

ダイナミックNR

- 映像のざらつきやちらつきを減らす機能です。

① ▲・▼でお好みの設定を選び、**決定**を押す

- オート …… 映像の種類に応じて自動的に制御されます。

- 強、中、弱 …… ダイナミックNRの効果が切り換わります。

- オフ …… この機能は働きません。

※ 通常は「オート」に設定してください。効果を強くすると残像が目立つ場合があります。

ファインシネマ

- 映画ソフト(フィルム映像)のもつスムーズな映像の動きと画質を再現します。

※ 映像によっては、効果がわかりにくい場合があります。

※ 映像に違和感がある場合は、「オフ」に設定してください。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- オン …… ファインシネマの機能が働きます。

- オフ …… この機能は働きません。

コントラスト感調整

- 「コントラスト感調整」を選択して(決定)を押すと、コントラスト感調整のメニューが表示されます。

① 調整する項目を▲・▼で選び、(決定)を押す

- 視聴する映像の種類および「映像モード」の設定によっては調整や設定ができない項目があります。

ダイナミックバックライト制御	オン
ダイナミックガンマ	00
ガンマ調整	00
コントラスト感調整	

② 以降の手順で調整する

- 他の項目を調整する場合は、手順①から繰り返します。

ダイナミックバックライト制御

- 映像の明るさに応じてバックライトの明るさを自動調整し、メリハリのある映像にします。

① ▲・▼で以下から選び、(決定)を押す

- オン
ダイナミックバックライト制御の機能が働きます。
- オフ
この機能は働きません。

ダイナミックガンマ

- 映像の内容に応じて、暗い部分から明るい部分にかけての階調が自動的に調整されます。

① ◀▶で調整し、(決定)を押す

調整範囲	数値が大きくなるほどメリハリが強調されます。
00 ~ 10	

ガンマ調整

- 映像の暗い部分と明るい部分の階調のバランスを調整することができます。

① ◀▶で調整し、**決定**を押す

調整範囲	調整値が大きくなるほど画面全体が明るくなります。
-10 ~ +10	

色温度

- 画面全体の色味を調整します。

① ◀▶で調整し、**決定**を押す

調整範囲	調整値が小さくなるほど暖色系、大きくなるほど寒色系になります。
00 ~ 10	

映像調整の初期化

- 「映像調整」の内容を、お買い上げ時の設定・調整に戻します。

1 ◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す

お好みの音声に調整する

- 見る番組や映像に応じて、お好みの音声に調整することができます

1 **設定** を押し、▲・▼で「音声設定」を選び、**決定** を押す

2 調整する項目を▲・▼で選んで**決定**を押す

高音	00
低音	00
バランス	中央
デジタル音声出力	PCM
デジタル音声出力タイミング	-01
ヘッドホン/音声出力設定	→
音声設定 (放送/再生)	

3 以下の手順でお好みの音声に調整する

高音

- 高音の強さを調整します。
 - 1 ▲・▼で「高音」を選び、**決定**を押す
 - 2 ◀▶で調整し、**決定**を押す
 - 「-20」(弱く) ~ 「+20」(強く)の範囲で調整できます。

低音

- 低音の強さを調整します。
 - 1 ▲・▼で「低音」を選び、**決定**を押す
 - 2 ◀▶で調整し、**決定**を押す
 - 「-20」(弱く) ~ 「+20」(強く)の範囲で調整できます。

左右バランス

- 左右のスピーカーの音量バランスを調整します。

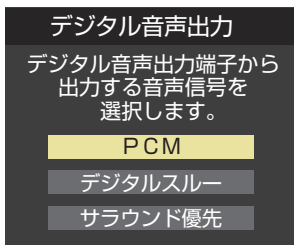
1 ◀▶で好みのバランスに調整し、(決定)を押す

- 「左20」(右を弱く) ～ 「中央」(左右同じ) ～ 「右20」(左を弱く)の範囲で調整できます。

デジタル音声出力

- 光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1 (ARC)端子から出力する音声信号の設定です。
- オーディオ機器が対応している音声信号については、オーディオ機器の取扱説明書でご確認ください。
- オーディオ機器から音声が出ない、または正常に再生できない場合は、「PCM」に設定してください。

1 ▲▼で信号を選び、(決定)を押す



- **PCM**

常にリニアPCM信号が出力されます。

オーディオ機器がリニアPCM信号だけに対応している場合は、この設定にします。

- **デジタルスルー**

AAC信号がそのまま出力されます。

- **サラウンド優先**

コンテンツの音声信号がサラウンド音声(5.1chや4.1chサラウンド音声など)の場合にそれらの信号が出力されます。それ以外の場合はリニアPCM信号が出力されます。オーディオ機器がAACのサラウンド音声に対応している場合は、この設定にすることでサラウンド音声が楽しめます。

ご注意

- 本機から出力されるデジタル音声は、デジタル音声出力を「PCM」以外に設定するとコンテンツによってはオーディオ機器（AVアンプなど）で正常に再生できない形式があります。

お知らせ

- デジタル音声出力設定が「PCM」以外に設定されている場合で、MPEG-2 AAC音声の場合には、データ放送の一部の音声（効果音など）が光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1（ARC）端子から出力されないことがあります。
- 外部入力としてビデオ入力を選択しているときは、光デジタル音声出力端子およびHDMI入力1（ARC）端子からは設定にかかわらずリニアPCM信号が出力されます。
- HDMI入力の選択時に、HDMI入力端子が対応していない音声信号が入力された場合は、設定にかかわらず光デジタル音声出力端子またはHDMI入力1（ARC）端子から信号は出力されません（HDMI入力端子が対応している音声信号については、製品同梱の取扱説明書の「本機の入出力対応信号」をご覧ください）。

デジタル音声出力タイミング

- 光デジタル音声出力端子とHDMI入力1（ARC）端子から出力するデジタル音声信号のタイミングを設定することができます。
- ① ◀▶で好みのタイミングに調整し、**決定**を押す
 - 「-3」～「0」の範囲で調整できます。
 - 数値が小さくなるほど、音声を出力するタイミングが早くなります。

お知らせ

- 映像の遅延が小さい場合、設定を変えても音声のタイミングは変わりません。

ヘッドホン／音声出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子の設定をします。
- ① ▲▼で「ヘッドホン／音声出力設定」を選び、**決定**を押す
- 以下、「出力設定」、「ヘッドホン出力設定」、「外部スピーカー出力設定」を設定します。

出力設定

- ヘッドホン／音声出力端子に接続する機器にあわせて設定します。
- ※ ヘッドホンで聴くときは、必ず「ヘッドホン」に設定してください。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
 - **ヘッドホン**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続する場合に選択します。
 - **外部スピーカー**
ヘッドホン／音声出力端子にAVアンプやミニコンポなどを接続する場合に選択します。

ヘッドホンモード

- 「出力設定」で「ヘッドホン」を選んだときに設定します。
- ① ▲▼で以下から選び、**決定**を押す
 - **通常モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーからの音が消え、ヘッドホンから音が聞こえます。
 - **親切モード**
ヘッドホン／音声出力端子にヘッドホンを接続すると、本機のスピーカーとヘッドホンの両方から音が聞こえます。

外部スピーカー出力設定

- 「出力設定」で「外部スピーカー」を選んだときに設定します。

① ▲・▼で以下から選び、**決定**を押す

- **固定**

ヘッドホン／音声出力端子から一定の音量レベルで音声が出力されます。外部接続機器で音量を調節してください。

- **可変**

ヘッドホン／音声出力端子からの音量を本機のリモコンで調節することができます。

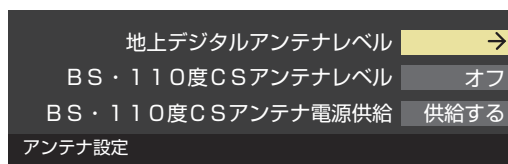
アンテナを調整する

電波の強さ(信号強度)を確認する

- テレビが全く映らない、または映像が乱れるなどの場合は、以下の手順でアンテナレベルを確認します。

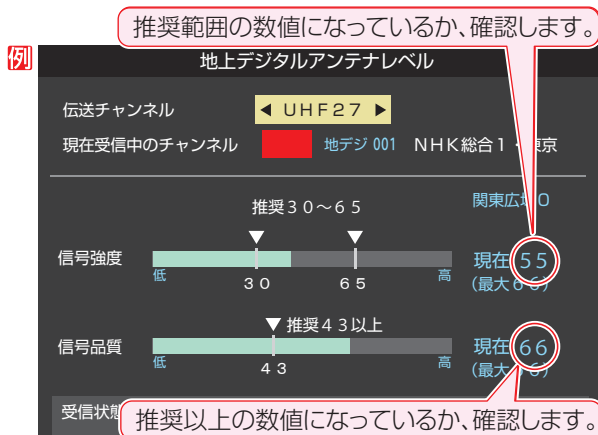
地上デジタル用アンテナの場合

- 1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「地上デジタルアンテナレベル」の順に進む



- 2 ◀▶ で「伝送チャンネル」を選ぶ

- お住まいの地域の地上デジタル放送に使用されている伝送チャンネルを選びます(お買い上げの販売店などにお聞きください)。
- ◀▶ を押すたびに以下のように切り換わります。
VHF1~VHF12 ↔ UHF13~UHF62 ↔ CATV13~CATV63
- 信号強度(○印の数値)が推奨範囲内になっているか、信号品質(○印の数値)が推奨の数値以上になっているかを確認します。



BS・110度CS用アンテナの場合

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「BS・110度CSアンテナレベル」の順に進む

2 **BS** または **CS** で放送の種類を選ぶ

3 **↑**
推奨
↓ でチャンネルを選ぶ

- 無料チャンネルまたは契約済チャンネルを選びます。
- 信号強度が推奨範囲内になっているか、信号品質が推奨数値以上になっているかを確認します。

お知らせ

- アンテナレベルの信号強度の数値は、受信入力電力を換算したものです。
- アンテナレベルの信号品質の数値は、受信C/Nを換算したものです（「受信C/N」とは放送電波と雑音電波の比を表すもので、電波の品質を知るときの目安となります）。

アンテナを調整する

- アンテナレベルが不足している場合は、「アンテナレベル」の画面を確認しながらアンテナの調整をします。
- ※ 高所での作業は危険です。アンテナの調整については、販売店にご相談ください。

1 アンテナをゆっくり動かして、アンテナレベルの数値が最大となるように調整する

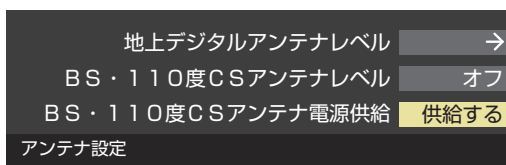
- 画面のアンテナレベルの最大値を参考に、アンテナを固定したあとにレベル値が下がっていないことを確認します。

2 アンテナを固定して、**決定**を押す

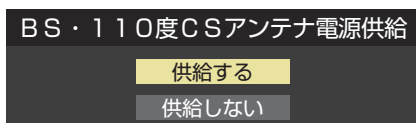
BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する

- BS・110度CS用アンテナは電源を必要とします。
- お買い上げ時は、「供給する」に設定されています。
マンションなどで、他の機器からアンテナに電源が供給されているときは、「供給しない」に設定します。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「初期設定」⇒「アンテナ設定」⇒「BS・110度CSアンテナ電源供給」の順に進む



2 ▲・▼で「供給する」または「供給しない」を選び、**決定**を押す



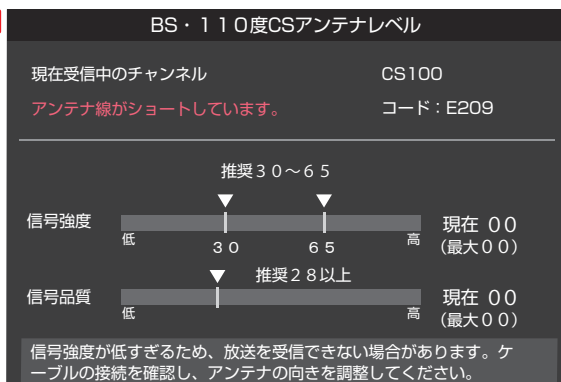
お知らせ

- 「BS・110度CSアンテナ電源供給」を「供給する」に設定した場合でも、本機の電源が「切」または「待機」のときは、番組情報の取得中や予約した番組の録画中、およびダウンロード中などの場合以外はアンテナ電源が供給されません。(BS・110度CSデジタル放送を録画機器単独で録画するときなどは、録画機器からアンテナ電源を供給する必要があります)。

アンテナ線がショートしたとき

- BS・110度CS用アンテナのレベル表示画面に「アンテナ線がショートしています。」のメッセージが表示された場合は、電源を切ってから電源プラグを抜き、ショートの原因を取り除いてからもう一度電源を入れてアンテナレベル表示の操作をしてください。
- マンションなどの共聴アンテナを使用しているときは、以下のエラーメッセージは表示されず、「BS・110度CSアンテナ電源供給」の設定が「供給しない」に切り換わります。

例



チャンネルを追加したり設定を変更したりするとき

地上デジタルチャンネルを自動で設定する

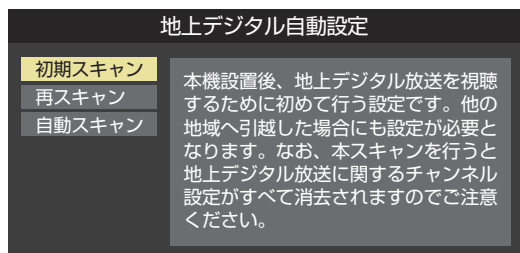
- 地上デジタル放送には以下の3種類のチャンネル自動設定機能があります。
 - **初期スキャン**
「はじめての設定」の「① 地上デジタルチャンネル設定」で行われる「初期スキャン」だけをやり直すことができます。
 - **再スキャン**
放送局が増えたなど、放送チャンネルに変更があったときに、ワンタッチ選局ボタンに設定できます。
 - **自動スキャン**
本機の電源が「切」や「待機」のときに自動的に探し、変更されたチャンネルがあればワンタッチ選局ボタンに自動で設定されます。
- ※ 初期スキャンをしていないと、再スキャンや自動スキャンはできません。

初期スキャンをするとき

- 受信可能なチャンネルを本機が探し、ワンタッチ選局ボタン(11～12)に放送の運用規定に基づいて設定します。

- 1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル自動設定」⇒「初期スキャン」の順に進む

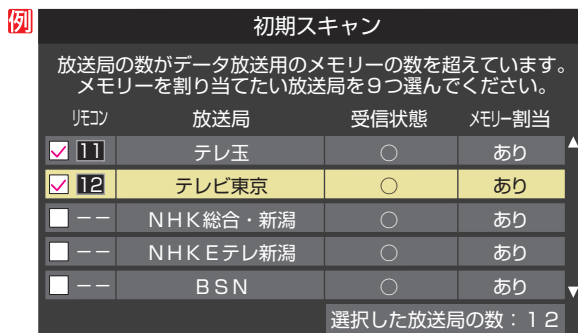
- 画面の説明をよくお読みください。



- 2 お住まいの地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

- 3 お住まいの都道府県または地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定** を押す

- 下図の画面が表示された場合は「[データ放送用メモリーの割り当て](#)」をしてください。



- 4 初期スキャン終了の画面が表示されたら、◀・▶で「はい」を選んで**決定** を押す

- 5 設定内容を確認したら、**決定** を押す

再スキャンをするとき

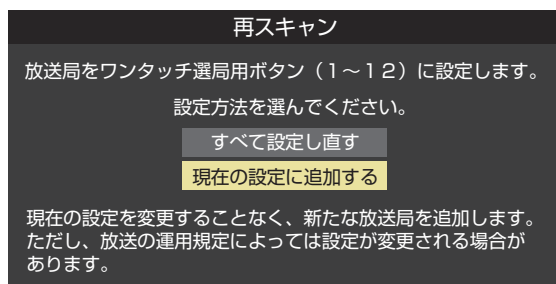
- 新たに放送局が開局してチャンネルが増えた場合など、放送に変更があった場合は、「再スキャン」をすればチャンネルを追加設定することができます。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「地上デジタル自動設定」⇒「再スキャン」の順に進む

- 「放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。」のメッセージが表示された場合は「[データ放送用メモリーの割り当て](#)」をしてください。

2 下図の画面が表示されたら、▲・▼でどちらかを選び、**決定** を押す

- 画面の説明を読んで、**1**～**12**への設定方法を選びます。



3 再スキャン終了の画面が表示されたら、◀▶で「はい」を選んで**決定**を押す

4 設定内容を確認したら、**決定**を押す

自動スキャンの設定を変えるとき

- お買い上げ時は自動スキャンは「する」に設定されています。
チャンネル設定の内容が自動変更されないようにする場合は、
自動スキャンを「しない」に設定してください。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒
「地上デジタル自動設定」⇒「自動スキャン」の順に進む

2 ▲・▼で「自動スキャンする」または「自動スキャンしない」
を選び、**決定** を押す

チャンネルをお好みに手動で設定する

- お好みに、リモコンのワンタッチ選局ボタン(1~12)で選局するチャンネルを変更したり、空いているワンタッチ選局ボタンに設定を追加したりすることができます。
- はじめて地上デジタル放送の「チャンネルボタン設定」をする場合は、「初期スキャン」をしてください。「初期スキャン」をしていない状態では「チャンネルボタン設定」はできません。

1 設定を押し、▲・▼と決定で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「手動設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定するデジタル放送の種類を▲・▼で選び、決定を押す

3 設定するボタン(1~12)の番号を▲・▼で選び、決定を押す

- 図は手順2で「地上デジタル」を選んだ場合の例です。

例

手動設定		地上デジタル
リモコン	チャンネル	放送局
1	テレビ	NHK総合・東京
2	テレビ	NHKEテレ東京
3	---	
4	テレビ	日本テレビ
5	テレビ	テレビ朝日
6	ワンタッチ選局ボタンの番号	

4 ▲▼で「チャンネル」を選び、◀▶で受信チャンネルなどを選ぶ



- ◀▶を押すと次のように切り換わります。
 - ・「地上デジタル」の場合
 - 「テレビ」↔「データ」
 - 地デジのチャンネルを順に選択
 - ・「BS」の場合
 - 「テレビ」↔「ラジオ」↔「データ」
 - BSデジタルのチャンネルを順に選択
 - ・「110度CS」の場合は放送メディア(テレビ/ラジオ/データ)の指定はできません。
 - ・ ◀▶を押し続ければ、チャンネルを速く切り換えることができます。

放送メディアを選んだ場合

- 放送メディア(テレビまたはデータ)を選んだ場合は、同じ放送局の複数のテレビ放送チャンネルまたは複数のデータ放送チャンネルが、手順3で選んだ番号のボタンにまとめて設定されます。
- 以下の操作で放送局名を設定します。
 - 1 ▲▼で「放送局」を選ぶ
 - 2 設定したい放送局名を◀▶で選ぶ

例 手順3で「6」を選び、ここで「テレビ」を選んで「放送局」を「TBS」に設定すると、地上デジタル放送視聴時の操作で「6」を押すたびに、「TBS」の「テレビ」チャンネルが順次に選局できます。

チャンネルを選んだ場合

- 手順3で選んだ番号のボタンに、ここで選んだチャンネルだけが設定されます。
- ※「放送局」の欄には選んだチャンネルの放送局名が表示されます(放送局名を変えることはできません)。
- 例 手順3で「6」を選び、ここで「地デジ061」を選ぶと、地上デジタル放送視聴時の操作で6を押したときに061チャンネルだけが選局できます。

5 設定が終わったら▲▼◀▶で「設定完了」を選び、(決定)を押す

- ※「設定削除」を選ぶと、そのボタンの設定を削除することができます。(「チャンネル」の欄が「ー」の表示になります)
- 他のボタンの設定も変更する場合は、手順3～5を繰り返します。

お知らせ

- チャンネルボタン設定をしたあとで、「初期スキャン」や「はじめての設定」をすると、チャンネルボタン設定をした内容が消えますので再度設定をしてください。

視聴しないチャンネルをスキップする

-  で選局するとき、視聴しないチャンネルを飛ばすことができます。
- 「スキップ」に設定したチャンネルは番組表に表示されません。また、番組検索の対象になりません。

1 設定を押し、▲・▼と(決定)で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「チャンネルスキップ設定」の順に進む

- 放送の種類を選択する画面が表示されます。

2 設定する放送の種類を▲・▼で選び、(決定)を押す

3 スキップ設定を変更したいチャンネルを▲・▼で選び、(決定)を押す

 チャンネルスキップ設定

地上デジタル		
チャンネル	放送局	スキップ
地デジ011	NHK総合1・東京	受信
地デジ012	NHK総合2・東京	受信
地デジ021	NHKEテレ1東京	受信
地デジ022	NHKEテレ2東京	スキップ
地デジ023	NHKEテレ3東京	スキップ
地デジ031	テレ玉1	受信

手順2で「地上デジタル」を選んだ場合

- (決定)を押すたびに「受信」⇔「スキップ」と交互に切り換わります。
- 放送メディア(テレビ/ラジオ/データ)を変えるときは青を押します。
- 他のチャンネルの設定をする場合は、手順3の操作を繰り返します(違う放送のチャンネルを設定する場合は戻るを押し、手順2からの操作を繰り返します)。

お知らせ

■ チャンネルスキップ設定について

- 「手動設定」をしたチャンネルは、自動的に「受信」に設定されます。
- 放送局の代表チャンネルを「スキップ」に設定すると、その放送局の代表チャンネル以外のチャンネルもスキップされます。代表チャンネル以外のチャンネルを「スキップ」に設定した場合は、代表チャンネルは選局できます。

チャンネル設定を最初の状態に戻すには

- すべてのチャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
- チャンネル設定をお買い上げ時の状態に戻すと、地上デジタル放送は受信できません。受信するには、「初期スキャン」をしてください。
- この操作をしても、「データ放送用メモリーの割り当て」や、双方向サービスの利用で本機に記憶された住所・氏名、ポイント数などの利用者個人の情報はそのままです。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「初期設定」⇒「チャンネル設定」⇒「チャンネル設定の初期化」の順に進む

- 確認画面が表示されます。

2 ◀▶ で「はい」を選び、**決定** を押す

データ放送の設定をする

郵便番号と地域を設定する

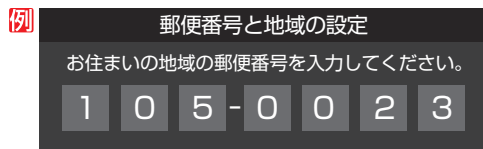
- お住まいの地域に応じたデータ放送や緊急警報放送などを視聴するための設定です。
- 「はじめての設定」で設定した状態から変更したいときに以下の操作をします。

1 **設定** を押し、▲・▼と**決定** で「初期設定」⇒「データ放送設定」⇒「郵便番号と地域の設定」の順に進む

- 郵便番号の入力画面が表示されます。

2 お住まいの地域の郵便番号を **1** ~ **10**₍₀₎ で入力し、**決定** を押す

- 上3ケタを入力して**決定**を押すと、残り4ケタは自動的に「0」が入力されます。



3 該当する地方を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

- 「設定しない」を選んだ場合は、これで終わりです。

3 該当する地域を▲・▼・◀・▶で選び、**決定**を押す

- 伊豆、小笠原諸島地域の方は「東京都島部」を選んでください。
- 南西諸島の鹿児島県地域の方は「鹿児島県島部」を選んでください。

おしらせ

■ 郵便番号と地域の設定について

- データ放送を視聴している状態で設定を変更した場合、放送によっては、設定終了後そのままの状態では設定内容は反映されません。設定終了後に再度データ放送を選局してください。

災害発生時に文字情報を表示させる

- デジタル放送には文字スーパー表示機能があり、災害時の速報などに使用されます。複数言語の文字スーパーに対応した番組の場合には、表示する言語を選択することができます。
- お買い上げ時は、文字スーパーが日本語優先で表示されるように設定されています。

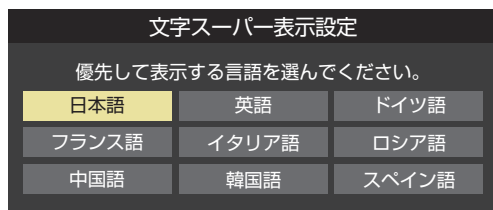
1 **設定** を押し、**▲・▼**と**決定**で「初期設定」⇒「データ放送設定」⇒「文字スーパー表示設定」の順に進む

- 「文字スーパー表示」の画面が表示されます。

2 **▲・▼**で「表示する」を選び、**決定**を押す

- 「表示しない」を選んだ場合、操作はこれで終わりです。

3 優先する言語を**▲・▼・◀・▶**で選び、**決定**を押す



おしらせ

■ 文字スーパー表示の設定について

- 設定した言語の文字スーパーがあるときは、その言語で表示されます。設定した言語が視聴している放送にない場合は、その放送に従って表示されます。
- 「表示しない」を選択した場合でも、災害時などの速報は、放送局指定によって放送受信時に強制表示することがあります。

データ放送用メモリーの割当画面が表示されたら

- 「はじめての設定」の「地上デジタルチャンネル設定」や、「初期スキャン」の手順**3**、「再スキャン」の手順**1**でデータ放送用メモリーの割当画面が表示された場合は、以下の手順で設定します。

■ 個人の情報とデータ放送用メモリーの割り当てについて

- 地上デジタル放送では、放送局ごとに視聴者個人の情報（たとえば、視聴ポイント数など）を利用したサービスが行われる場合があります、本機はその情報を放送局ごとに本機内のデータ放送用メモリーに記憶しています。

通常、メモリーは足りていますが、たとえば、引越しをした場合で、以前受信していた放送局の設定が残っていたときなどには、放送局の数が本機のメモリーの数を超えてしまうことがあります。

その場合には、初期スキャン時などに、データ放送用メモリーの割当画面（下の手順**1**の画面）が表示されますので、以下の操作でメモリーを割り当てる放送局を設定してください。

- メモリーを割り当てなかった放送局については、個人の情報がすべて消去されますのでご注意ください。

1 メモリーを割り当てる放送局を▲・▼で選び、決定を押す

- 選んだ放送局にチェックマークが付きます。
もう一度決定を押すと、指定が取り消されます。
- ワンタッチ選局ボタン(1~12)に設定されている放送局については、メモリーが割り当てられるように自動的に設定されています。設定を取り消すことはできません。
- このあと、手順2~4の操作をすると、メモリー割り当ての指定をしなかった放送局の個人の情報はすべて消去されます。
消去された情報は元に戻すことはできませんのでご注意ください。

設定の場面によって名称が変わります。

例

初期スキャン			
放送局の数がデータ放送用のメモリーの数を超えています。 メモリーを割り当てたい放送局を9つ選んでください。			
リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
☒ 11	テレ玉	○	あり ▲
☒ 12	テレビ東京	○	あり
☐ --	NHK総合・新潟	○	あり
☐ --	NHK Eテレ新潟	○	あり
☐ --	BSN	○	あり ▼
選択した放送局の数：12			

2 手順1を繰り返し、九つの指定をする

- 1~12については自動的に設定されます。それらを除いた九つを指定します。

3 決定を押す

- 手順4の画面になります。(確認メッセージが表示されます)
- 九つよりも多い場合や少ない場合には、その旨のメッセージが表示されます。
決定を押したあと、手順1~2の操作で九つの指定をしてください。

4 ◀▶で「はい」を選び、(決定)を押す

- 指定した放送局についてデータ放送用メモリーが割り当てられ、ここでの設定をする前の画面に自動的に戻ります。
指定以外放送局の個人情報はずべて消去されます。

例

初期スキャン

リモコン	放送局	受信状態	メモリー割当
5	TOKYO MX	○	あり ▲
6	TBS	○	あり
7	t v k	○	あり ▼

メモリーを割り当てる放送局は上記でよろしいですか？

メモリーを割り当てなかった放送局に関するデータはすべて消去されます。消去されたデータは元に戻すことができませんのでご注意ください。

5 この設定をする前の操作を続ける

- 「初期スキャン」の場合
[「初期スキャン」](#)の手順4へ
- 「再スキャン」の場合
[「再スキャン」](#)の手順2へ

視聴できる番組を制限する

制限するために暗証番号を設定する

- 暗証番号は、視聴年齢制限のある番組を見たりするときに必要です。
- 暗証番号を設定した場合には、暗証番号の変更・削除および[設定の初期化](#)をするときにも暗証番号の入力が必要になります。

ご注意

- 暗証番号を忘れないようにご注意ください。暗証番号を忘れた場合は、製品同梱の取扱説明書裏表紙に記載の「東芝テレビご相談センター」にご連絡ください。
- ※ 必要としない場合は、登録しないことをおすすめします。

1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「機能設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号設定」の順に進む

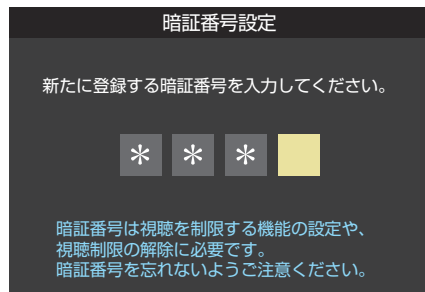
- 暗証番号の入力画面が表示されます。

2 暗証番号を変更する場合は、変更前の暗証番号を **1** ～ **10**₍₀₎ で入力する

- 新規設定の場合、この手順はありません。

3 登録したい暗証番号を **1** ～ **10**₍₀₎ で入力する

- 間違えて入力した場合は、◀を押し、もう一度入力します。
- 入力した数字は画面には「*」で表示されます。



重要

登録した暗証番号はメモするなどして、忘れないようにしてください。

4 **1**～**10**₍₀₎でもう一度同じ暗証番号を入力する

5 確認画面で**決定**を押す

暗証番号を削除するとき

1 **設定**を押し、▲・▼と**決定**で「機能設定」⇒「視聴制限設定」⇒「暗証番号削除」の順に進む

● 暗証番号の入力画面になります。

2 **1**～**10**₍₀₎で暗証番号を入力する

3 確認画面で、◀▶で「はい」を選び、**決定**を押す

番組の視聴を制限する

- デジタル放送では番組ごとに視聴年齢が設定されている場合があります。視聴年齢制限のある番組を見るには設定が必要です。
- お買い上げ時には、番組の視聴制限は設定されていません。
- 暗証番号を設定していない場合は、先に暗証番号を設定します。

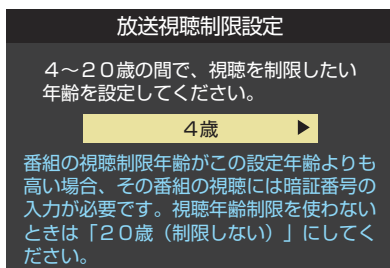
1 **設定** を押し、▲・▼と**決定**で「機能設定」⇒「視聴制限設定」⇒「放送視聴制限設定」の順に進む

- 暗証番号の入力画面になります。

2 **1**～**10**₍₀₎で暗証番号を入力する

3 ◀▶で年齢を設定し、**決定**を押す

- 設定できる年齢は、4歳から20歳までです。
- 視聴年齢制限機能を使わない場合は、「20歳(制限しない)」に設定します。



- 視聴時の動作および必要な操作は以下のとおりです。

番組の制限年齢が設定した年齢よりも上の場合

- メッセージが表示されます。
- **決定** を押し、**1**～**10**₍₀₎で暗証番号を入力します。

視聴年齢制限が設定されていない場合

- 視聴年齢制限のある番組を見ることはできません。
- **決定** を押し、設定が必要な項目を設定します。

お買い上げ時の設定に戻すには

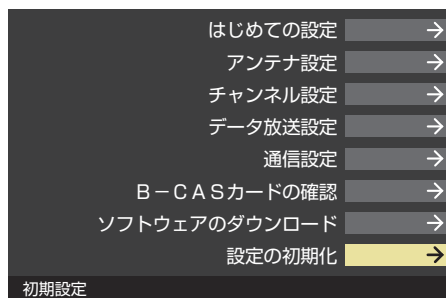
(設定内容を初期化するには)

- お買い上げ時の設定(工場出荷設定)に戻します。
- 本機に設定されたすべての内容がお買い上げ時の状態に戻ります。
- ※ データ放送の個人情報(住所、氏名、視聴ポイント数など)などについてもすべて初期化されますので、本機を廃棄処分する場合や他の人に譲り渡す場合に行ってください。

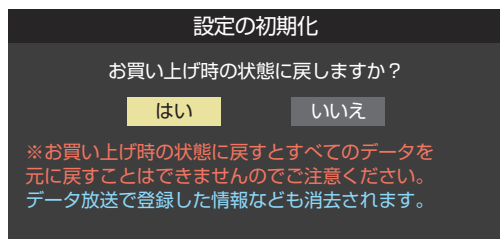
ご注意

- ※ 初期化をすると初期化前の状態に戻すことはできませんのでご注意ください。

1 「設定」を押し、▲・▼と(決定)で「初期設定」⇒「設定の初期化」の順に進む



2 初期化する場合は◀▶で「はい」を選び、(決定)を押し



3 初期化終了の画面が表示されたら、電源を切る

設定メニュー 一覧

- 設定メニュー 一覧を以下に示します。
- ※一部のメニュー項目は、詳細項目は省略しています。
- メニューに表示される項目や項目名、選択できる項目などは、設定状態や接続機器の有無などによって変わり、選択できない項目はメニュー画面で薄くなって表示されます。
- 「映像設定」のメニューは、「映像モード」で「あざやか」を選んでいる場合の内容です。

映像設定			
	映像モード		
	映像調整		
		バックライト	
		コントラスト	
		黒レベル	
		色の濃さ	
		色あい	
		精細感・ノイズ調整	
		シャープネス	
		ピクチャーエンハンサー設定	
			ピクチャーエンハンサー
			ゲイン調整
		MPEG NR	
		ダイナミックNR	
		ファインシネマ	
		コントラスト感調整	
		ダイナミックバックライト制御	
		ダイナミックガンマ	
		ガンマ調整	
		色温度	
		映像調整の初期化	

音声設定	
	高音
	低音
	バランス
	デジタル音声出力
	デジタル音声出力タイミング
	ヘッドホン/音声出力設定
	出力設定
	ヘッドホンモード
	外部スピーカー出力設定
機能設定	
	省エネ設定
	節電モード
	番組情報取得設定
	無操作自動電源オフ
	オンエアー無信号オフ
	外部入力無信号オフ
	視聴制限設定
	放送視聴制限設定
	暗証番号設定
	暗証番号削除
	外部入力設定
	外部入力表示設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	ビデオ
	外部入力表示設定の初期化
	外部入力スキップ設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	ビデオ
	RGBレンジ設定
	HDMI 1
	HDMI 2
	ビデオ音声入力設定

外部機器設定	
USBハードディスク設定	
機器の登録	
省エネ設定	
機器の取りはずし	
動作テスト	
録画番組の修復	
機器の初期化	
録画再生設定	
録画先機器の設定	
録画先	
チャプター設定	
ワンタッチスキップ設定	
ワンタッチリプレイ設定	
HDMI連動設定	
HDMI連動機能	
リモコン動作モード	
連動機器→テレビ入力切換	
連動機器→テレビ電源	
テレビ→連動機器電源オフ	
サウンドシステム連動	
優先スピーカー	

初期設定

はじめての設定

アンテナ設定

地上デジタルアンテナレベル

BS・110度CSアンテナレベル

BS・110度CSアンテナ電源供給

チャンネル設定

地上デジタル自動設定

初期スキャン

再スキャン

自動スキャン

手動設定

地上デジタル

BSグループA

BSグループB

110度CS

手動設定

地上デジタル

BSグループA

110度CS

チャンネル設定の初期化

データ放送設定

郵便番号と地域の設定

文字スーパー表示設定

通信設定

IPアドレス設定

DNS設定

プロキシ設定

接続テスト

ネットワーク情報

B-CASカードの確認

ソフトウェアのダウンロード

放送からの自動ダウンロード

ソフトウェアバージョン

設定の初期化

ソフトウェアを更新する

ソフトウェアの更新機能について

- 本機は、内部に組み込まれたソフトウェア(制御プログラム)で動作するようになっていました。
- お買い上げ後、より快適な環境でお使いいただくために、ソフトウェアを更新する場合があります。
- 更新用のソフトウェアはBSデジタルや地上デジタルの放送電波で送られてきます。本機は、放送電波で送られてくる更新用のソフトウェアを自動的にダウンロードし、内部ソフトウェアを自動的に更新する機能を備えています。
- ソフトウェアダウンロード情報をホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>)でお知らせしています。
 - 放送電波を利用したソフトウェアのダウンロードは、都度、限られた日時に行われます。
- ソフトウェアの更新中は電源プラグを抜かないでください。ソフトウェアの更新が正常に行われず、本機が起動しなくなるおそれがあります。
 - ソフトウェアの更新中は「電源」表示が緑色と赤色に交互に点灯します。

ソフトウェアの自動ダウンロードについて

- 「放送からの自動ダウンロード」の設定を「する」(お買い上げ時の設定)にしておき、日常的にデジタル放送を視聴し、視聴しないときにも電源プラグをコンセントに差し込んだままにしておけば、特別に意識する必要はありません。常に最新のソフトウェアで 사용할 ことができます。更新用のソフトウェアがある場合は、ダウンロード情報が放送電波で送られます。本機は、地上デジタル放送またはBSデジタル放送を視聴しているときにダウンロード情報を取得します(情報を確認する操作はありません)。
- 「放送からの自動ダウンロード」は、地上デジタルまたはBSデジタル放送電波からのダウンロードに対応します。ご使用の環境に合わせてソフトウェアの更新を行います。
- 更新用ソフトウェアの自動ダウンロードと自動更新は、本機の電源が「待機」(リモコンで電源を切った状態)のときに、放送電波で行われます

用語

ダウンロード

放送電波やインターネットを使って、ソフトウェアなどを端末(この場合は本機)に転送することです。

自動ダウンロードの設定を変更する

- 1 **設定** を押し、▲・▼と **決定** で「初期設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「放送からの自動ダウンロード」の順に進む

- 2 ◀▶ で「する」または「しない」を選び、**決定** を押す

- **青** を押すと、放送電波でのダウンロード予定を一覧で確認することができます。

お知らせ

- 電源プラグがコンセントから抜かれていると、自動ダウンロードができないため、ソフトウェアの自動更新は行われません。
- ダウンロードによって、一部の設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったり、予約やお知らせが削除されたりする場合があります。
- 悪天候などでダウンロードが取り消された場合は、「本機に関するお知らせ」でお知らせします。
- テレビの状態によっては、ソフトウェアの更新が行われない場合があります。

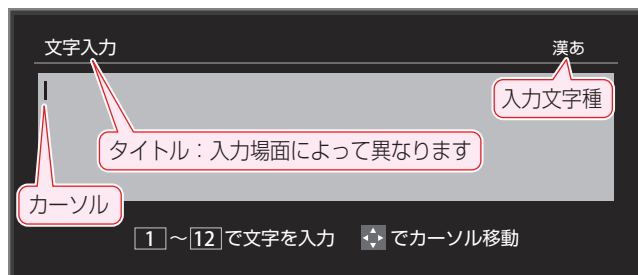
ソフトウェアのバージョンを確認するには

- 1 **サブメニュー** を押し、▲・▼と**決定**で「その他の操作」⇒「ソフトウェアバージョン」の順に進む
- **設定**⇒「初期設定」⇒「ソフトウェアのダウンロード」⇒「ソフトウェアバージョン」でも確認できます。
- ソフトウェアのバージョンが表示されます。



文字を入力する

- 番組検索のキーワード指定で、新しいキーワードを登録する場面などで文字入力画面が表示されます。



1 1～12で文字を入力する

- 携帯電話と同様の操作で文字を入力します。

入力例：がっこう

→ 2、10、4(6回)、2(5回)、1(3回)
 が っ こ う
 「っ」の別の入力方法 → 4(3回)、10(2回)
 っ

- 文字に続けて **10** を押せば、濁点(・)や半濁点(゜)の入力および小文字変換ができます。
- 同じボタンに割り当てられた文字を続けて入力する場合は、次の文字の前に▶を押します。

入力例：あい → 1、▶、1(2回)
 あ い

- 入力文字の種類を変えるときは、 (文字切換)を押します。
- 文字を挿入するには、挿入する場所を▲▼◀▶で選んで入力します。
- スペースを入力するときには、 ^緑を押します。

文字を削除するには

- 1文字を削除するには、を短く押します。
カーソルの右に文字がない場合は、カーソルの左の1文字が削除されます。カーソルの右に文字がある場合は、カーソルの右の1文字が削除されます。
- 文字をまとめて削除するには、を押し続けます。
カーソルの右に文字列がない場合は、文字がすべて削除されます。カーソルの右に文字列がある場合は、カーソルより右の文字がすべて削除されます。

2 以下の操作で文字を確定する

- 漢字に変換しないときは、を押す
- 漢字に変換するときには、▼を繰り返し押し、希望の漢字が見つかったらを押す
 - 希望する漢字に変換されない場合は、変換する範囲を◀▶で変え、▲▼で再度変換します。

3 すべての入力が終わったら、を押す

- 文字入力画面が表示される前の操作画面に戻ります。

お知らせ

- 入力した文字は、次のように表示されます。
入力中の文字：黄色背景
未確定の文字：白色背景
漢字変換候補選択中の文字：黒色背景
確定した文字：背景なし
- 確定せずに変換できるのは4文節までです。4文節以上のときは、確定してから残りを変換してください。
- 漢字候補選択時にを押せば、その文節を未変換状態に戻すことができます。

文字切換(入力文字種の切り換え)

「漢あ」	漢字変換	ひらがなや漢字を入力できます。
「カナ」	全角カナ	カタカナを入力できます。
「a A」	全角英字	全角の英字を入力できます。
「abAB」	半角英字	半角の英字を入力できます。
「1 2」	全角数字	全角の数字を入力できます。
「1234」	半角数字	半角の数字を入力できます。
「全角記号」	全角記号	全角の記号を入力できます。
「半角記号」	半角記号	半角の記号を入力できます。
「定型文」	定型文	定型文を入力できます。

- 文字入力の場面によっては、使用できる入力文字種が少なかったり、切り換えられなかったりすることがあります。
- 入力文字種が「全角記号」、「半角記号」のときには、入力したい記号を文字入力画面から選びます。

入力文字一覧

リモコン	入力文字種			
	漢字変換	全角カナ	英字	数字
1	あ→い→う→え→お →あ→い→う→え→お	ア→イ→ウ→エ→オ →ア→イ→ウ→エ→オ	1→2→3→4→5→ 6→7→8→9→0	1
2	か→き→く→け→こ	カ→キ→ク→ケ→コ →カ→ケ	a→b→c →A→B→C	2
3	さ→し→す→せ→そ	サ→シ→ス→セ→ソ	d→e→f →D→E→F	3
4	た→ち→つ→て→と →つ	タ→チ→ツ→テ→ト ツ	g→h→i →G→H→I	4
5	な→に→ぬ→ね→の	ナ→ニ→ヌ→ネ→ノ	j→k→l →J→K→L	5
6	は→ひ→ふ→へ→ほ	ハ→ヒ→フ→ヘ→ホ	m→n→o →M→N→O	6
7	ま→み→む→め→も	マ→ミ→ム→メ→モ	p→q→r→s →P→Q→R→S	7
8	や→ゆ→よ →や→ゆ→よ	ヤ→ユ→ヨ →ヤ→ユ→ヨ	t→u→v →T→U→V	8
9	ら→り→る→れ→ろ	ラ→リ→ル→レ→ロ	w→x→y→z →W→X→Y→Z	9
10	°→°→小文字変換	°→°→小文字変換	小文字変換	0
11	わ→を→ん→わ→、→。→ →	ワ→ヲ→ン→ワ→、→。 →	※1	*
12	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	※2逆方向へ入力	#

● 最後の候補まで行くと、次は最初の候補に戻ります。

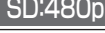
※1 全角英字の場合……。→/→:→→→→→→→@

半角英字の場合……。→/→:→→→→→→→@

※2 文字入力変換中に文字を通り過ぎたときに、逆方向へ戻します。

アイコン一覧

番組についてのアイコン

アイコン	説明
	テレビ放送
	ラジオ放送
	データ放送
	画面の横と縦の比が16:9の番組の放送
	画面の横と縦の比が4:3の番組の放送
	ステレオ音声放送
	サラウンドステレオ放送
	二重音声放送
	字幕放送
	マルチビューサービス(複数の映像・音声があり、映像・音声が連動して切り換わる番組)
	デジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが1080iのデジタルハイビジョン放送
	放送フォーマットが720pのデジタルハイビジョン放送
	デジタル標準テレビ放送
	放送フォーマットが480iのデジタル標準テレビ放送
	放送フォーマットが480pのデジタル標準テレビ放送
	複数の映像、または音声またはデータがある番組
	視聴年齢制限が設定されている番組。

🔑ダビング	録画回数が制限されている番組
デジタルコピー可	デジタル録画ができる番組
デジタルコピー¥	有料でデジタル録画ができる番組
デジタルコピー×	デジタル録画ができない番組
光デジタルコピー可	光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー1	1回だけ光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー¥	有料で光デジタル録音ができる番組
光デジタルコピー×	光デジタル録音ができない番組
アナログコピー可	アナログ録画ができる番組
アナログコピー¥	有料でアナログ録画ができる番組
アナログコピー×	アナログ録画ができない番組

お知らせ、予約、その他についてのアイコン

アイコン	説 明
	録画予約
	連ドラ予約
	視聴予約
	録画中
	録画準備中 録画の約1分前に表示されます。
	録画確認中 前番組の放送延長などで録画番組の放送時間が変更されたときなどに表示されます。
	連ドラ予約番組の追跡結果や放送時間変更で、予約が重なったときなどに表示されます。
	録画番組が「保護」対象
	録画番組が「上書き」対象
	未読の「お知らせ」
	既読の「お知らせ」
データ取得中	データの取得中です。
	非リンク型サービス(通信番組) 》「データ放送やラジオ放送を楽しむ」
	SSLなどの暗号通信をしている場合 》「データ放送やラジオ放送を楽しむ」

- ダビング・コピー関係のアイコンの中には、本機の機能とは無関係に番組の情報として表示されるものがあります。

画面サイズについて

- 選択できる画面サイズは下表のとおりです。
- 信号フォーマットについては、[「本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット」](#)をご覧ください。
- ※ 液晶画面の画素数によって選択できない画面サイズもあります。

放送番組やビデオ入力端子からの映像を見ているとき

映像の種類	選択できる画面サイズ
デジタル放送の4:3の映像 (480p、480i)、映像入力端子	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル
デジタル放送の16:9の映像	ワイド、ズーム、フル - 画面サイズを変更した番組の放送中は、選んだ画面サイズが保持されます。 番組終了後、選局操作をすると「フル」に戻ります。 - 電源入／切で「フル」に戻ります。

HDMI入力端子からの映像を見ているとき

映像や信号フォーマットの種類	選択できる画面サイズ
480i、480p	ワイド、ズーム、映画字幕、フル、ノーマル、Dot By Dot
VGA、SVGA、720p	ワイド、ズーム、フル、ノーマル、Dot By Dot
XGA、WXGA	ワイド、ズーム、フル、ノーマル [※] 、Dot By Dot
SXGA、1080、1080p	ワイド、ズーム、フル、ノーマル、Dot By Dot [※]

映像メニューを「ゲーム」にしているとき

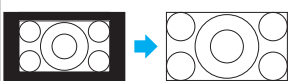
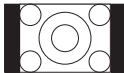
入力端子	選択できる画面サイズ
映像入力端子、HDMI入力端子 (SXGA、1080i、1080p)	ゲームフル、ゲームノーマル
HDMI入力端子(480i、480p、 VGA、SVGA、720p)	ゲームフル、ゲームノーマル、 Dot By Dot
フルHDMI入力端子 (XGA、WXGA)	ゲームフル、ゲームノーマル※、 Dot By Dot

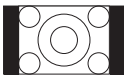
※液晶画面の画素数が水平1366×垂直768の機種では、選択できません。液晶画面の画素数については「仕様」をご覧ください。

お知らせ

- 本機は、各種の画面サイズのモード切換機能を備えています。テレビ番組等のソフトの映像比率と異なるモードを選択すると、本来の映像とは見えかたが異なります。
- 視聴する映像のフォーマットと画面サイズの組み合わせによっては、周囲の映像が隠れたり、画面の周囲が黒で表示されたり、左右の端がちらついたりすることがあります。また、放送画面に表示される選択項目を選ぶ際に枠がずれて表示されることがあります。
- 4:3の映像を「ワイド」などを利用して画面いっぱいに表示させると、周辺画像が一部見えなくなったり、変形して見えたりします。制作者の意図を尊重した本来の映像は、「Dot By Dot」、「ノーマル」(16:9映像の場合は「フル」)でご覧になれます。
- テレビを公衆に視聴させることを目的として、喫茶店、ホテル等に置いて、画面サイズの切換機能を利用して画面の圧縮や引き伸ばしなどすると、著作権法上で保護されている権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

画面の見えかたについて

入力	画面サイズ のモード	画面の見えかた	説明
4:3	ワイド	※1 	4:3の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面を上下左右に引き伸ばします。上下方向よりも左右方向をより引き伸ばします。
	ズーム	※1 	上下が黒い帯になっている映画などのワイド映像(レターボックス「LB」)を拡大して楽しむモードです。
	映画字幕	※1 	レターボックスのワイド映像の下に字幕がはいっている場合に、字幕を隠れにくくするモードです。
	フル	※1 	DVDソフトなどのスクイーズ映像(縦に伸びて見える映像)を、ワイド映像で表示するモードです。
	ノーマル		4:3の映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです。
16:9	フル		16:9の映像を画面いっぱいに表示するモードです。
	ワイド※2	※3 	左右に帯(黒や模様など)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。画面左右の端にいくほど映像が引き伸ばされます。
	ズーム※2	※3 	上下左右に帯(帯も映像として送られています)のある16:9の映像をワイド画面で楽しむモードです。

ゲーム	ゲームフル	※4 	ゲーム映像をテレビ画面いっぱいに拡大して表示するモードです。
	ゲームノーマル		ゲーム映像をそのままの横と縦の比で表示するモードです (図は4:3の例です)。
HDMI	Dot by Dot		入力信号の解像のまま画面に表示するモードです。映像のない部分は黒く表示されます。

- ※1 左側の図は画面サイズのモードを「ノーマル」にした場合の見えかたです。
- ※2 デジタル放送のハイビジョン放送と標準画質放送の16:9の映像で切り換えることができます。
- ※3 左側の図は画面サイズのモードを「フル」にした場合の見えかたです。
- ※4 左側の図は画面サイズのモードを「ゲームノーマル」にした場合の見えかたです。

対応フォーマット

本機で対応しているHDMI入力信号フォーマット

- 「VESA規格」の欄に「○」が記載されている信号フォーマットは、本機のHDMI入力端子ではVESA規格に準拠する信号フォーマットにだけ対応しています。機器によっては本機の画面に映像が表示されないか、または正しく表示されないことがあります。その場合は下表に示した入力信号のどれかに合うようにパソコンや映像機器の設定を変更してください。一部のパソコンでは有効画面領域を「解像度」と表記する場合があります、その場合は本機が表示する解像度と異なることがあります。
- 下表すべての信号に対応していますが、パソコンを接続する場合はリフレッシュレートが60Hzの信号を推奨します。

フォーマット名	表示解像度	リフレッシュ レート	水平周波数	ピクセル クロック	VESA 規格
480i	720×480	59.94 / 60Hz	15.734 / 15.750kHz	27.000 / 27.027MHz	
480p	720×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	27.000 / 27.027MHz	
1080i	1920×1080	59.94 / 60Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
720p	1280×720	59.94 / 60Hz	44.955 / 45.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
1080p	1920×1080	59.94 / 60Hz	67.433 / 67.500kHz	148.352 / 148.500MHz	
		23.98 / 24Hz	26.973 / 27.000kHz	74.176 / 74.250MHz	
		29.97 / 30Hz	33.716 / 33.750kHz	74.176 / 74.250MHz	
VGA	640×480	59.94 / 60Hz	31.469 / 31.500kHz	25.175 / 25.200MHz	○
SVGA	800×600	60Hz	37.879kHz	40.000MHz	○
XGA	1024×768	60Hz	48.363kHz	65.000MHz	○
WXGA	1280×768	60Hz	47.776kHz	79.500MHz	○
	1360×768	60Hz	47.712kHz	85.500MHz	○
SXGA	1280×1024	60Hz	63.981kHz	108.000MHz	○

症状に合わせて解決法を調べる

- テレビが正しく動作しないなどの症状があるときは、以降の記載内容から解決法をお調べください。
- 解決法の対処をしても症状が改善されない場合は、電源プラグをコンセントから抜き、「東芝テレビご相談センター」にご相談ください。

操作

電源がはいらない

電源プラグが抜けていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

電源コードが本体から抜けていませんか(19/24S24)。

⇒ 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。

「電源」表示が消えていませんか

⇒ 本体の電源ボタンを押して電源を入れます。

※ 「電源」表示が消えているときは、リモコンで電源を入れることはできません。

「電源」表示が赤色に点滅していますか。

⇒ 電源プラグをコンセントから抜き、一分以上たってからもう一度コンセントに差し込みます。

リモコンで操作ができない

リモコンとテレビ本体のリモコン受光部の間に障害物がありますか。

- ⇒ 障害物を取り除きます。
リモコン受光部の位置は、製品同梱の取扱説明書の「各部の
なまえ」でご確認ください。

リモコンの乾電池が消耗していませんか。

- ⇒ 新しい乾電池に交換します。

リモコンの乾電池の向き(＋、－)が合っていますか。

- ⇒ 向き(＋、－)を確認し、正しく入れてください。

本体のボタンでは操作ができますか。

- ⇒ 上記の対処をした上で、なおもリモコンだけで操作ができない場合は、リモコンの故障が考えられます。

映像

放送の映像が出ない、またはきれいに映らない

アンテナ線がはずれていたり、切れていたり、ショートしていませんか。

⇒ アンテナ線を確認して正しく接続します。

※ 屋外の接続については、販売店にご相談ください。

アンテナ線プラグの芯線が曲がっていませんか。

⇒ 確認して、まっすぐにします(折らないようにご注意ください)。

アンテナ線プラグの芯線が折れたり、短くなっていたりしていませんか。

⇒ アンテナ線を交換します。

レコーダーなどを経由してアンテナ線を接続していませんか。

⇒ アンテナ線を本機に直接接続して映像が出る場合は、本機の故障ではありません。

⇒ アンテナ線を分配して接続します。

電波が弱くありませんか。

⇒ アンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)

⇒ アンテナの向きを調整してみます(販売店にご相談ください)。

アンテナ線の差し込みがゆるんでいたり、接触不良になっていませんか。

⇒ 確認して、しっかりと接続します。

アンテナ線(端子)がさびていませんか。

⇒ 販売店にご相談ください。

接続した機器の映像が出ない、またはきれいに映らない

機器が正しく接続されていますか。

⇒ 確認して正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

⇒ 機器の電源を入れます。

接続した機器の入力に切り換えましたか。

⇒ リモコンので、外部機器を接続した入力端子を選びます。 [≫「外部入力の画面に切り換える」](#)

画面が暗い、または暗くなる時がある

部屋の明るさに合った適切な映像モードや調整になっていますか。

⇒ 明るい部屋では、「あざやか」を選択してみます。 [≫「お好みの映像モードを選ぶ」](#)

⇒ 「バックライト」で適切な明るさに調整します。 [≫「バックライト」](#)

色がおかしい

お好みの映像モードや映像調整になっていますか。

⇒ 視聴している番組や映像に合わせて、お好みの映像モードを選択します。 [≫「お好みの映像モードを選ぶ」](#)

⇒ お好みの映像に調整することもできます。 [≫「お好みの映像に調整する」](#)

音声

音声が出ない

音量が最小になっていませんか。

⇒  で音量を上げます。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

画面に **消音** マークが表示されていませんか。

⇒  を押すと消音を解除できます
( でも解除されます)。

» [「音量を調節する／音を一時的に消す／字幕を表示させる」](#)

「サウンドシステムスピーカー」になっていませんか

⇒ サブメニューの「スピーカー切換」で「テレビスピーカー」に設定します。 » [「外部スピーカーで聴く」](#)

地上デジタル放送

地上デジタル放送が映らない、または映像が乱れる、または引越しをしたら地上デジタル放送が映らなくなった

アンテナレベルが推奨値以下ではありませんか。

- ⇒ 設定の「地上デジタルアンテナ設定」を選んでアンテナレベルを確認します。 [▶「電波の強さ\(信号強度\)を確認する」](#)
- ※ 推奨値よりも低い場合は、放送を受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談のうえ、アンテナの向きを確認・調整してください。

「初期スキャン」をしましたか。

- ⇒ 「初期スキャン」をします。

お住まいの地域は地上デジタル放送の受信可能エリアですか。

- ⇒ 一般社団法人 放送サービス高度化推進協会(A-PAB)ホームページ (<http://www.apab.or.jp/>) で確認することもできます。

共聴システムやCATVをご利用の場合、地上デジタル放送のパススルー方式に対応していますか。

- ⇒ CATVの場合はご契約のCATV会社に、その他の場合は共聴システムの管理者にお問い合わせください(CATVがパススルー方式でない場合はCATV用チューナーが必要な場合があります)。

BS・110度CSデジタル放送**BS・110度CSデジタル放送が映らない、または映像が乱れる**

アンテナ接続に分配器を使用していますか。

⇒ 分配器は「全端子通電型」のものを使用します。

有料放送ではありませんか。

⇒ 有料放送を視聴するには契約が必要です。視聴の申し込みや視聴料金などについては、放送事業者にご相談ください。

マンションなどで、壁のアンテナ端子が一つだけになっていますか。

⇒ 視聴できる放送の種類についてマンションなどの管理会社にご確認ください。

⇒ ご自身で確認する場合は、アンテナ線を本機のBS・110度CSアンテナ入力端子に直接接続してみます(地上デジタル放送を確認する場合は、地上デジタルアンテナ入力端子へ)。

⇒ BS・110度CSデジタル放送と地上デジタル放送の両方が受信できる場合は、分波器を使用してアンテナ線をBS・110度CSアンテナ入力端子と地上デジタルアンテナ入力端子に接続します。

テレビまたはアンテナ線の近くで携帯電話、スマートフォン、コードレス電話、無線LANアクセスポイントなどの無線機器を使用していないですか。

⇒ 上記の機器は、テレビまたはアンテナ線から離れて使用してください。映像・音声が乱れることがあります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「供給しない」に設定されていませんか。

⇒ BS・110度CS共用アンテナを、ご自身で設置して利用している場合、BS・110度CS共用アンテナへの電源供給が必要となります。

「衛星アンテナ電源供給」設定が「供給する」に設定されていることを確認してください。≫[「BS・110度CS用アンテナの電源供給の設定を変更する」](#)

※ アンテナショートを検出した場合、「衛星アンテナ電源供給」設定を自動的に「供給しない」に変更する場合があります。

番組表

番組表に内容が表示されない

電源プラグを抜いていませんか。

⇒ 電源プラグをコンセントに差し込んでおきます。

⇒ 「番組表を更新する」の操作をします。≫[「番組表を更新する」](#)

電源コードが本体から抜けていませんか(19/24S24)。

⇒ 電源コードのコネクターを本機背面のAC IN端子に接続します。

番組表の文字が小さい

⇒ 番組表を表示中にを押して、文字の大きさを変更することができます。≫[「文字サイズを大きくする」](#)

放送局のすべてのチャンネルが表示されない

「1チャンネル表示」にしていますか。

⇒ 番組表のサブメニューで「マルチ表示」を選択します。

≫ [「1チャンネル表示とマルチ表示を切り換える」](#)

「チャンネルスキップ設定」で「スキップ」に設定していますか。

⇒ 「チャンネルスキップ設定」で「受信」に設定します。

≫ [「視聴しないチャンネルをスキップする」](#)

お知らせアイコン が何度も表示される

「お知らせ」の内容を確認しましたか。

⇒ サブメニュー「その他の操作」⇒「お知らせ」で内容を確認します。

※ 未読のお知らせが1件でも残っていると、を押したときにアイコンが表示されます。

録画・再生

USBハードディスクが使用できない(認識されない)

本機で接続確認済のUSBハードディスクですか。

- ⇒ 本機で接続確認済のUSBハードディスクはホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)でお知らせしています。でお知らせしています。
- ※ 本機で接続確認済の機器でない場合は、使用できないことがあります。

機器が正しく接続されていますか。

- ⇒ 「USBハードディスクの接続をする」に従って、正しく接続します。

機器の電源がはいっていますか。

- ⇒ USBハードディスクの電源を入れます。
- ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

機器が本機に登録されていますか。

- ⇒ USBハードディスクを本機に登録します。 >>「[機器の登録](#)」

USBハブを使用している場合、本機で使えるようになっていきますか。

- ⇒ ホームページ(<https://www.toshiba.co.jp/regza/>)でUSBハブが推奨機器であることを確認します。
- ※ 推奨機器でない場合は使用できないことがあります。「USBハードディスクの接続をする」の「お知らせ」をご覧ください。
- ※ USBハードディスクは専用のACアダプターを接続してご使用ください。

録画ができない、または録画されなかった

USBハードディスクの残量が足りていますか。

- ⇒ 残量を確認する。 [≫「ハードディスクの残量を確認する」](#)
- ⇒ 不要な番組を削除する。 [≫「一つの録画番組を消す」](#)
- ⇒ 「自動削除設定」を「削除する」に変更する。 [≫「自動的に消す（自動削除設定）」](#)

コピー禁止の番組ではありませんか。

- ⇒ 録画はできません。

外部入力からの番組、独立データ放送番組、外部機器からの映像、ネットワークからの映像などではありませんか。

- ⇒ 本機は上記の番組や映像の録画には対応していません。

予約した番組の放送時間が繰り上げられませんでしたか。

- ⇒ 本機は放送時間が繰り上げられた番組の録画はできません。
- ※ 「その他の録画設定」の「放送時間」を「連動する」に設定した場合でも、放送時間の繰り上げには対応できません。

連ドラ予約の場合、「追跡基準」、「追跡キーワード」は正しく設定されていますか。

- ⇒ 「その他の録画設定」で「追跡キーワード」を正しく設定します。 [≫「録画予約や連ドラ予約の設定を変更するとき」](#)
- ※ 1回限りのキーワード（「第〇〇話」や出演者名など）を削除します。

「お知らせ」のアイコンが表示されていませんか。

- ⇒ サブメニューの「お知らせ」で内容を確認します。
- ※ 番組の重複や、放送時間の変更などで録画できなかった場合は、「本機に関するお知らせ」が発行されます。

録画した番組が消えた

「自動削除設定」が「削除する」になっていませんか。

⇒ 「自動削除設定」を「削除しない」に設定する。 [▶「自動的に消す\(自動削除設定\)」](#)

または、消したくない番組を保護する。 [▶「誤って消さないように保護する」](#)

録画中に電源プラグや接続ケーブルを抜きませんでしたか。

⇒ 録画中や録画設定をしたときは電源プラグを抜かない。

※ 上記の場合、録画中の番組は残りません。また、録画したすべての番組が消えることがあります。

⇒ [「録画番組を修復する」](#) の操作をすれば、録画された内容を再生できるようになることがあります。

録画リストの分類タブが「すべて」以外になっていませんか。

⇒ 録画リストの分類タブを 10秒戻し 30秒送り   で「すべて」に変更する。

※ 分類タブが「未視聴」の場合、一度でも再生した録画番組は、リストに表示されません。

ほかのレグザで再生できない

⇒ USBハードディスクに録画した番組は、録画したテレビでしか再生できません(同じ形名のほかのテレビでも再生できません)。

HDMI連動機能

機器を接続しても連動動作ができない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。
- ※ はじめてレグザリンク対応のHDMI連動機器を接続したときや、接続を変更したときには、すべての機器が連動しているか確認してください。

推奨機器(対応機器)ですか。

- ⇒ ホームページ <https://www.toshiba.co.jp/regza/>でお知らせしています。
- ※ 推奨機器の場合でもすべての操作ができるわけではありません。本機のリモコンで操作できないときは、機器のリモコンで操作してください。

本機と接続機器の設定は正しいですか。

- ⇒ 接続機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。
- ⇒ 本機の「その他の設定」にある「HDMI連動機能」を確認します。 [▶「HDMI連動機能」](#)

オーディオ機器(サウンドシステム)に接続されているスピーカーから音が出ない

接続は正しいですか。

- ⇒ HDMIケーブルで接続する場合は、HDMIロゴ表示のついた規格に合ったHDMIケーブルで正しく接続します。接続するオーディオ機器の端子については、オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
- ⇒ レグザサウンドシステムやARC対応のオーディオ機器はHDMI入力1(ARC)端子に接続してください。
- ⇒ ARC対応していないオーディオ機器をHDMIケーブルで接続する場合は、オーディオ用光デジタルケーブルも接続してください。

接続機器側の設定は正しいですか。

- ⇒ オーディオ機器側の連動設定を確認します(機器の取扱説明書を参照してください)。

本機の設定やスピーカーの選択は正しいですか。

- ⇒ 「HDMI連動設定」の「サウンドシステム連動」を「使用する」に設定します。また、「HDMI連動設定」の「優先スピーカー」を「サウンドシステムスピーカー」に設定しておく、オーディオ機器の電源が「入」のときは、オーディオ機器のスピーカーから音声が出ます。[≫「優先スピーカー」](#)
- ⇒ サブメニューの「スピーカー切替」で「サウンドシステムスピーカー」に切り換えます。[≫「サブメニューについて」](#)

ネットワークが利用できない

プロバイダーなどとのインターネット利用契約はお済みですか。

- ⇒ 契約、費用などについては、プロバイダーまたはお買い上げの販売店にご相談ください。

接続や設定は正しいですか。

- ⇒ 確認して、正しく接続・設定します。

ルーターから機器に対してプライベートアドレスが割り当てられるようになっていませんか。

- ⇒ ルーターの取扱説明書を参照し、プライベートアドレスが機器と本機に割り当てられるように設定します。

本機の通信設定はIPアドレスを自動取得する設定になっていますか。

- ⇒ 「IPアドレス自動取得」を「する」に設定します。 [»「IPアドレス設定」](#)

PPPoE設定ができない

- ⇒ 本機ではPPPoEの設定はできません。PPPoEはルーター側に設定してください(設定にはパソコンが必要です)。

IPアドレスが取得できない

IPアドレスの表示が空欄ですか。

⇒「通信設定」の「IPアドレス設定」を確認します。 [»「IPアドレス設定」](#)

⇒ 上記の確認でIPアドレスが取得できていない場合(すべて空欄になっている場合)は以下を確認します。

- ① 本機とルーターが接続されているか確認する
- ② ルーターのアクセスランプ(ルーターのLANポートにある小さなランプ)が点滅しているか確認する(正常に通信できていればランプが点滅します)
- ③ ルーターに他のネットワーク機器(パソコンなど)があるときは、機器からインターネット接続が可能か確認する

- 可能であれば、以下のテストをします

機器に接続されているLANケーブルを本機に接続し、接続テストをする

接続できたとき

最初に本機と接続されていたLANケーブルまたはルーターの不具合の可能性が高いです。

接続できなかったとき

ルーター、LANケーブルに問題がある可能性は低いです。

- ④ インターネット接続可能なその他の機器(パソコンなど)のIPアドレスを確認し、本機のIPアドレスを手動で設定する
- ⑤ 「クラウドサービス」など、ネットワークを利用する機能が使用できるか確認する
 - 上記の確認をしても接続できない場合は、本機をリセットします。リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。

- リセットをしても接続できない場合は、本機の初期化をします。
- 上記の確認をすべてしても接続できないときは、東芝テレビご相談センター（製品同梱の取扱説明書裏表紙参照）にお問い合わせください。

IPアドレスが取得できているのに接続できない

取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっていますか。

- ⇒ お使いのルーターは、ブロードバンドルーターか確認します。
- ⇒ 「通信設定」の「IPアドレス設定」を確認します。 [»「IPアドレス設定」](#)
- ⇒ 取得しているIPアドレスが「192.168. ～」から始まっているればルーターから正常にアドレスを取得できています。エラーメッセージで「DNSからの応答がありません」と表示されるときは、ルーターにPPPoE設定が必要なため、ご契約の回線事業者（NTT東日本、NTT西日本など）にご相談ください。
- ⇒ 「169.254. ～」から始まっているときは、本機がルーターからのIPアドレスの取得に失敗しています。その場合は、以下の操作を試みてください。
 - ルーターを再起動する。
 - 本機をリセットする
リセットのしかたは、製品同梱の取扱説明書の「テレビが操作できなくなったときーテレビをリセットする」をご覧ください。
 - 本機のIPアドレスを確認する

エラーメッセージが表示されたとき

● 代表的なエラーメッセージについて説明しています。

全般

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「電波の受信状態が良くありません。[サブメニュー]から「降雨対応放送」に切り換えられます。コード：E201」	気象条件などによって信号レベルが下がり、降雨対応放送切換が可能な状態になった。 ⇒ 降雨対応放送に切り換えることができます。 ▶「降雨対応放送について」
「アンテナ接続か受信環境に問題があるためご覧になれません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。  ボタンでアンテナレベルをご確認ください。コード：E202」	- アンテナが放送に適合していない。 - アンテナ線がはずれたり、切れたりしている。 - BS・110度CSアンテナの場合、アンテナ電源が供給されていない。 - アンテナの方向ずれや故障。 - 電波が弱くて視聴できない。 - 雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない。 ※放送が休止中の場合も表示されることがあります。 ⇒ 放送に適合したデジタル放送用アンテナであることを確認します。 ⇒ アンテナとアンテナ線の状態や接続を確認します(販売店にご相談ください)。 ▶「電波の強さ(信号強度)を確認する」 ⇒ BS・110度CSアンテナに電源が供給されるようにします。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「現在放送されていません。 コード：E203」	選局したチャンネルでの放送が休止中、または放送が終了している。 ※雨や雷、雪などの気象条件によって一時的に受信できない場合も表示されることがあります。 ⇒ 番組表などで放送時間を確認します。
「該当するチャンネルはありません。 コード：E204」	放送のないチャンネルを選局した。 ⇒ 番組表などでチャンネルを確認します。
「B-CASカードが挿入されていません。カードを挿入している場合には向きと裏表を確認して、もう一度奥まで入れ直してください。」	• miniB-CASカードが挿入されていない。 • miniB-CASカードが正しく挿入されていない。 • miniB-CASカードが抜けている。 ⇒ 番組表などでチャンネルを確認します。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「B-CASカードが認識できません。 カードの金属端子部に汚れがある場合には、きれいな柔らかい布で汚れをふき取ってください。」 または 「このB-CASカードはご使用になれません。カードをご確認ください。」	miniB-CASカードが接触不良を起こしている ⇒ miniB-CASカードを取り出し、金色端子部に汚れがないか確認し、乾いた布でふき取り、入れ直します。 • 無効なminiB-CASカードが挿入されている。 • miniB-CASカードが破損している。 ⇒ 付属のminiB-CASカードの所有権は、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にあります。 認識しないなど、破損した場合の再発行については、付属のminiB-CASカード台紙に記載されている、ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ社にお問い合わせください。

USBハードディスクに関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「機器に接続できません。」	接続ケーブルがはずれている。 ⇒ 接続を確認します。
	USBハードディスクの電源が切れている。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れます。
	USBハードディスクにエラーが発生した。 ⇒ USBハードディスクの電源を入れ直してみます。
「再生できません。」	視聴制限のある番組を録画した。 ⇒ 「視聴制限設定」で、録画した番組が視聴できる設定にします。
	録画中になんらかの原因でコピーワンスなどの情報が破損した。 ⇒ 再生できません。
	再生時にテレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。または、接続ケーブルがはずれてしまった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。また、接続を確認します。
「録画機器のエラーにより録画を中止しました。」	テレビとUSBハードディスクと通信に障害があった。 ⇒ テレビとUSBハードディスクの電源を入れ直してみます。

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「情報取得中にエラーが発生しました。」	録画した番組が正常に保存されなかった。 ⇒「録画番組を修復する」の操作を試みます。
「USB端子の電源容量を超えました。 接続機器をはずし、本体ボタンで電源を切り、もう一度電源を入れてください。」	USBバスパワーで動作するUSBハードディスクを本機に接続し、使用電力が本機の供給限界を超えた。 ⇒ 以下の手順で復帰させます。 ① 本体底面にある本体ボタンの中央部を押して電源を待機にする ② USBハードディスクの接続ケーブルを抜く ③ 本機の電源プラグをコンセントから抜き、約10秒後に差し込む ④ 本機の電源を入れる ⑤ USBハードディスクを接続する ※ 再び同じエラーメッセージが表示される場合は、USBハードディスクにACアダプターを接続してください。

LAN端子を使った通信に関するエラー表示

画面に出るエラー表示	考えられる原因など
「サーバーと通信できませんでした。」	サーバーとの接続に失敗した。 ⇒ 接続・設定の状態を確認します。
	回線が混みあっている。 ⇒ しばらくたってから、もう一度操作します。
「サーバーの証明書の有効期限が切れているため、接続できません。」	• 接続先の証明書が有効期限切れになっている。 • サーバー証明書に表示しようとしているページの名前がない。 • 接続先の証明書が改ざんされている。 • 認証エラーが発生した。
「サーバーの証明書には表示するページの名前が含まれていないため、接続できません。」	
「サーバーの証明書の不正が検出されたため、接続を中断します。」	
「サーバーの証明書に問題があるため、接続を中断します。」	
	⇒ 接続先の安全性に問題があります。本機は、一部の接続先については、安全性の確認ができない場合、接続は行われません（本機の動作は正常です）。

これらの症状で訪問修理を依頼され、テレビに原因がないと判明した場合は、保証期間中であっても出張料などを申し受けますので、あらかじめご承知おきください。

■ それでも解決しない場合のご確認

下記ホームページをご覧ください。

<https://www.toshiba.co.jp/regza/support/>

※上記アドレスは予告なく変更される場合があります。

電話でのご相談は「東芝テレビご相談センター」：

【一般回線・PHSからのご利用は】

0120-97-9674 （通話料：無料）

【携帯電話からのご利用は】

0570-05-5100 （通話料：有料）